

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第127集

一本柳遺跡群

西一本柳遺跡X

長野県佐久市岩村田西一本柳遺跡X発掘調査報告書
(弥生中期～平安時代集落址、他)

2005.2

佐武建設株式会社
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第127集

一本柳遺跡群

西一本柳遺跡X

長野県佐久市岩村田西一本柳遺跡X発掘調査報告書
(弥生中期～平安時代集落址、他)

2005.2

佐武建設株式会社
佐久市教育委員会



上：西一本柳遺跡X
調査風景（南より）

下：西一本柳遺跡X
調査前風景（西より）

（中央発掘調査はINP種で
現在の砂田跡である。）
（H14年8月撮影）





H71・H84号住居址出土遺物



H71号住居址(古墳中期)完掘(西より)・遺物出土状況・堀方(西より)



H17号住居址(弥生中期) 完掘(南より)・炉(西より)・堀方(南より、床下に旧住居址確認)



H19号住居址(弥生中期) 完掘(南より)・炉(北より)・遺物出土状況(南より)



H19号住居址出土遺物(H709含む)



H27 号住居址(弥生後期)完掘(南より)・遺物出土状況(北より)
・遺物出土状況(東より)



遺物出土状況(北より)



H27 号住居址出土遺物



H7 号住居址(奈良)完掘(南より)・堀方(西より)・出土遺物

H7

4



磨製石鏃・白玉・ガラス小玉・石製模造品・土玉・勾玉・管玉・小形扁平片刃



石鏃・鏃・スクレイパー・二次加工のある剥片石器

例 言

1. 本報告書は、佐久市岩村田字地籍において平成15年度に行われた(株)ヤマダ電気店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の『一本柳遺跡群西一本柳遺跡X』の報告書である。
2. 発掘調査は佐武建設株式会社の委託を受け、佐久市教育委員会文化財課が担当した。
3. 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院発行の地形図(1:25,000)、佐久市発行の基本図(1:2,500)を使用した。
4. 発掘調査は須藤隆司、上原 学、出澤 力、森泉かよ子が担当し、本書の編集・執筆は森泉かよ子が行った。
5. 自然科学分析・鑑定は株式会社古環境研究所、炭化物の14C年代測定は株式会社加速器分析研究所、黒曜石の産地推定は望月明彦氏、石器の分類・記述は株式会社アルカに依頼した。
6. 須恵器器台については長野市飯島哲成・風間栄一の両氏に御指導いただいた。
7. 本遺跡の遺物等の資料は佐久市教育委員会の責任下に置かれている。

凡 例

1. 遺構の略号は次の通りである。
H—竪穴住居址 F—掘立柱建物址 D—土坑 P—単独ピット M—溝址
2. 挿図中の遺構の縮尺は原則として1/80、遺物の縮尺は1/4である。異なる場合は明記してある。
3. 遺構の海拔標高は、水系標高を「標高」として記した。
4. 土層・土器の色調は1999年版『新版 標準土色帳』に基づいて示した。
5. 住居址の規模は床面で測り、両溝のある住居は両溝の外側下場での数値である。掘立柱建物址の規模は四隅の柱穴の中心を方形に囲んだ範囲である。
6. 挿図中の遺物番号、遺物一覧表、写真図版の遺物番号は対応している。
7. 挿図中のスクリーン・トーンは以下のことを示す。

遺 構

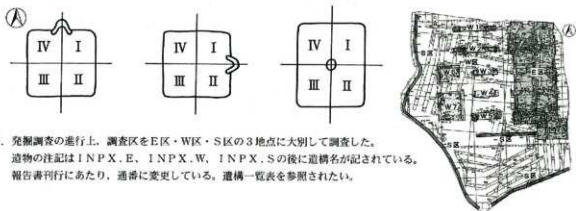
地山断面  焼 土  粘 土 

柱 痕  堀 方 

遺 物
須恵器断面  黒色処理  襷 

赤色塗彩  釉 

8. 遺物の出土地点は下図の遺構分割によるものである。



9. 発掘調査の進行上、調査区をE区・W区・S区の3地点で大別して調査した。
遺物の注記はINPX.E、INPX.W、INPX.Sの後に遺構名が記されている。
報告書刊行にあたり、順番に変更している。遺構一覧表を参照されたい。

目 次

巻頭図版

例 言

凡 例

目 次

第Ⅰ章 発掘調査の概要	1
第1節 調査の経緯	1
第2節 調査結果の概要	2
第3節 調査体制	3
第4節 調査日誌	3
第Ⅱ章 遺構と遺物	
1. 塚穴住居址	4
弥生中期	4
弥生後期	49
古墳中期	66
古墳後期	83
奈良	100
平安	102
2. 単独ピット	102
3. 土坑	102
4. 溝址	104
5. 範囲確認のみの住居址	114
第Ⅲ章 西一木柳遺跡X次調査より出土した弥生石器群の評価	117
引用参考文献	
遺構一覧表	140
付 録	
佐久市西一木柳遺跡出土黒曜石産地推定結果 望月 明彦	144
佐久市西一木柳遺跡X出土試料の自然科学分析 株式会社古環境研究所	151
加速器分析研究所放射性炭素年代測定結果報告書 (株) 加速器分析研究所	156

写真図版

插图目次

第1图	西一本柳遺跡X位置・周辺遺跡分布図	1	第46图	H94号住居址	47
第2图	西一本柳遺跡X遺構配置図 (1:1,000)	4	第47图	H92号住居址	48
第3图	西一本柳遺跡X全体図 (1:500)	5-6	第48图	H104号住居址	48
第4图	弥生時代遺構分布図	7	第49图	H127号住居址 (1)	49
第5图	弥生時代上器図	8	第50图	H27号住居址 (2)	50
第6图	弥生堅穴住居址形態図	9	第51图	H27号住居址 (3)	51
第7图	H5号住居址	10	第52图	H33号住居址	53
第8图	H6号住居址	11	第53图	H34号住居址	54
第9图	H16号住居址	11	第54图	H39号住居址	56
第10图	H111号住居址	12	第55图	H48号住居址 (1)	57
第11图	H17号住居址 (1)	13	第56图	H48号住居址 (2)	58
第12图	H17号住居址 (2)	14	第57图	H50号住居址	59
第13图	H18号住居址	15	第58图	H77号住居址 (1)	60
第14图	H19号住居址 (1)	16	第59图	H77号住居址 (2)	61
第15图	H19号住居址 (2)	17	第60图	H80号住居址	62
第16图	H19号住居址 (3)	18	第61图	H55号住居址	63
第17图	H21号住居址	20	第62图	H182号住居址	63
第18图	H23号住居址	21	第63图	H88号住居址	64
第19图	H22号住居址	22	第64图	H105号住居址	65
第20图	H25号住居址	23	第65图	古墳時代遺構分布図	66
第21图	H24号住居址	24	第66图	古墳中期上器図	67
第22图	H28号住居址 (1)	25	第67图	H19号住居址 (1)	68
第23图	H28号住居址 (2)	26	第68图	H19号住居址 (2)	69
第24图	H29号住居址 (1)	28	第69图	H12号住居址	70
第25图	H29号住居址 (2)	29	第70图	H13号住居址	71
第26图	H29号住居址 (3)	30	第71图	H14号住居址	72
第27图	H35号住居址	31	第72图	H20号住居址	73
第28图	H36号住居址	31	第73图	H31号住居址	74
第29图	H40号住居址	33	第74图	H64号住居址	75
第30图	H43号住居址	33	第75图	H71号住居址 (1)	77
第31图	H44号住居址	34	第76图	H71号住居址 (2)	78
第32图	H47号住居址	35	第77图	H83号住居址	80
第33图	H49号住居址	36	第78图	H84号住居址	81
第34图	H51号住居址	36	第79图	H93号住居址	81
第35图	H52号住居址	37	第80图	H96号住居址	82
第36图	H59号住居址	38	第81图	H1号住居址	83
第37图	H66号住居址	39	第82图	H4号住居址	84
第38图	H69号住居址	40	第83图	H115号住居址 (1)	85
第39图	H70号住居址	41	第84图	H15号住居址 (2)	86
第40图	H73号住居址	42	第85图	H26号住居址	87
第41图	H79号住居址 (1)	43	第86图	H30号住居址 (1)	88
第42图	H79号住居址 (2)	44	第87图	H30号住居址 (2)	89
第43图	H81号住居址	44	第88图	H42号住居址	90
第44图	H86号住居址 (1)	45	第89图	H46号住居址	90
第45图	H86号住居址 (2)	46	第90图	H45号住居址	91

第91図	H56号住居址	92	第108図	M6・M7・M9～M11・M13号溝址	109
第92図	H57号住居址(1)	93	第109図	M12・M14～M16号溝址	111
第93図	H57号住居址(2)	94	第110図	M8号溝址(1)	112
第94図	H58号住居址	96	第111図	M8号溝址(2)	113
第95図	H67号住居址	97	第112図	2号住～13号住検出	115
第96図	H75号住居址	97	第113図	石鏃形態分類模式図	118
第97図	H96号住居址	97	第114図	磨製石鏃実測図(1)	122
第98図	H101号住居址	98	第115図	磨製石鏃実測図(2)	124
第99図	奈良・平安遺構分布図	100	第116図	太形蛤刃石斧長幅比	128
第100図	奈良・平安土器図	101	第117図	太形蛤刃石斧幅厚比	128
第101図	本柳遺跡群弥生時代の竪穴住居址と環濠	102	第118図	有孔石剣関連資料	129
第102図	単独ピット(1)	103			
第103図	単独ピット(2)	104			
第104図	D2・D3・D5・D6・D18号土坑	105			
第105図	D8～D15号土坑	106			
第106図	D1・D4・D7・D16・D17・D19号土坑	107			
第107図	M1～M5号溝址	108			

図版目次

巻頭図版1 西一本柳遺跡X調査風景(南より)・西一本柳遺跡X調査前遠景(西より)

巻頭図版2 H71・84号住居址(古墳中期)

巻頭図版3 H117・H19号住居址(弥生中期)

巻頭図版4 H27号住居址(弥生後期)・H7号住居址(奈良)

巻頭図版5 磨製石鏃・小形扁平片刃石斧・勾玉・管玉(弥生中期・後期)・白土・ガラス小玉・土玉・石製模造品(古墳中期・後期)

巻頭図版6 石鏃・礫・スクレイパー・2次加工のある剥片石器

図版1 H5・H6・H111・H16～H119号住居址

図版2 H19・H21・H22号住居址

図版3 H23・H25・H28・H29号住居址

図版4 H29・H35・H40・H43・H44号住居址

図版5 H47・H52・H59・H66・H69・H70・H73
H79号住居址

図版6 H79・H81・H86号住居址

図版7 H86・H92・H104・H27号住居址

図版8 H127・H34・H39・H48・H50・H77・
H82号住居址

図版9 H80・H88・H105・H9号住居址

図版10 H112～14・H20・H31・H64号住居址

図版11 H171・H83・H84号住居址

図版12 H93・H11・H4・H115・H26・H30号住居址

図版13 H42・H45・H46・H56・H57号住居址

図版14 H58・H67・H75・H95・H96・H101号住居址

図版15 H101・H2・H3・H10号住居址

図版16 H7・H8・H38・H53・H54号住居址

図版17 H61・H63・H65・H68・H72・H74号住居址

図版18 H76・H78・H85・H91・H100・H102・H103号住居址

図版19 H32・H37号住居址

図版20 H41・H60・H62・H90・H97号住居址

図版21 H87・H98号住居址・獨立柱建物址・土坑・溝址

図版22 M8号溝址

図版23 M8・M10～M13・M15・M16号溝址・単独ピット

図版24 2～5住・7～10住・13住・試掘

図版25 試掘・鉄製品

図版26 磨製石鏃・擦切石

第Ⅰ章 発掘調査の概要

第1節 調査の経緯

一本柳遺跡群は、在久市岩村田地籍に所在し、東西方向に流れる湯川右岸の台地上にある。岩村田市街地の南西1km、標高690mを測る。浅間第1軽石流が地盤をなしているが、その上に南に流れる湯川の河川堆積層である砂層が堆積している。一本柳遺跡群は台地上を東西の帯状に展開し、中央から西半分を西一本柳遺跡、東半分を東一本柳遺跡、中央部北部を北一本柳遺跡と呼称している。本遺跡群内では昭和43年に東一本柳遺跡が、また昭和46年度には金銅製馬具の飾り金具などを出土した東一本柳古墳が発掘され、貴重な資料を得ている。さらに国道141号線の開通に伴い、西一本柳遺跡を南北に貫く調査がなされ、平成4年の公共下水道事業に伴う西一本柳遺跡Ⅱ、また平成7・8年度の国道141号線の工事に伴う西一本柳遺跡Ⅲ～Ⅵ、平成12・13年度の市道11-1号線緊急地方道路整備事業に伴う西一本柳遺跡Ⅶ、平成14年の店舗新築に伴う西一本柳遺跡Ⅷが調査される。西一本柳遺跡Ⅰ～Ⅹまでの調査で堅穴住居址406棟が検出され、密集した古代集落であることが判明している。弥生時代中期から中世に至るまで連続と人々の痕跡が残されている在久市内でも有数の遺跡の一つであり、一本柳遺跡群は県の重要遺跡とされている。

今回、(株)ヤマダ電気店舗建設が計画され、試掘調査をしたところ、遺構・遺物が検出され、遺跡の破壊が余儀なくされる事となり、遺構が破壊される部分を発掘調査し、破壊されない部分は埋土保存することとなった。

佐武建設株式会社より委託を受け、在久市教育委員会文化財課が発掘調査を実施することとなった。

遺 跡 名 一本柳遺跡群西一本柳 (にいっぼんやなぎ) 遺跡X (略号1NPX)

所 在 地 在久市大字岩村田字下樋田1780-1 他

調 査 委 託 者 佐武建設株式会社

開 発 事 業 (株)ヤマダ電気店舗建設

発掘調査期間 平成15年6月11日～8月5日

整 理 期 間 平成15年7月28日～平成17年2月28日

調 査 面 積 1,500㎡

調 査 担 当 須藤 隆司 上原 学 出澤 力 森泉 かよ子



第1図 西一本柳遺跡X位置・周辺遺跡分布図(1:10,000)

2. 調査結果の概要

検出遺構

竪穴住居址	105棟	弥生時代中期	34棟 (B C前1・2 C頃～)
		弥生時代後期	12棟 (1・2 C頃～)
		古墳時代中期	12棟 (5 C頃～)
		古墳時代後期	15棟 (6 C～7 C頃)
		奈良時代	21棟 (8 C頃～)
		平安時代	9棟 (9 C頃～)
		時期不明	2棟
竪立柱建物址	14棟		
土坑	19基		
溝址	14本		
単独ピット	151個		

出土遺物

縄文時代

縄文土器 (鉢・深鉢)、石鏃、スクレイパー、

弥生式時代

弥生土器 (鉢・高杯・壺・甕・蓋)、太形蛤刈石斧、扁平片刈石斧、小形扁平片刈石斧、磨製石鏃、打製石鏃、石鏃、擦切石・ヒスイ勾玉・管玉・土製管玉、磨石、砥石

古墳時代

土師器 (小型丸底甕・壺・甕・杯・高杯・甕)、須恵器 (埴・壺・甕・杯・高杯・器台)、ガラス小玉、白玉、石製模造品 (剣形・勾玉)、編物石、磨石、砥石

奈良・平安時代

土師器 (杯・鉢・甕)、須恵器 (杯・杯蓋・甕・蓋)、灰釉陶器 (皿・杯・壺)、鉄製品 (刀子・紡錘車・鉄鏃)、砥石、炭化材・骨

調査の成果

西一本柳遺跡Xは爪形文の小破片、後期加曾利Bの浅鉢などの縄文土器や石鏃をわずかに含むが、主な時代は弥生時代中期から平安時代の遺構・遺物である。全体図に示したように新旧の住居址が重なり、密集した遺構が検出された。西一本柳遺跡Iから西一本柳遺跡Xまでの住居址の調査総数は、西一本柳遺跡Xの住居址数105棟を合わせると、510棟となる。ことに弥生時代中期の遺構は湯川右岸地帯の西隣にある北西の久保遺跡、さらに西の鳴沢遺跡群まで合せて、佐久地域では最も濃厚に分布している所であろう。本調査で弥生中期34棟、周辺遺跡の一本柳遺跡群・北西の久保遺跡・五里田遺跡の合計は197棟を数えることができる。弥生時代後期の竪穴住居址は周辺遺跡を含めて合計68棟あり、一本柳遺跡群全体に調査が及べば相当数であろうことが解明されてきた。西一本柳遺跡X地点では弥生時代中期の集落から始まり、古墳時代前期は検出されないが古墳時代中期から平安時代にわたり長く集落が営まれ、居住環境に恵まれた地といえる。

弥生時代中期後半の集落は、重複関係が3段階あり、時間差を示せた。また住居址と同期であるM12溝址はこれまでの西一本柳遺跡M・Nで検出された住居址を囲む溝の延長であり、弥生中期の集落を円形に囲むようである。

弥生時代後期初頭の住居址はまとまった土器群や石器群多量に出土している。ことに磨製石鏃は製品とともに原石、剥片、未製品があり、あらたな製作技法に検討を加える資料が出土した。弥生後期初頭の住居址と、本調査域の北にある西一本柳遺跡Nで検出された方形周溝墓とは同期と推察され、弥生時代後期の集落と四隅の切れる方形周溝墓の存在が明らかになった。

古墳時代中期のI171からは須恵器の器台が出土し、長野県では3例目にあたる稀少例で、時期も最も古いものであろう。須恵器器台を出土する集落は積極的にカマドをとり入れたりという性格を持つという。また北西の久保遺跡に多くあるカマドを持たない古墳中期前半の住居址は本調査でも2棟ある。この古墳時代中期前半の集落と同期の遺物を出土するM8溝址が調査区中央を南北に延びている。M8溝址の西側に集落が分布している。

古墳後期・奈良時代は通して集落がみられ、平安時代は10C代の集落が営まれたようである。

第3節 調査体制

調査受託者

教育長 高柳 勉

事務局

教育次長 赤羽根 寿文

文化財課長 高崎 節夫 (平成15年度) 小林 正衛 (平成16年度)

文化財係長 高村 博文

文化財係 林 幸彦 三石 宗一 (平成15年度) 須藤 隆司 小林 真寿 羽毛田卓也 (平成16年度)

富沢 一明 上原 学 出澤 力 赤羽根太郎

調査主任 佐々木宗昭 森泉かよ子

調査副主任 堺 益子

調査担当者 須藤 隆司 上原 学 出澤 力 森泉 かよ子

調査員

阿倍 和人 荒井ふみ子 岩崎 重子 磯水 知子 小幡 弘子 柏木 義雄 木内 明美

木内 節夫 菊池 喜重 神津ツネヨ 小林まさ子 小林百合子 小山 功 佐々木 正

佐々木久子 佐藤 愛子 佐藤志げ子 中條 悦子 中島とも子 中嶋 良造 林 美智子

羽田 貴直 比田井久美子 細堂ミスズ 細谷 秀子 柳澤千賀子 三石 園子 山浦 豊子

渡辺久美子 百瀬 新治

(報告書作業分担)

(図面修正) 細谷秀子 (遺物実測) 堺益子 高見沢綾 田中ひさ子 中條悦子 森角聖子 柳澤孝子

(トレース) 調島充子 林美智子 柳澤千賀子 (拓本) 佐藤愛子 柳澤千賀子

第4節 調査日誌

平成15年度 (2003)

- 6. 11 重機を入れ表土を剥ぎ始める。
- 6. 12 機材搬入。
- 6. 16 調査員により、検出作業を行い作業開始。
- 6. 18 遺構の掘り下げに入る。調査区をE区 (東建物基礎、出入口)・W区 (西側建物基礎)・S区 (擁壁・排水溝) 地点に便宜的に分けて調査。
- 7. 9 S区終了。
- 7. 23 W区終了。
- 7. 28 E区調査区が残り少しとなり、一部室内にて遺物の洗浄作業開始。
- 8. 4 E区の調査終了。
- 8. 5 調査区を重機により埋め戻し。
- 8. 25 注記作業開始。
- 9. 25 注記作業終了。

平成16年度 (2004~2005)

- 4. 1~2. 28
土層の接合、石齊復元、遺構図の図面修正、遺物の実測、遺構図・遺物の実測図トレース、版下作成、遺物の写真撮影を行い、報告書の編集し、刊行する。



E区プラン確認 (6.16)



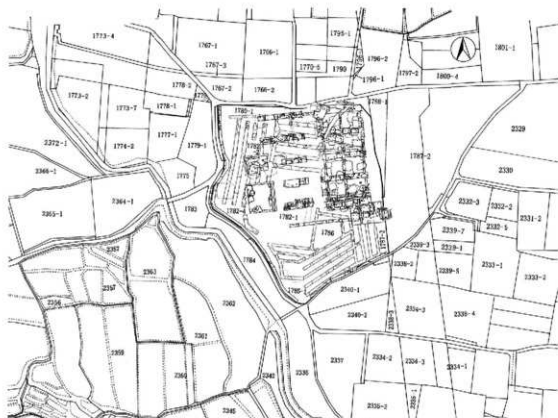
W区調査風景 (6月下旬)



浅科中職場体験学習 (7.18)



E区調査風景 (東より)
(7月下旬)



第2図 西一本柳遺跡X遺構配置図(1:1,000)

第二章 遺構と遺物

第1節 竪穴住居址

1. 弥生中期 H5・H6・H11・H16・H17・H18・H19・H21・H22・H23・H24・H25・H28・H29・H35・H36・H40・H43・H44・H47・H49・H51・H52・H59・H66・H69・H70・H73・H79・H81・H86・H92・H94・H104 (プラン確認のみ) 2住・3住・4住・5住・10住

弥生時代中期の竪穴住居址は34棟を調査した。新しい遺構に埋され、また部分的な調査であるため、全容の明らかなものはない。この他にプラン確認のみの住居址5棟と試掘調査時に7棟検出されており、総数は45棟以上になるであろう。弥生中期の住居址は竪を住居址中央に持ち、コの字または一辺に掘り準大の礎を置いている地床がである。竪址を検出し得たのは9棟のみである。

住居址は重複により新旧がある。

H49 (旧) → H5 (新) (Bい7グリッド)(重複部分が多く遺物の新旧が捉えにくい。)

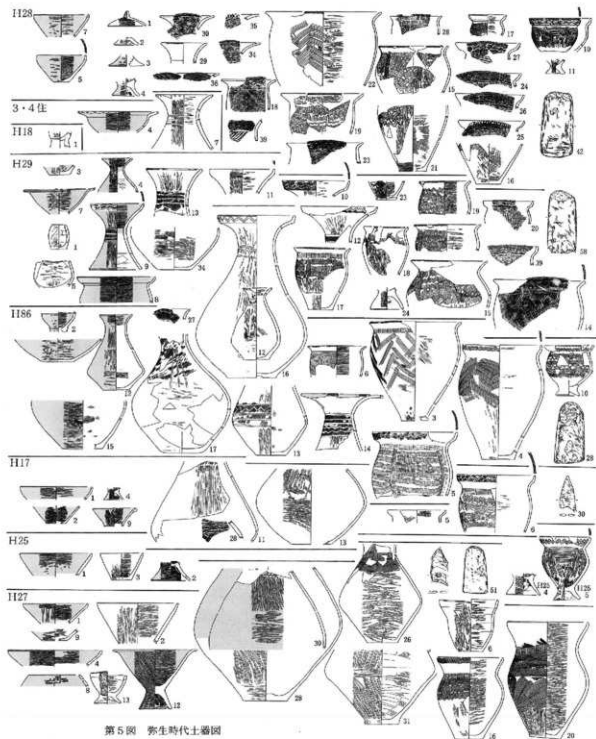
H18 (旧) → H17 → H16 (新) (Aけ10グリッド)(H16の時期が明確ではない。)

H22 (旧) → H21 (新) (Bお2グリッド)

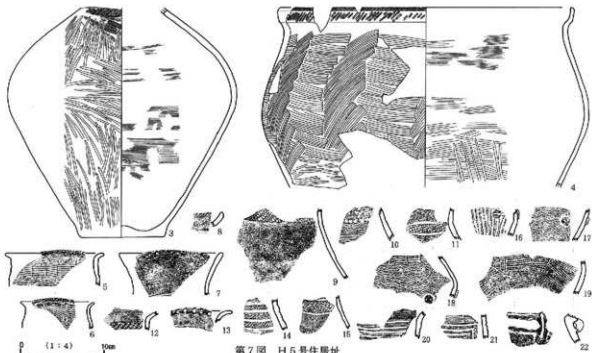
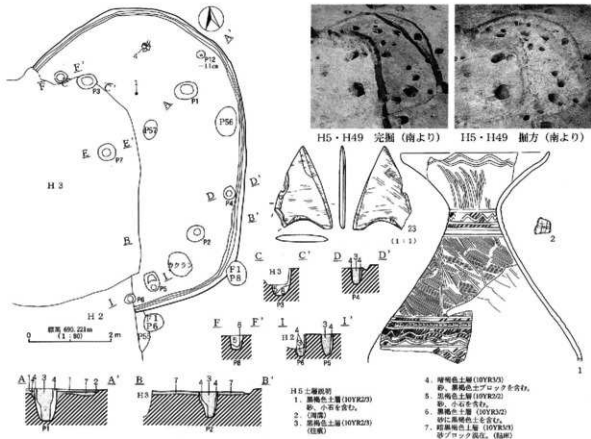
H24 (旧) → 3・4住 → H25 (新) (Bう4グリッド)

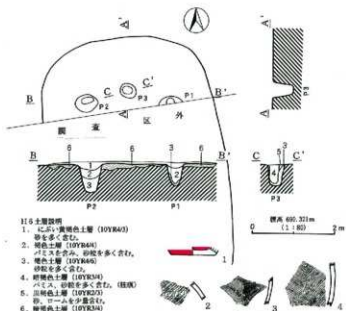
住居址の形態は4分類される。

- 隅丸方形 H21・H28・H40・H47・H73・H81・2住・10住
- 隅丸長方形(矩形が強い) H11・H18・H22・H23・H24・H29・H35・H43・H44・H49・H52・H59・H66・H69・H73・H79・H86・H92
- 楕円形A H19

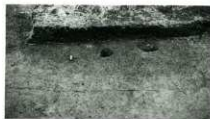


第5圖 弥生時代土器圖





- H16土層説明
1. 灰白・黄褐色土層 (10YR6/3) 砂を多く含む。
 2. 褐色土層 (10YR5/4) パリスを含み、砂粒を多く含む。
 3. 褐色土層 (10YR5/4) 砂粒を多く含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/4) パリス、砂粒を多く含む。(柱穴)
 5. 赤褐色土層 (10YR2/3) 砂、パリスを少量含む。
 6. 暗褐色土層 (10YR3/4) (柱穴)



完掘 (北より)

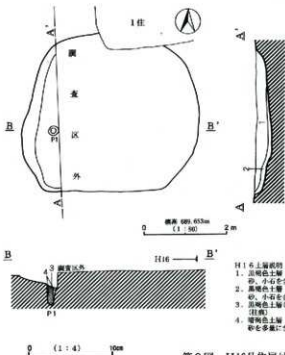


掘方 (北より)

第8図 H6号住居址

第2表 INP X H16号住居址出土遺物一覧表

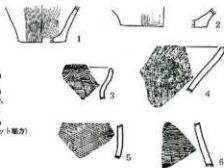
遺物	品名	材質	位置	形状・大きさ	数量	出所	検出	保存・備考	出土位置	
1	板瓦	土質	内 3/4等	葺き平瓦	内 3/4等	4枚	内 10YR5/4 (赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置
2	板瓦	土質	内 3/4等	葺き平瓦	内 3/4等	4枚	内 10YR5/4 (赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置
							内 7.2YR5/2 (赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置



- H16土層説明
1. 赤褐色土層 (10YR2/3) 砂、小石を含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂、小石を少量に含む。
 3. 赤褐色土層 (10YR2/3) (柱穴)
 4. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂を少量に含む。(ピット掘方)



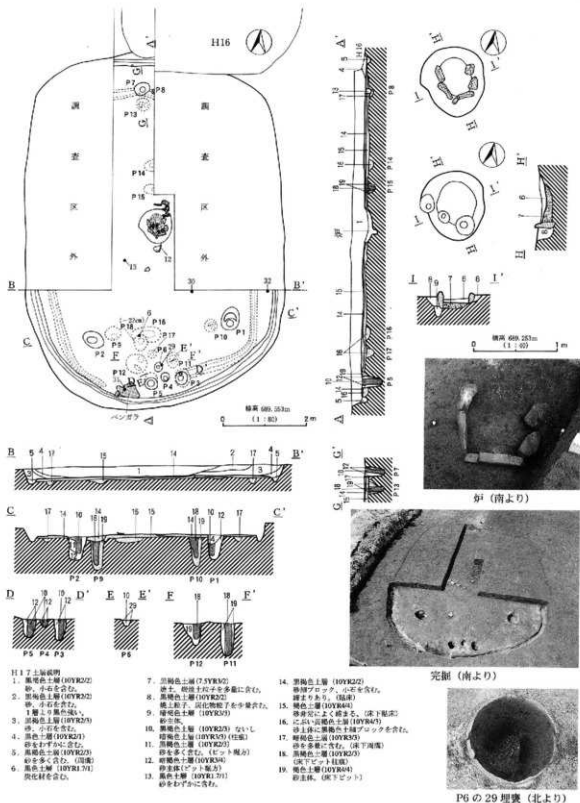
完掘 (西より)

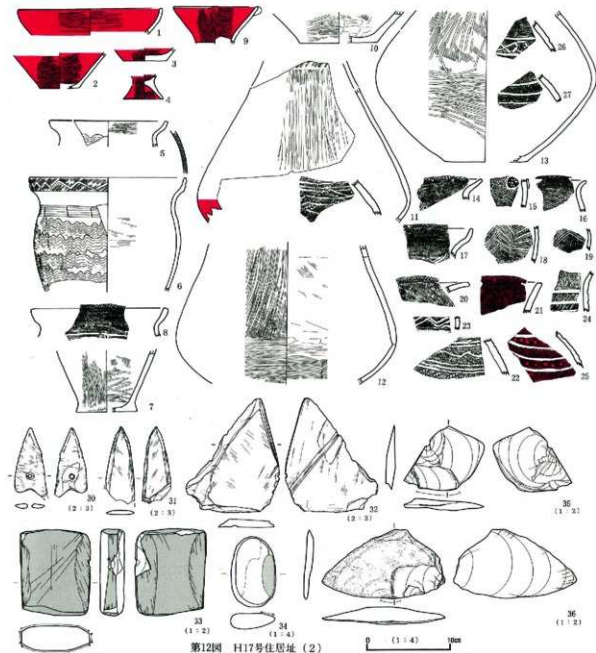


第9図 H16号住居址

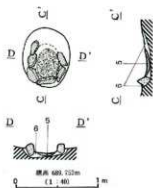
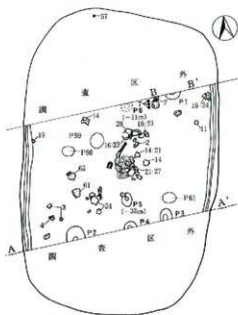
第3表 INP X H16号住居址出土遺物一覧表

遺物	品名	材質	位置	形状・大きさ	数量	出所	検出	保存・備考	出土位置
1	板瓦	土質	内 2/4等	葺き平瓦	内 2/4等	内 7.2YR5/4 (赤)・赤(赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置
2	板瓦	土質	内 2/4等	葺き平瓦	内 2/4等	内 5YR5/4 (赤)・赤(赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置
3	板瓦	土質	内 2/4等	葺き平瓦	内 2/4等	内 7.2YR5/2 (赤)	破石片・破石瓦片等計、	西倉・西倉	出土位置

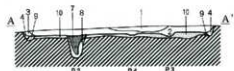




9	赤土 片	010.0 (146)	内 土片等 赤土片等 陶器片等 外 土片等 赤土片等	内 10064/9 (赤) 外 10065/8 (赤)	緑泥石・緑泥石の子片等。 砂鉄。	1層底 1/5	318
10	赤土 片	01.0 (37)	内 ヘラナギ (黒目) ナナギ 外 土片等 黒目ヘラナギ → 土片等 (黒土片等)	内 10038/3 (紅土)黒目 外 10034/2 (赤土)黒目	緑泥石・緑泥石の子片等。	1層底 1/3	319
11	赤土 片	-	内 ヘラナギ (黒目) ナナギ 外 黒目砂又 赤土片等 → 1層底下赤土片等	内 10192/4 (紅土)黒目 外 10197/6 (赤)	→ 1層 大赤石・白鉄砂子等。	1層底 1/3 1層底 1/5	319, 320
12	赤土 片	-	内 ヘラナギ (黒目) ナナギ 外 ヘラナギ (黒目) → 土片等	内 10192/3 (紅土)黒目 外 10197/4 (紅土)黒目	緑泥石・緑泥石の子片等。	1層底 1/4 1層底 1/5	319, 320
13	赤土 片	01.0 (185)	内 赤土 外 ヘラナギ (黒目) → 土片等 (黒土片等)	内 10197/3 (紅土)黒目 外 10197/4 (紅土)黒目	緑泥石・緑泥石の子片等。	1層底 1/5 1層底 1/3	319, 320
20	赤土 片	-	内 土片等 外 陶器片等	内 10064/9 (赤) 外 10065/8 (赤)	緑泥石・緑泥石の子片等。	1層底 1/5	319



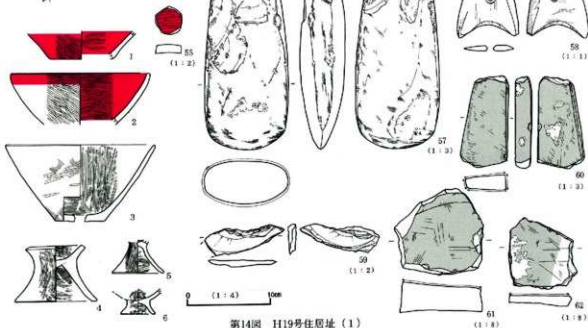
- H19号発掘説明
1. 赤色土層 (10VR1.30)
砂、小石を含む。
 2. 赤褐色土層 (10VR2.2)
砂、小石を含む。
 3. 赤色土層 (10VR1.30)
砂、小石を含む。
 4. 正褐色土層 (10VR2.5)
砂を多量に含む。(河泥)
 5. 暗赤褐色土層 (5YR5.6)
硬上。
 6. 正褐色土層 (10VR2.2)
(河泥?)
 7. 赤褐色土層 (10VR2.2)
(河泥?)
 8. 暗褐色土層 (10VR3.0)
硬土状。
 9. 赤褐色土層 (10VR2.0)
(河泥?)
 10. 赤褐色土層 (10VR2.2)
砂に黒褐色スベラックを含む。
網入りあり。(河泥)



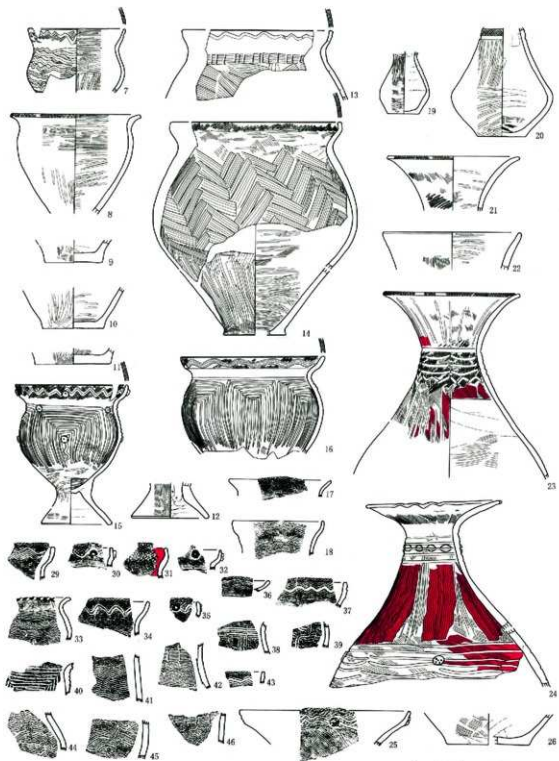
遺物出土状況 (南より)



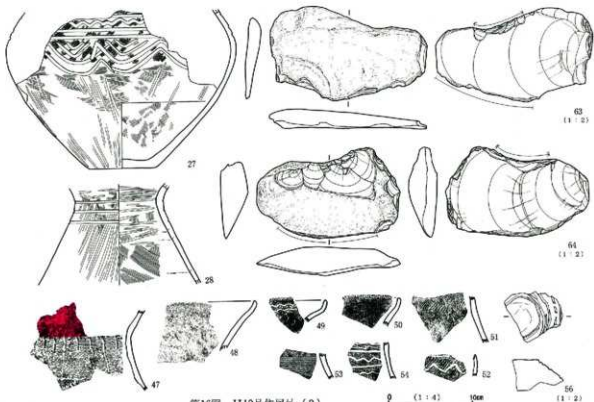
標高 689.753m
(1/80) 2m



第14図 H19号住居址 (1)



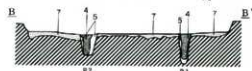
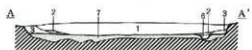
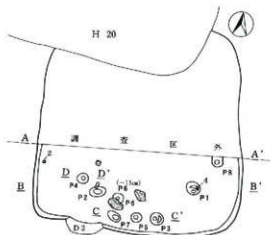
第15图 H19号住居址(2)



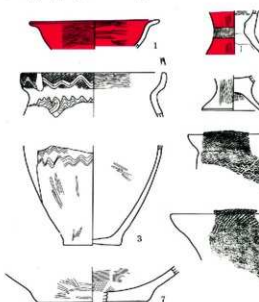
第16図 H19号住居址 (3)

第7表 INP X H19号住居址出土遺物一覧表

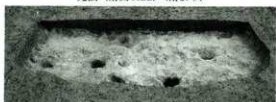
番号	品名	数量	説明・調査	出 土 地 点	備 考	保存・備考	出土位置
1	粘土 片	(7)6 (3)6	内 土層中 赤色土層 外 土層中 赤色土層	内 10R3/4 (10)6 外 25YR3/2 (10)6	粘土片・粘土片断片等。	高取1/4	
2	粘土 片	(1)6 -	内 土層中 赤色土層 外 土層上層土層中 赤色土層	内 10R/8 (1)6 外 7.5YR7/4 (2)55-4B	粘土片・粘土片断片等。	高取1/7	No.8
3	粘土 片	(1)6 (5)6 9.8	内 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 表層ナジ	内 7.5YR4/3 (1)6 外 7.5YR4/1 (6)6	粘土片・粘土片断片等。	高取1/5定輪 式	No.3
4	粘土 片	7.3 16.8 6.8	内 表層土層中 黒色ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 10R5/3 (4)目	内 黒 5YR5/8 (1)6 外 黒 5YR4/2 (1)6 外 7.5YR7/6 (1)6	粘土片・粘土片断片等。	高取1/5定輪 式	No.4
5	粘土 片	6.3 (4)1	内 土層中 赤色土層 表層ヘラナジ → 土層中 外 土層中	内 7.5YR3/4 (2)43-4B 外 7.5YR3/4 (2)43-4B	粘土片・粘土片断片等。	高取1/5定輪 式	No.2
6	粘土 片	4.2 (5)1	内 表層土層中 黒色ヘラナジ → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中	内 黒 7.5YR6/3 (2)43-4B 外 7.5YR3/5 (2)43-4B	粘土片・粘土片断片等。	高取1/5定輪 式	
7	粘土 片	(1)6 -	内 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 10R5/3 (4)目 10R5/3 (4)目 10R5/3 (4)目	内 7.5YR4/2 (1)6 外 7.5YR3/5 (2)43-4B	粘土片断片多く含む。右側断片	高取1/5定輪 式	No.12 No.13
8	粘土 片	(1)6 -	内 土層中 赤色土層 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 10R5/3 (4)目	内 7.5YR6/5 (2)43-4B 外 8YR/4 (2)43-4B	粘土片・粘土片断片等。	高取1/3	出土 H21, H22 出土
9	粘土 片	2.9 (2)6	内 ナジ 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 表層ナジ	内 7.5YR6/5 (2)43-4B 外 7.5YR5/5 (2)43-4B	粘土片断片等。 粘土片断片等。	高取1/3	出土
10	粘土 片	47.0 (5)6	内 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 表層ナジ 表層ナジ (10)目	内 7.5YR2/2 (1)6 外 7.5YR2/4 (1)6	~ 3mm 大小の、赤石色断片等。	高取1/4	
11	粘土 片	9.3 (1)6	内 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 表層ナジ	内 7.5YR2/4 (2)43-4B 外 7.5YR4/2 (1)6	粘土片・粘土片断片等。	高取1/3	No.14
12	粘土 片	99.0 (5)6	内 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目	内 8YR/6 (1)6 外 7.5YR2/4 (2)43-4B	粘土片断片。赤石色断片等。	高取1/4	
13	粘土 片	(1)6 -	内 ナジ 外 土層上層土層中 10R5/3 (4)目 10R5/3 (4)目 10R5/3 (4)目	内 7.5YR3/5 (2)43-4B 外 7.5YR3/5 (2)43-4B	粘土片・粘土片断片等。	高取1/4	
14	粘土 片	(2)6 (7)6 (2)6	内 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 ヘラナジ (6)目 → 土層中 外 土層中・赤色土層 10R5/3 (4)目 10R5/3 (4)目	内 7.5YR3/1 (1)6 外 7.5YR6/5 (1)6	粘土片・粘土片断片等。	高取1/3 高取1/3 高取1/3 高取1/3	No.6 No.7 No.10



標高 600.65m
(1:80) 2m



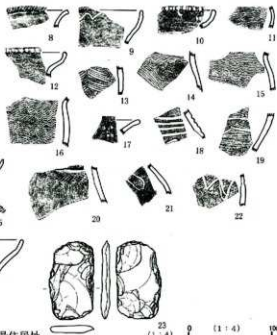
完圖 (南側H22) (南より)



堀方 (南より)

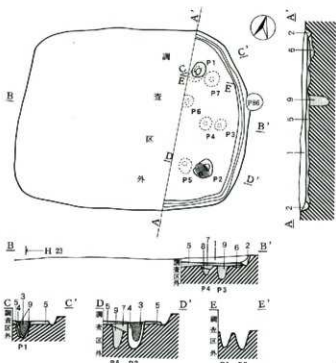
H21土層説明

1. 赤褐色土層 (HVR3)
砂、小石を含む。
2. 黒褐色土層 (HVR2)
砂をわずかに含む。
3. 灰褐色土層 (HVR2)
砂を多量に含む。
4. 赤褐色土層 (HVR3)
(石灰)
5. 赤褐色土層 (HVR3)
砂主体。
6. にぶい黄褐色土層 (HVR4)
砂に炭化物土を含む。(P8)
7. 赤褐色土 (HVR2) と
赤褐色土ブロック (HVR4) 混在。(H24)



第17図 H21号住居址

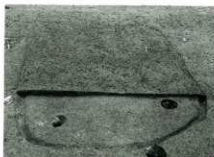
23 (1:4) 0 (1:4) 10m



- H23土層説明
1. 高埴色土層 (10YR2/2)
 2. 高埴色土層 (10YR2/3) (底面)
 3. 埴角色土層 (10YR2/2) (底面)
 4. 埴角色土層 (10YR2/2) (底面)
砂、バース、小石を含む。(ピット)
 5. 高埴色土層 (10YR2/3)
砂プロットを多数に含む。(坑底)

6. 埴角色土層 (10YR3/4)
砂、小石を含む。
7. 高埴色土層 (10YR2/3)
砂プロットが多く混入する。
8. 埴角色土層 (10YR3/4)
砂を多数に混入。(床下ピット)
9. 埴角色土層 (10YR3/4)
砂粒、砂が多量に混入。(床下ピット)

第18図 H23号住居址



完圓 (東より)



場方 (東より)

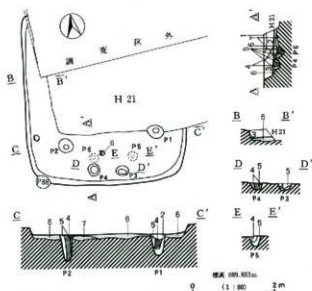


第8表 INP X H21号住居址出土遺物一覧表

遺物	品名	数量	材質・調査	出所	出土	埋入・備考	出土位置
1	土器 油杓	11.50 0.20	内 2点4 赤色土器 外 2点4 赤色土器	内 10R4/3 (赤) 外 10R4/3 (赤)	竊石・竊石瓦片等。	山腰1/7 10R4/3	
2	土器 煎餅鉢	0.20	内 埴角土層、ヘラナダ、埴角ヘラナダ 外 2点4 赤色土器 中央の縁部ヘラナダ (掘削)	内 2.5YR2/4 (12.5R4E) 外 10R4/3 (赤)	竊石瓦片等。	竊石瓦片等。	No.2
3	土器 釜	0.20 0.20	内 2点4 外 1件埴角土層 (埴角土層一部掘削状況 42.4) 外 1件埴角土層状況	内 5YR2/2 (5R2) 外 5YR2/2 (5R2)	~100cm厚、竊石、竊石瓦片・竊石瓦片等。	山腰1/3 竊石瓦片等	
4	土器 白付甕	2.3 0.20	内 埴角ヘラナダ (埴目) ココナダ 埴角コナダ 外 2点4 ココナダ	内 2.5YR2/4 (5R2) 外 2.5YR2/4 (5R2)	埴角土層・竊石瓦片等。	山腰1/2 竊石瓦片等	No.1
5	土器 甕	11.50 11.50	内 2点4 外 2点4 内 口唇部・口縁部掘削状況、埴角土層状況 (埴目土層)	内 2.5YR2/4 (5R2) 外 2.5YR2/4 (5R2)	竊石瓦片、竊石瓦片100以下中赤色	山腰1/2	H21 掘出
6	土器 甕	0.40	内 2点4 外 2点4 内 口唇部・口縁部掘削状況	内 2.5YR2/4 (5R2) 外 2.5YR2/4 (5R2)	埴角土層の瓦片・埴角土層の瓦片・竊石瓦片等。	山腰1/3	
7	土器 甕	11.50 0.20	内 ヘラナダ (埴目) 外 2点4	内 5YR2/4 (5R2) 外 5YR2/4 (5R2)	竊石瓦片等 ~100cm厚赤土層	山腰1/2 竊石瓦片等	H21 掘出
合計	数量 (個)	計 960	埋入 930	計 930	本調査、野経道、大塚本塚、長峰本塚、竊石、竊石瓦片、竊石瓦片等。		出土位置

第9表 INP X H23号住居址出土遺物一覧表

遺物	品名	数量	材質・調査	出所	出土	埋入・備考	出土位置
1	土器 甕	11.50 0.20	内 2点4 赤色土器 外 2点4 赤色土器	内 10R4/3 (赤) 外 10R4/3 (赤)	竊石。	山腰1/6 10R4/3	0.50
2	土器 甕	0.40 0.20	内 ヘラナダ・コナダ 外 2点4	内 2.5YR2/4 (5R2) 外 2.5YR2/4 (5R2)	埴角土層・竊石瓦片等。	山腰1/4 10R4/3	1区
3	土器 甕	0.40 0.20	内 2点4 外 2点4	内 2.5YR2/4 (5R2) 外 5YR2/4 (5R2)	~100cm厚赤土層	山腰1/4 10R4/3	0.50



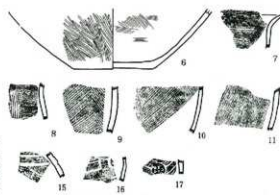
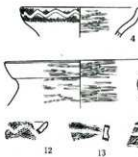
完掘 (南より)



堀方 (南より)

H 21 土層説明

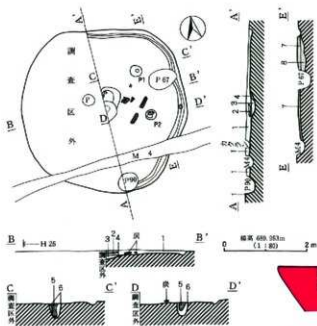
1. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂、小石を多く含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂、小石を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂、小石を多く含む。
4. 黒褐色土層 (10YR2/3) (柱礎)
5. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂土層。
6. 深褐色土層 (10YR3/2) 砂、小石を含む。(柱礎)
7. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂を多く含んだ黒褐色土ブロックを含む。



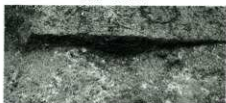
第19図 H 22号住居址

第10表 INF X H 22号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	材質	形状・用途	出所	数量	場所・備考	出土位置
1	陶片	瓦	内 所産土器・新羅子子	内 1004/3 (68)	破片が多く、破片が少量あり。	新羅子子 瓦片	溝内
	陶片	瓦	外 土器・赤色砂岩	内 1004/3 (68) 内 1004/4 (69)			
2	陶片	瓦	内 土器・新羅子子	内 2592/7 (62)	破片が多く、破片の残片。	新羅子子 瓦片	溝内
	陶片	瓦	外 土器	内 2592/7 (62) 内 2592/8 (62)			
3	陶片	瓦	内 ヘラ子器	内 2592/7 (62)	破片・破片の残片あり。	1004/4 1004/8	溝内
	陶片	瓦	外 土器	内 1004/5 (68)			
4	陶片	瓦	内 土器	内 1004/3 (68)	破片・破片の残片あり。	1004/3 1004/8	溝内
	陶片	瓦	外 土器	内 1004/3 (68) 内 1004/7 (68)			
5	陶片	瓦	内 土器	内 2592/5 (62)	破片・破片の残片あり。	1004/4 1004/8	溝内
	陶片	瓦	外 土器	内 2592/5 (62) 内 2592/6 (62)			
6	陶片	瓦	内 ヘラ子子	内 2592/7 (62)	破片・破片の残片あり。	新羅子子 瓦片	溝内
	陶片	瓦	外 土器	内 2592/7 (62) 内 1004/4 (69)			



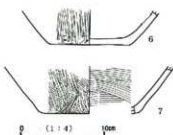
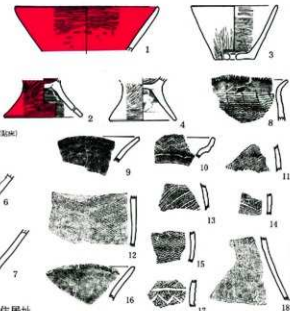
完掘 (東より)



炉 (東より)

I125土層説明

1. 黒褐色土層 (I1252) 砂、小石、炭化材を含む。
2. 緑褐色土層 (I1253) 粘土粒を多量に含む。
3. 黒色土層 (I1254) 炭化物、粘土粒子を含む。
4. 濃い褐色土層 (I1254) 粘土粒子を含む。(砂多)
5. 暗褐色土層 (I1255) (圧縮)
6. 暗褐色土層 (I1256) 砂主体。(ヒット型方)
7. 暗褐色土層 (I1257) ヒット型方を含む。
8. 褐色土層 (I1258) 砂主体。



第20図 I125号住居址

第11表 INP X H 26号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	材質・調製	産地	出土位置	出土状態
1	粘土 片	1(1)	内 粘土 外 赤色塗彩 (1手塗彩)	内 7.2SR4/2 (A) 外 7.2SR4/3 (A)	赤地に3mm白色種子含む。 赤石片・黒石片散り含む。	土層1/3
2	粘土 片付片	5(5)	内 緑褐色土層 赤土塗彩 緑褐色土層 (厚目) →赤土塗彩 外 土層3 赤土塗彩	内 5.5SR4/4 (B, C) 外 3.0R4/3 (B)	黒土。	土層1/3の赤土層 土層1/3の赤土層 土層1/3の赤土層
3	粘土 片	4(4)	内 ヘッド付 (厚目) →土層4 外 土層4	内 3.5SR7/1 (B) 外 2.5SR4/3 (B)	黒石片・黒石散り含む。	土層1/2 土層1/2
4	粘土 片付片	8(2)	内 黒褐色土層 黒褐色土層 (厚目) ナズ 外 ヘッド付 (厚目) →土層4	内 7.2SR7/2 (C, D) 外 7.2SR6/4 (C, D)	黒土。	土層1/3
5	粘土 片付片	1(1)	内 緑褐色土層 (厚目) →土層4 黒褐色土層 (厚目) →土層4 (1層はコナダ 1層は黒褐色土層) →土層4 (1層は黒褐色土層) 黒褐色土層 (厚目) →土層4	内 7.2SR7/2 (B) 外 7.2SR7/4 (B)	黒石片・黒石散り含む。	土層1/3
6	粘土 片	1(1)	内 黒褐色土層 外 土層4 黒褐色土層 (厚目) ナズ 黒褐色土層 (厚目) →土層4	内 7.2SR6/2 (C, D) 外 7.2SR6/3 (C, D)	黒石片・黒石散り含む。	土層1/3
7	粘土 片	1(1)	内 ヘッド付 (厚目) 外 ヘッド付 (厚目) →土層4 黒褐色土層 (厚目) ナズ	内 7.2SR6/4 (B) 外 7.2SR6/4 (C, D)	黒石片・黒石散り含む。	土層1/4 土層1/4

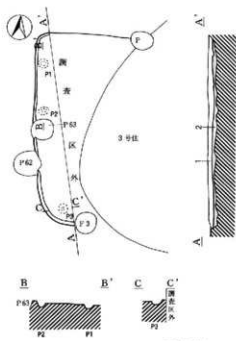
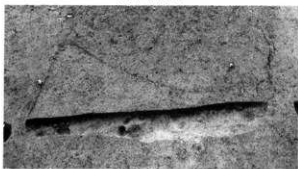


図24 土層断面
1. 高岡赤土層 (OYR23)
砂、小石を含む。
2. 埋没土層 (OYR25)
砂、小石を多量に含む。(埋没)



完器 (西より)

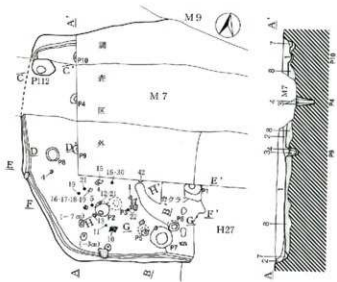


埋方 (西より)

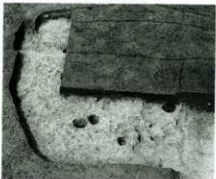
第21図 H24号住居址

第12表 INP X H25号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	位置	説明・遺物	調査 品目	出土 状況	写真・備考	出土位置
1	赤土 漆	内 2号本 外 2号本		内 10YR7/3 (C1-1)(赤土) 外 10YR8/3 (漆赤土)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/3 埋没状態	No.15
2	赤土 漆	内 敷土ナシ 外 3号本 (埋) 赤色磁器 (ハナモノ)		内 5YR4/2 (埋赤土) 外 10R3/6 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/1 完全状態 埋没した状態	トレンチ
3	赤土 土製片断	内 2号本 赤色磁器 埋没ヘラナシ 外 3号本 赤色磁器	埋没ヘラナシ	内 外 12R4/4 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/2 埋没状態 埋没状態 埋没状態	トレンチ
4	赤土 高砂	内 赤土2号本 赤色磁器 埋没ヘラナシ (埋) ナシ 外 3号本 赤色磁器	埋没ヘラナシ	内 10R5/0 (埋) 外 5YR7/3 (C1-1)(埋) 外 10R5/0 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/4 完全状態	No.1
5	赤土 漆	内 3号本 赤色磁器 外 3号本 赤色磁器 土質磁器文 (群赤)		内 10R7/2 (埋赤土) 外 10R7/2 (埋赤土) 外 埋没土層	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/1 埋没状態 一重埋没層中心部 写真 10/3	No.10 トレンチ 群赤
6	赤土 漆	内 2号本 赤色磁器 (埋没) 外 3号本 赤色磁器		内 10R4/4 (埋) 外 5YR3/6 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/3 埋没状態	群赤
7	赤土 漆	内 3号本 赤色磁器 外 3号本 赤色磁器		内 10R4/4 (埋) 外 10R4/4 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/4 埋没状態	群赤
8	赤土 漆	内 3号本 赤色磁器 外 3号本 赤色磁器 埋没土器		内 10R5/4 (埋赤) 外 10R6/4 (C1-1)(埋赤) 外 10R7/4 (C1-1)(埋赤)		写真1/2 埋没状態	群赤
9	赤土 白粉	内 敷土ナシ 外 ヘラナシ (埋) ナシ 外 ヘラナシ (埋) 土器	埋没ヘラナシ (埋) ナシ	内 5YR6/0 (埋) 外 5YR6/0 (埋)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/4 完全状態	トレンチ
10	赤土 漆	内 2号本 外 群赤土層 敷土ナシ 外 群赤土層 敷土ナシ	埋没土器	内 7.5YR4/2 (埋赤) 外 7.5YR5/4 (C1-1)(埋赤)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/1 完全状態	No.13
11	赤土 白粉	内 群赤土層 敷土ナシ 外 ヘラナシ (埋) 土器	埋没土器	内 群赤土層 (埋赤) 外 埋没土層 (埋赤) 外 埋没土層 (埋赤)	磁器片・礫石瓦片等含む。	写真1/4 完全状態	No.12
12	赤土 漆	内 ナシ 土器 外 ヘラナシ 埋没ヘラナシ		内 7.5YR6/3 (C1-1)(埋赤) 外 7.5YR5/3 (C1-1)(埋赤)	0.5m 大砂粒・礫石片・礫石瓦片等含む。	写真1/1 完全状態	No.11
13	赤土 漆	内 3号本 外 3号本 赤土2号本		内 7.5YR5/2 (埋赤) 外 7.5YR5/2 (埋赤)	0.5m 大砂粒・礫石片・礫石瓦片等含む。	写真1/3 完全状態	No.9
14	赤土 漆	内 ヘラナシ (埋) 外 3号本 赤色磁器 埋没土器		内 2.5YR12/1 (埋) 外 2.5YR3/4 (埋赤土) 外 2.5YR3/4 (埋赤土)	0.5m 大砂粒・礫石片・礫石瓦片等含む。 埋没土器等含む。	写真1/4 埋没状態	群赤



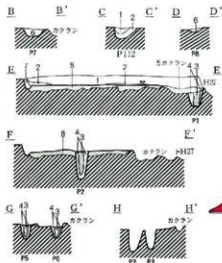
完掘 (南より)



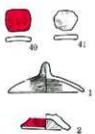
堀方 (南より)



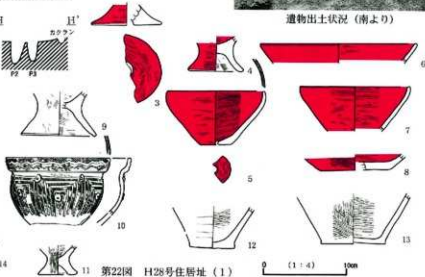
遺物出土状況 (南より)



標高 661.00m
0 (1:80) 2m

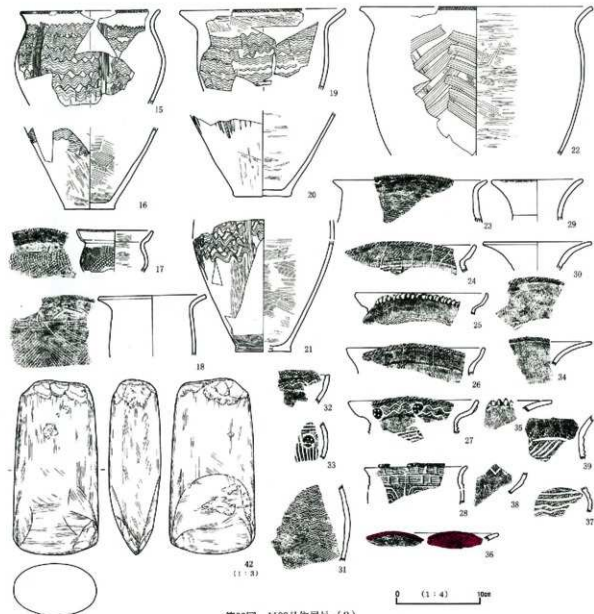


- H28 土層説明
1. 赤褐色土層 (HYR20) パミス、小石を多量含む。
 2. 黒褐色土層 (HYR21) パミス、砂を少量含む。
 3. 黒褐色土層 (HYR22) (土層)
 4. 黒褐色土層 (HYR23) 砂を多量含む。
 5. 黒褐色土層 (HYR24) 土層 (層C)
 6. 赤褐色土層 (HYR25) 砂を含む。
 7. 赤褐色土層 (HYR26) 砂を多量含む。(埋藏)
 8. 黒褐色土層 (HYR27) 砂、小石を多量含む。(堀方)



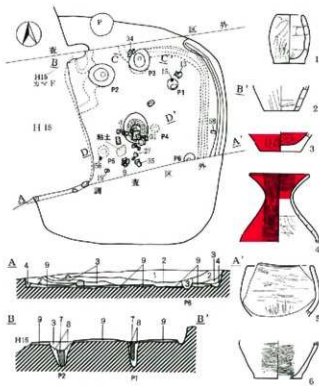
第22図 H28号住居址 (1)

0 (1:4) 100m



第23図 H28号住居址(2)

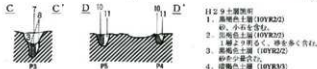
15	灰土 片 (12.80 11.80)	内 ヘラナダ(横目) 2分半 外 13編目3ナダ(口縁部)織文 内 13編目3ナダ(口縁部)織文 外 13編目3ナダ(口縁部)織文	内 7.5X16.0(口縁部) 外 7.5X15.0(口縁部)	縦長片・縦長角片多量含む。	13編目3 13編目3 13編目3	No.3 No.4 トレンチ 遺区
16	灰土 片 6.2 (16.0)	内 ヘラナダ(横目) 1分半 外 ヘラナダ(横目) 一編目織文一モヤ多 編目ヘラナダ(縦目)一モヤ多	内 7.5X16.0(口縁部) 外 7.5X15.0(口縁部)	0.5mm 大小の黒石・石角片多量含む。	13編目3 編目3 編目3	No.5 B・遺区・トレンチ
17	灰土 小片 19.40 19.40	内 2分半 13編目織文 外 13編目織文 ナダ	内 7.5X17.0(口縁部) 外 7.5X16.0(口縁部)	縦長片・縦長角片多量含む。	13編目3 13編目3	トレンチ P1 遺区 No.5
18	灰土 片 (13.20 17.0)	内 ナダ(横目) 一モヤ多 外 13編目織文 片 内 ナダ(横目) 1分半 外 ナダ(横目) 一編目織文一モヤ多	内 7.5X17.0(口縁部) 外 7.5X16.0(口縁部)	縦長片・縦長角片多量含む。	13編目3 13編目3	No.6
19	灰土 片 (16.80 19.80)	内 ヘラナダ(縦目) 2分半 外 13編目織文 片 内 ヘラナダ(横目) 2分半 外 13編目織文 片	内 7.5X16.0(口縁部) 外 7.5X15.0(口縁部)	縦長片・縦長角片多量含む。	13編目3 13編目3	No.6 No.7 No.8
20	灰土 片 (17.80 18.80)	内 2分半 外 ヘラナダ(横目) ヘラナダ「2」の字多量一モヤ多 編目ヘラナダ	内 7.5X16.0(口縁部) 外 7.5X15.0(口縁部)	0.5mm 大小の黒石・縦長角片多量含む。	編目3 編目3	遺区 遺区 トレンチ



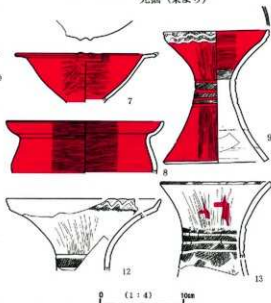
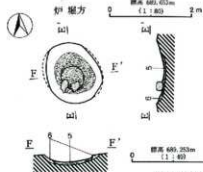
遺物出土状況 (南より)



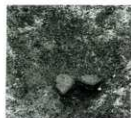
完掘 (東より)



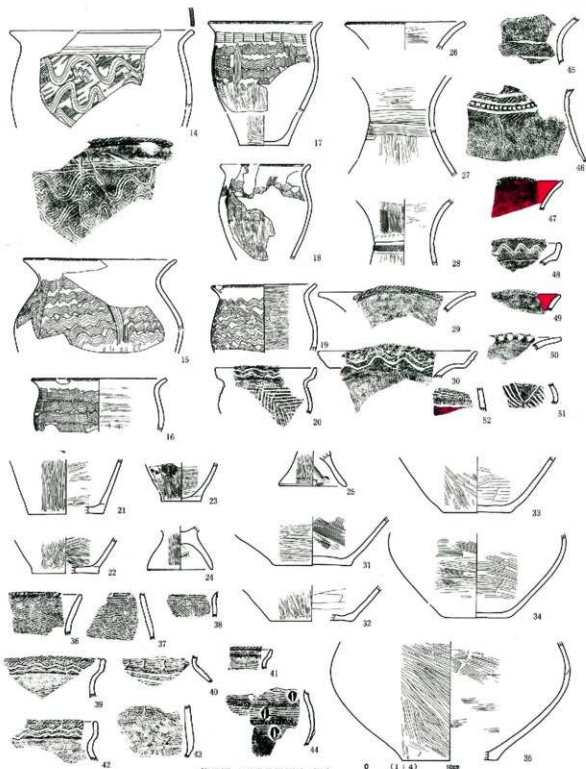
- 1129号遺物
 1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
 砂、小石を含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR2/3)
 土層よりなる。砂を多く含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
 砂を少量含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3)
 砂を含む。(0.4cm)
 5. 赤褐色土層 (5YR4/6)
 粘土。
 6. 赤褐色土層 (7.5YR3/2)
 (0.4cm)
 7. 赤褐色土層 (10YR2/3)
 (粘土)
 8. 赤褐色土層 (7.5YR3/2)
 (ピット底)
 9. 黒褐色土層 (10YR2/3)
 砂、多量に含む。(0.4cm)
 10. 暗褐色土層 (10YR3/4)
 (粘土)
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
 砂主体。(0.6cmピット)



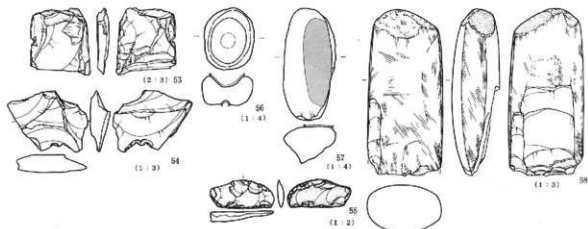
第24図 1129号住居址 (1)



1129 (南より)



第25图 H29号住居址(2)



第26図 H129号住居(3)

番号	種別	出土層	内 容	図 号	備 考	出 土 層
15	石片	15.64	内 2号キ 外 1号キコナデ→自然剥離文 自然剥離破片文	内 7.5V35/1 (7)破 外 7.5V35/3 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 15.64
17	石片	11.30 6.0 11.13	内 2号キ 外 1号キ 1号キ 1号キ 1号キ 1号キ	内 3V36/4 (2,3)破 外 3V36/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.30 6.0 11.13
18	石片	11.18 11.7	内 2号キ 外 1号キ 1号キ 1号キ 1号キ	内 7.5V37/3 (2,3)破 外 7.5V37/3 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.18 11.7
19	石片	11.29 11.29 11.29	内 ヘラナデ (破) →2号キ 外 ヘラナデ (破) →2号キ 外 1号キコナデ→自然剥離文 (4号) 自然剥離文	内 10V37/4 (2,3)破 外 10V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.29 11.29
20	石片	11.24 11.0	内 2号キ 外 ヘラナデ (破) →2号キ 外 自然剥離文 自然剥離破片文 礫石角片石片	内 7.5V37/4 (2,3)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.24 11.0
21	石片	11.24 11.24	内 2号キ 外 2号キ	内 10V37/4 (2,3)破 外 10V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.24 11.24
22	石片	11.24 11.24	内 2号キ 外 2号キ	内 7.5V37/4 (2,3)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.24 11.24
23	石片	4.8 11.7	内 2号キ 外 礫石→2号キ	内 10V37/4 (2,3)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 4.8 11.7
24	石片	11.24 11.24	内 新ナデ 礫石ヘラナデ、ナデ 外 2号キ	内 12V37/4 (2,3)破 外 12V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.24 11.24
25	石片	11.24 11.24	内 ヘラナデ (破) 外 2号キ	内 10V37/4 (2,3)破 外 10V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.24 11.24
26	石片	11.43 11.4	内 ナデ→2号キ 外 1号キコナデ→自然剥離文	内 7.5V37/3 (2,3)破 外 7.5V37/3 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.43 11.4
27	石片	11.4 11.4	内 ナデ→2号キ 外 自然剥離破片 破片→2号キ	内 7.5V37/3 (2,3)破 外 7.5V37/3 (2,3)破	礫石角片	1号キ 11.4 11.4
28	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ→2号キ 外 ヘラナデ (破) →自然剥離文→自然剥離破片文→2号キ	内 7.5V37/3 (2,3)破 外 7.5V37/3 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
29	石片	11.4 11.4	内 2号キ 外 ナデ→2号キヘラナデ (破) →自然剥離文	内 7.5V37/4 (2,3)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
30	石片	11.4 11.4	内 2号キ 外 2号キ 1号キ 1号キ	内 7.5V37/2 (2)破 外 10V37/3 (2)破	1号キ以下の礫石片、約1cm以下の礫石片、約1cm以下の礫石片	1号キ 11.4 11.4 11.4
31	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ (破) 外 2号キ	内 10V37/3 (2)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
32	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ 外 ヘラナデ (破) →2号キ	内 7.5V37/3 (2,3)破 外 2.5V37/3 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
33	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ (破) 外 礫石ヘラナデ→礫石角片石片→自然剥離破片	内 10V37/3 (2)破 外 10V37/3 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
34	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ (破) ナデ 外 ヘラナデ (破) →2号キ	内 7.5V37/4 (2,3)破 外 7.5V37/4 (2,3)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
35	石片	11.4 11.4	内 ヘラナデ (破) 外 2号キ 自然剥離破片	内 7.5V37/2 (2)破 外 10V37/3 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
36	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
37	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
38	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
39	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
40	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
41	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
42	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
43	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
44	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
45	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
46	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
47	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
48	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
49	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
50	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
51	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
52	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
53	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
54	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
55	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
56	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
57	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4
58	石片	11.4 11.4	内 2号キ	内 7.5V37/2 (2)破	礫石・礫石角片石片	1号キ 11.4 11.4

第14表 INP X II 35号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	形状・材質	出所	備考	出土位置	
1	弥生 土器	1(4.9)	西 土器片 赤土塗布 外 土器片 黒色塗布	内 弥生 外 弥生		黒土・黒土 土器片	
2	弥生 土器	16.1 0.5	内 弥生土器片 弥生土器片 弥生土器片 (黒土塗布) 外 土器片 赤土塗布	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (黒土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器 弥生土器	
3	弥生 土器	8.2 0.5	内 弥生土器片 弥生土器片 (黒土塗布) ナマ 外 土器片	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器	
4	弥生 土器	0.5 0.5	内 ナマ 土器 外 弥生土器片→ヘソ幅半円型土器片	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)		弥生土器 弥生土器 弥生土器片 弥生土器片	
番号	種別	数量	計(個)	計(個)	計	備考	出土位置
12	弥生土器	80.0	29.3	23.0	69.0	弥生土器の破片あり、遺り地層あり。	穴
13	弥生土器片	34.0	23.0	5.0	33.0	弥生土器片、弥生土器片、弥生土器片	土器

第15表 INP X II 40号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	形状・材質	出所	備考	出土位置
1	弥生 土器	0.0 0.0	内 弥生土器片 弥生土器片 (赤土塗布) 外 土器片 赤土塗布	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器
2	弥生 土器	0.0 0.0	内 弥生土器片 弥生土器片 外 土器片	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器
3	弥生 土器	0.0 0.0	内 土器片 外 弥生土器片→ヘソ幅半円型土器片	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器
4	弥生 土器	0.0 0.0	内 土器片 外 ヘソ幅半円型土器片	内 弥生土器片 (赤土塗布) 弥生土器片 (赤土塗布)	弥生土器片の破片に付、 弥生土器片に付、	弥生土器 弥生土器

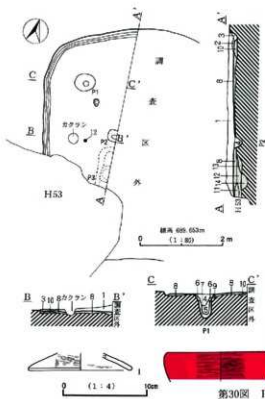
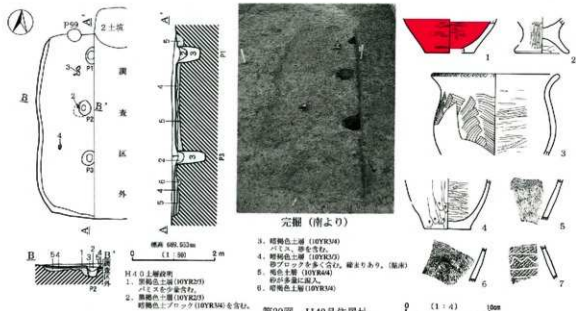
2. 弥生時代後期 H27・H33・H34・H39・H48・H50・H55(不明)・H77・H80・H82・H88・H105

弥生後期の住居址は12棟検出され、H55・H33を除いて、ほぼ同一期である。壁は口縁部に横溝状の溝が一段帯状に施されるか、または無文で、帯は胴中位に外縁を持っておらず、後期初頭の土器様相を持つものである。隣接する、西一本柳遺跡Ⅲ・Ⅳで9棟検出され、本調査とあわせ17棟の弥生後期初頭の住居址が確認された。Ⅲ・Ⅳ地点では本資料より後出するであろう弥生後期の箱清水期の住居址も5棟みられ、西の北西の久保遺跡も後期の箱清水期の集落が主体である。2棟のみが後期初頭であるが他に後期初頭の住居址はみられない。本遺跡の弥生後期初頭の土器群は弥生中期と直接連続せず、琵琶坂遺跡群直路遺跡ⅠのH1などの土器群が介在するようである。

本遺跡を含め、周辺の弥生後期住居址調査数は67棟である。

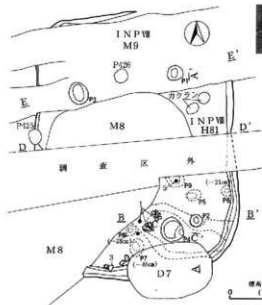
本遺跡	西一本柳遺跡Ⅱ～Ⅳ	北西の久保遺跡	五里田遺跡	合計
12	17	38	1	68

墓としては北に隣接する西一本柳遺跡Ⅱで一辺8.6mの四隅の切れる周溝が検出されている。報文では弥生中期としているが弥生後期初頭の方形周溝であろう。本遺跡弥生後期初頭の集落に伴う周溝と推測され、弥生後期初頭の方形周溝が集落と構成されていたことが確認された。



第16表 INP X H43号住居址出土遺物一覧表

図号	品名	出層	材質・形状	発見層	出土位置	発見・出土層	発見・出土層	出土位置
1	瓦片	(127)	内 フタ	内 20YR3/6 (赤)	溝口東・溝口西の子目付	10層 1/2	内	溝口西
		(128)	内 ヘラフタ (横目) -1.5寸	内 20YR3/6 (赤)		10層 1/2	内	溝口西
2	赤土	(129)	内 2寸半 赤土塗布	内 10YR2/2 (紅・黒褐色)	溝口東・溝口西の子目付	10層 1/2	内	溝口東
		(130)	内 2寸半 赤土塗布	内 10YR2/2 (紅・黒褐色)		10層 1/2	内	溝口東



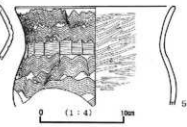
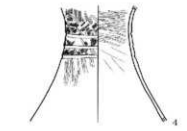
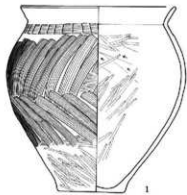
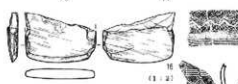
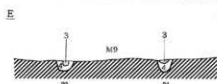
完掘 (南より)



掘方 (南より)

標高 69.753m
(1:50)

- H44土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR3/7)
 2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
 3. 茶褐色土層 (10YR2/3) (柱状)
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂と多量に含む
 5. 褐色土層 (10YR4/4) 砂と多量に含む



第31図 H44号住居址

0 (1:4) 10cm

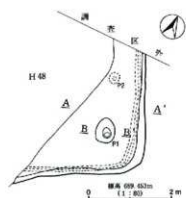
番号	品名	数量	出所	図面・説明	出所	出土	備考	出土位置
3	弥生 土器	11.1 2.6	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣1/2 中庭 西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等
4	弥生 土器	4.0 2.5	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
5	弥生 土器	3.3 5.5	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
合計	数量	19.0	11.0	8.0	0	0	0	出土位置
12	瓦	34.0	4.0	3.0	0	0	0	出土位置

第17表 DNP X H44号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	出所	図面・説明	出所	出土	備考	出土位置
1	弥生 土器	19.1 8.1 22.0	西ノナギ 西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等 西ノナギ(北垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等 西ノナギ(北垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣1/2 中庭 西ノナギ(北垣) 土器等
2	弥生 土器	6.3 0.7	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
3	弥生 土器	11.0 2.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
4	弥生 土器	11.0 1.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
5	弥生 土器	11.0 1.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
合計	数量	59.0	31.0	28.0	0	0	0	出土位置
15	瓦	31.0	4.0	0.0	12.0	0	0	出土位置

第18表 DNP X H47号住居址出土遺物一覧表

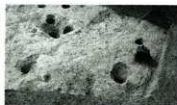
番号	品名	数量	出所	図面・説明	出所	出土	備考	出土位置
1	弥生 土器	11.0 0.0 0.0	西ノナギ 西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等 西ノナギ(北垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等 西ノナギ(北垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣1/2 中庭 西ノナギ(北垣) 土器等
2	弥生 土器	11.0 0.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
3	弥生 土器	11.0 0.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
4	弥生 土器	11.0 0.0	西ノナギ 西ノナギ	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	西ノナギ(北垣) 土器等 西ノナギ(南垣) 土器等	磁石瓦・磁石瓦片等		北垣 中庭
合計	数量	44.0	22.0	22.0	0	0	0	出土位置
8	瓦	21.0	1.0	0.0	2.0	0	0	出土位置
9	瓦	23.0	21.0	2.0	1.0	0	0	出土位置



H48 土層説明
1. 暗褐色土層 (0YR3/3)
2. 黄褐色土層 (0YR3/2)
3. 褐色土層 (10YR4/3)
砂を多量に含む。(地中)
砂を多く含む。



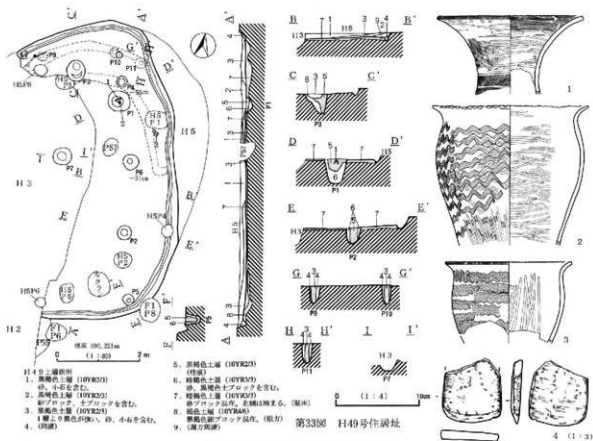
完圖 (南より)



断面 (南より)

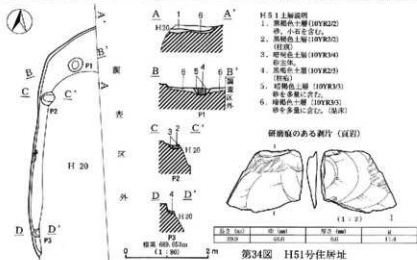


第32図 H47号住居址

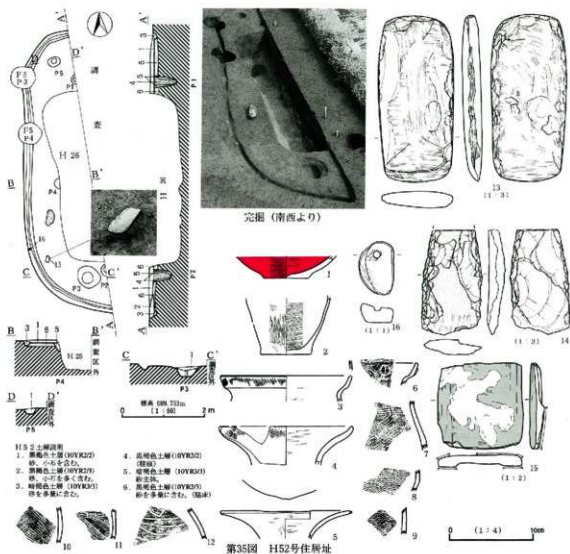


第19表 INP X H49号住居址出土遺物一覧表

品目	数量	品名	出所	品名	出所	品名	数量	品名	数量
H49	170	内 ヘラツク (10Y1) → 2ツク 赤銅製 外 (10Yヘラツク) (10Y1) → 3ツク (10Y銅製)	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	銅製	銅製	1	銅製	No.5
H49	960	内 ヘラツク (10Y1) → 2ツク 赤銅製 外 (10Yヘラツク) (10Y1) → 3ツク (10Y銅製)	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	銅製	銅製	1	銅製	No.2
H49	115.0	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3) 外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	銅製	銅製	1	銅製	No.4
H49	110.0	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3) 外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	内 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	外 10YR2/3 (10Y2/3) (10Y2/3)	銅製	銅製	1	銅製	No.4
品目	数量	品名	出所	品名	出所	品名	数量	品名	数量
4	100	銅製	銅製	銅製	銅製	銅製	1	銅製	No.6

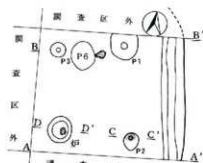


完備 (北より)



第20表 INP X H52号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	出土層	形状・寸法	色	出所	備考	出土位置
1	陶片	65.0	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置
		42.75	外 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)			
2	赤土	4.0	内 2号土層	赤褐色片	内 7.5YR5/8 (紅土)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	74
		47.22	外 2号土層	赤褐色片	内 7.5YR5/8 (紅土)			
3	赤土	13.4	内 3号土層	赤褐色片	内 5YR5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	54
		23.1	外 3号土層	赤褐色片	内 5YR5/8 (赤)			
4	赤土	176.0	内 3号土層	赤褐色片	内 2.5YR5/4 (紅土)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	1130
		48.7	外 3号土層	赤褐色片	内 10YR5/4 (赤)			
5	赤土	138.0	内 2号土層	赤褐色片	内 2.5YR5/2 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	54
		48.45	外 2号土層	赤褐色片	内 10YR5/2 (赤)			
6	陶片	100	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置
7	赤土	15.0	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置
8	赤土	90.0	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置
9	赤土	50.0	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置
10	赤土	15.0	内 2号土層	赤褐色片	内 10Y5/8 (赤)	横板石・磨石類等を含む。	横板石	出土位置



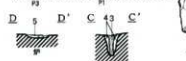
炉 (東より)



完掘 (南西より)

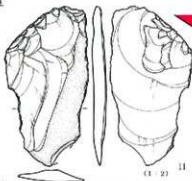
H59 (W 14) 土層説明

1. 赤褐色土層 (0YR2/3) 砂、パミム、炭化物などを含む。
2. 暗褐色土層 (0YR3/4) 砂多く、薪まりなし。(調査)
3. 暗褐色土層 (0YR3/5) 砂、パミムを含む。
4. 2.55~黄褐色土層 (0YR4/0) 砂主層。
5. 赤褐色土層 (0YR2/3) 焼土粒子を含む。
6. 褐色土層 (0YR4/4) 砂主層。(調査)

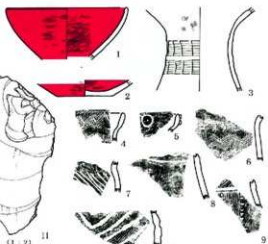


標高 88.70m
1:200

0 2m



第36図 H59号住居址

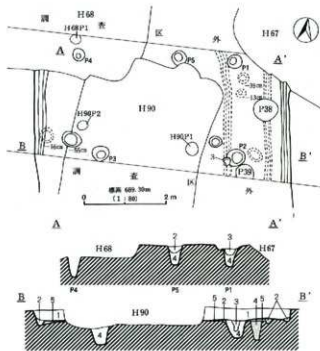


第21表 INP X H59号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	数量	出 土 地 帯		出 土 層		出 土 方 位 考	出 土 時期
			内	外	内	外		
1	赤土 鉄	11.00	内	37号ナ	内	190Y/9 (3)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/4 1層底層
			外	37号ナ	外	23YR4/6 (5) (調査)		
2	赤土 鉄	06.00 03.00	内	37号ナ	内	23Y/1/3 (調査)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/5 1層底層
			外	ヘラナダ	外	23YR1/6 (調査)		
3	赤土 鉄	-	内	ナダ	内	23YR2/4 (3)	焼土層・焼土粒子を含む。1層上 赤土粒子を含む。	1層上/1 1層底層 1層底層以上
			外	ヘラナダ (焼土)	外	23YR1/6 (3)		
品目	品名	数量 (個)	出 土 地 帯	出 土 層	出 土 方 位	出 土 時期	出 土 時期	
1	焼土層の赤土	97.0	11.0	7.0	8.0	1層上、1層底層と2層、2層と3層の中間層。	1層上	

第22表 INP X H66号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	数量	出 土 地 帯		出 土 層		出 土 方 位 考	出 土 時期
			内	外	内	外		
1	赤土 高砂	(4.4) (1.4)	内	37号ナ	内	23YR6/4 (2) (3) (4) (5)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/4 1層底層
			外	37号ナ	外	23YR6/4 (2) (3) (4) (5)		
2	赤土 鉄	(12.2) (5.5)	内	37号ナ	内	10YR6/4 (2) (3) (4) (5)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/5 1層底層
			外	ヘラナダ (焼土)	外	10YR6/4 (2) (3) (4) (5)		
3	赤土 鉄	(26.2) (16.7)	内	37号ナ	内	23YR6/5 (4) (5)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/5 1層底層
			外	37号ナ	外	23YR2/4 (2) (3) (4) (5)		
4	赤土 鉄	(12.3) (4.4)	内	37号ナ	内	23YR6/5 (2) (3) (4) (5)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/4
			外	ヘラナダ	外	23YR6/4 (2) (3) (4) (5)		
5	赤土 鉄	(11.3) (3.3)	内	37号ナ	内	10YR6/2 (3) (4) (5)	焼土層・焼土粒子を含む。	1層上/4
			外	ヘラナダ	外	10YR7/4 (2) (3) (4) (5)		

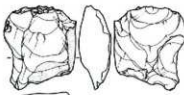


上から 完掘 東方(南より・東より)

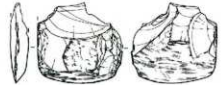
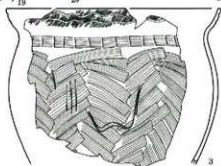


H66 (W H12) 土層説明

1. 粘褐色土層 (10YR3/3)
砂、パースを少量含む。
2. 上2.5cm厚粘褐色土層 (10YR3/3)
砂を多く含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/0)
砂、粘土物を含む。
4. 粘赤土層 (10YR3/4)
砂主体。
5. 粘褐色土層 (10YR3/4)
砂多く、網入りあり。



(1:3) 21

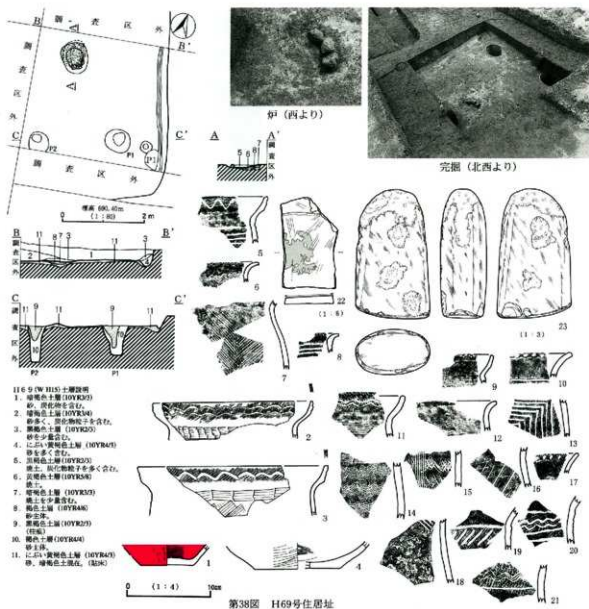


(1:3) 22

第37図 H66号住居址

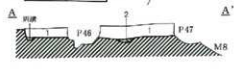
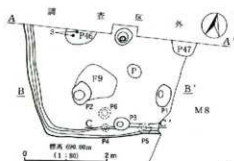
(1:4) 10cm

番号	種別	形状・寸法	出所	特徴	出土位置
1	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
2	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
3	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
4	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
5	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
6	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
7	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
8	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
9	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
10	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
11	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
12	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
13	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
14	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
15	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
16	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
17	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
18	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
19	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
20	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
21	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層
22	弥生土	丸底土器 (丸底) 高さ約10cm、口径約15cm	内 10YR3/4 (12.5:40) 外 10YR3/4 (12.5:40)	赤褐色・黒褐色の土。	図1/5 +4C土層

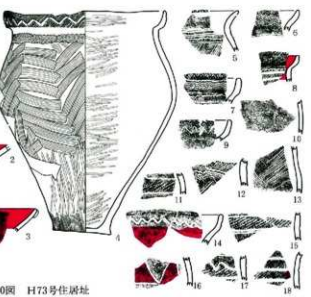
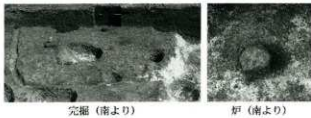


第25表 INP X H69号住居址出土遺物一覧表

品目	数量	出層	形状・特徴	色調	数量	形状・特徴	色調	数量	形状・特徴	出層
1	海貝	6.4 (2.2)	内 1号ナ 多数産出 外 2号ナ 多数産出	内 2.5YR6/5 (C.5) 4個 外 2.5R4/6 (A) 1個 外 5YR2/2 (C.3) 3個	楕円形・扇形をとり、貝口、 又は開口	黄褐色土層 2層				
2	海貝	19.0 14.5	内 1号ナ 外 1号ナ 内 1号ナ 外 1号ナ	内 10YR7/7 (C.5) 1個 外 5YR5/2 (A) 1個	扇形・扇形をとり、 又は開口	1層 1/3 4層 2/3				
3	赤土	23.0 (6.5)	内 1号ナ 外 1号ナ 内 1号ナ 外 1号ナ	内 10YR7/7 (C.5) 1個 外 5YR5/2 (A) 1個	扇形・扇形をとり、 又は開口	1層 1/3 2層 2/3				
4	赤土	11.0 (3.2)	内 1号ナ 外 1号ナ	内 2.5YR6/5 (C.5) 1個 外 10YR5/2 (C.3) 1個	扇形・扇形をとり、 又は開口	1層 1/3 2層 2/3				
5	海貝	7.1	内 1号ナ	内 2.5YR6/5 (C.5) 1個 外 10YR5/2 (C.3) 1個	扇形・扇形をとり、 又は開口	1層 1/3 2層 2/3				
6	海貝	11.0	内 1号ナ	内 2.5YR6/5 (C.5) 1個 外 10YR5/2 (C.3) 1個	扇形・扇形をとり、 又は開口	1層 1/3 2層 2/3				



H73 (W-H73) 土層説明
 1. 粘褐色土層 (H73C3)
 砂、パカ土、文化物散りを含む。
 2. 赤褐色土層 (H73B4)
 焼土。
 3. 粘褐色土層 (H73C3)
 (土表)
 4. 褐色土層 (H73B4)
 砂主体。



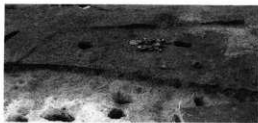
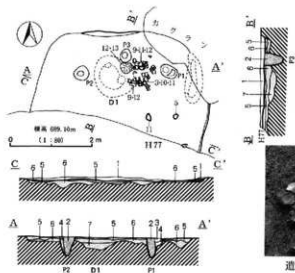
第40図 H73号住居址

第25表 INP X H73号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	式目・調査	出所	出所	出所	出所	出土位置
1	赤土製土器	5.0	内 ケコナデ	内 10Y37/4 (IC.21+100)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		2.6	外 ケコナデ	内 10Y36/2 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
2	赤土製土器	17.0	内 ケコナデ 赤土製土器	内 25Y35/6 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		22.1	外 ケコナデ 赤土製土器	内 25Y35/4 (IC.21+100)		IC.21	IC.21	1区
3	赤土製土器	112.0	内 ケコナデ 赤土製土器	内 25Y34/4 (IC.21+100)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		—	外 ケコナデ 赤土製土器	内 25Y34/9 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
4	赤土製土器	17.0	内 ケコナデ	内 10Y37/4 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		27.1	外 ケコナデ (焼土) → ケコナデ 粘褐色土層 (焼土) → 粘褐色土層 (焼土)	内 10Y37/9 (IC.21+100)		IC.21	IC.21	1区

第26表 INP X H79号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	式目・調査	出所	出所	出所	出所	出土位置
1	赤土製土器	25.4	内 ケコナデ	内 25Y30/4 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		—	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 25Y32/4 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
2	赤土製土器	25.2	内 ケコナデ (焼土) → ケコナデ	内 25Y32/4 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		14.8	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 25Y32/4 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
3	赤土製土器	20.0	内 ケコナデ (焼土) → ケコナデ	内 10Y36/3 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		11.2	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 10Y36/2 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
4	赤土製土器	17.6	内 ケコナデ (焼土) → ケコナデ	内 25Y36/2 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		7.3	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 25Y36/2 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
5	赤土製土器	12.0	内 ケコナデ (焼土) → ケコナデ	内 25Y36/3 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		3.2	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 25Y36/3 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
6	赤土製土器	46.8	内 ケコナデ	内 25Y36/1 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		3.3	外 ケコナデ	内 25Y36/1 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
7	赤土製土器	5.3	内 ケコナデ (焼土) → ケコナデ	内 10Y37/3 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		—	外 ケコナデ (粘褐色土層) → 粘褐色土層 (焼土)	内 10Y37/4 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区
8	赤土製土器	6.5	内 ケコナデ	内 25Y36/4 (IC.21)	磁石系・黒磁石散り含む。	IC.21	IC.21	1区
		16.4	外 ケコナデ	内 25Y36/4 (IC.21)		IC.21	IC.21	1区



完備 (南より)

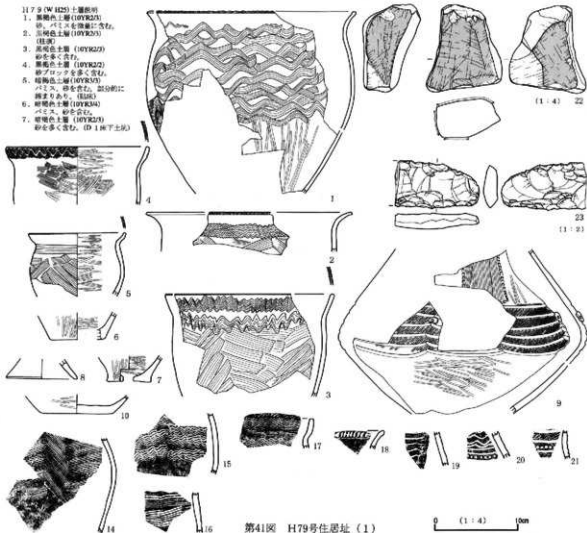


遺物出土状況 (東より)



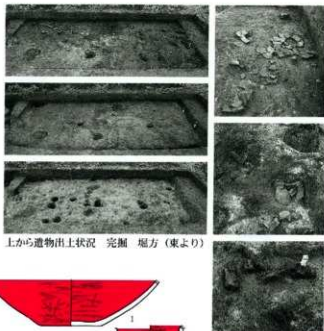
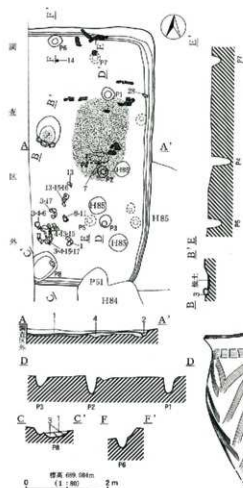
堀方 (南より)

- 1179 (W 825) 土器説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
砂、パリスを多数含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR3/3)
(柱状)
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
砂を多く含む。
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂の割合が多くなる。
 5. 暗褐色土層 (10YR3/3)
パリス、砂を含む。部分的に
腐りあり。(注) 1)
 6. 暗褐色土層 (10YR3/4)
パリス、砂を含む。
 7. 暗褐色土層 (10YR2/3)
砂を多く含む。(注) 1) 腐りあり)



第41圖 H79号住居址 (1)

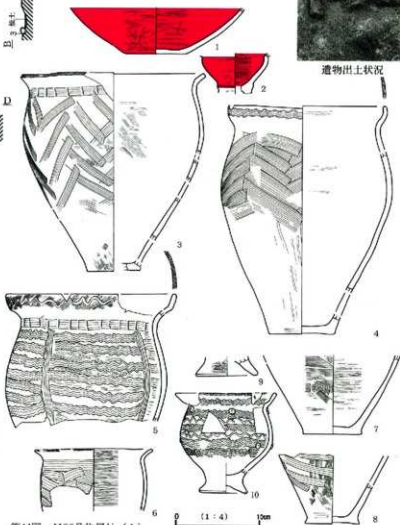
0 (1:400) 5m



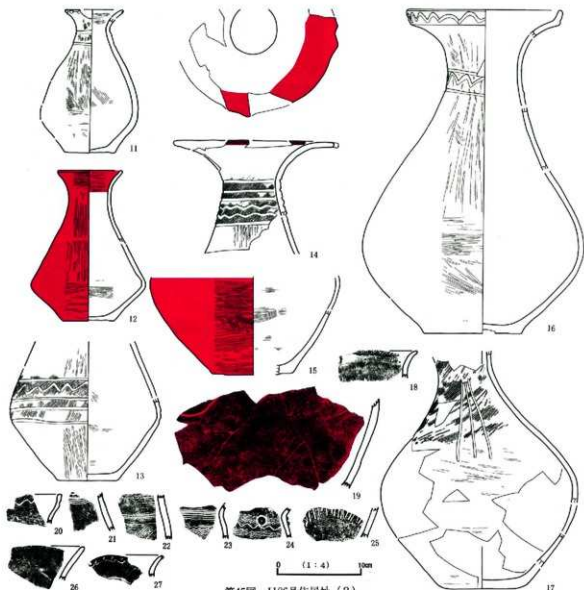
上から遺物出土状況 完掘 堀方 (東より)

遺物出土状況

- H86 (W H87) 土層説明
1. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、小礫、酸化鉄片を多く含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂、小礫を多く含む。
 3. 褐色土層 (10YR4/4) 砂を多量に含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR4/4) 砂、小礫を多く含む。(堀方)



第44図 H86号住居址 (1)



第45图 H86号住居址(2)

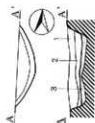
第28表 INP X H86号住居址出土器物一览表

番号	品名	数量	出所・位置	品名	数量	出所・位置	出所
1	粘土	-	内 土器中 赤色土器	内 1033/4 (赤土)	曜石片多文・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.8
	鉄	7.6 (87)	外 土器中 赤色土器 燧石片	外 2378/4.6 (赤土)			
2	粘土	-	内 土器中 赤色土器	内 3333/4 (赤土)	曜石片・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.8 No.8 片状物
	高砂	-	外 土器中 赤色土器	外 2378/4.6 (赤土)			
3	粘土	22.3 6.4 24.2	内 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土) → 土器中 外 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土) → 土器中 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土)	内 1073/2 (赤土)	曜石片・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.4 No.7 No.8 片状物
	燧石	19.4 4.0 18.0	外 土器中コナゴ ヘウチナゴ (赤土) → 土器中 内 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土)	内 1073/2 (赤土)			
4	粘土	19.4 4.0 18.0	外 土器中コナゴ ヘウチナゴ (赤土) → 土器中 内 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土)	内 1073/2 (赤土)	曜石片・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.4 No.7 No.8 片状物
	燧石	19.4 4.0 18.0	外 土器中コナゴ ヘウチナゴ (赤土) → 土器中 内 土器中コナゴ 赤土コナゴ (赤土)	内 1073/2 (赤土)			
5	粘土	100.0	内 ヘウチナゴ (赤土) → 土器中	内 1073/2 (赤土)	曜石片多文・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.10 I 04C
	燧石	13.5	外 土器中コナゴ ヘウチナゴ (赤土) → 土器中	外 2378/4.6 (赤土)			
6	粘土	13.4 7.6	内 土器中 外 土器中	内 1073/2 (赤土)	曜石片・曜石片種子片石。	内 63/24 外 54/24	No.8
	燧石	13.4 7.6	外 土器中 外 土器中	外 2378/4.6 (赤土)			

番号	発見者	年代	所在地	出土品	調査機関	調査年	出土品
1	佐々木 義	7.2 1940	内 久野 外 ヘラナガ (塚田) → 新下宮・麻原コナキ	内 2Y95/4 (3.23-4) 外 2Y95/3 (2.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文前期 縄文前期	No.10 3.10.6
2	佐々木 義	6.5 1935	内 萩 外 ヘラナガ (塚田) → ナダテ稲作地区 麻原ヘラナガ	内 2Y95/6 (9.6)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文前期 縄文前期	No.7 3.10.6
3	佐々木 自村	5.15 1937	内 萩 外 久野	内 2Y95/4 (12.23-4) 外 2Y95/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/4 縄文前期	無
10	佐々木 自村	5.15 1937	内 ナダテ・久野 外 萩	内 2Y95/4 (12.23-4) 外 2Y95/4 (9.6)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/4 縄文前期	3.10.6
11	佐々木 自村	6.2 1937	内 ナダテ・久野 外 ヘラナガ (塚田) → エ古野	内 10Y95/3 (12.23-4) 外 10Y95/2 (10.6)	藤石石版子古石、藤石石版子古石。	縄文前期 縄文前期	No.2 3.10.6 1.10.6 1.10.6
12	佐々木 自村	7.30 1937	内 萩 外 ナダテ	内 2Y95/3 (12.23-4) 外 2Y95/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/4 縄文前期	3.10.6
13	佐々木 自村	7.4 1937	内 ヘラナガ (塚田) 萩 外 萩	内 10Y97/3 (12.23-4) 外 2Y97/2 (9.6)	藤石町・藤石石版子古石。 1~200人程度の古石。	縄文前期 縄文前期	No.3 No.4 1.10.6 1.10.6
14	佐々木 自村	11.10 1938	内 ナダテ・久野 外 ナダテ・久野 → エ古野	内 2Y97/4 (12.23-4) 外 10Y97/4 (12.23-4) 1.10.6 2Y95/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/4 縄文前期	No.11 1.10.6
15	佐々木 自村	6.8 1939	内 ヘラナガ (塚田) 外 ヘラナガ (塚田) → エ古野	内 10Y97/2 (12.23-4) 外 10Y97/4 (12.23-4) 1.10.6 2Y95/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/2 縄文前期	3.10.6 No.3 No.7
16	佐々木 自村	10.0 1939	内 ナダテ・久野 (塚田) 外 ナダテ・久野 → 萩	内 2Y97/1 (3.2)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/2 縄文前期	No.3 3.10.6
17	佐々木 自村	10.10 1939	内 ナダテ 外 萩	内 10Y97/1 (3.2) 外 10Y97/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/2 縄文前期	No.4 No.7 3.10.6
備考	1. 佐々木 自村	7.10 1939	内 萩 外 萩	内 10Y97/1 (3.2) 外 10Y97/4 (12.23-4)	藤石町・藤石石版子古石。	縄文1/2 縄文前期	No.12

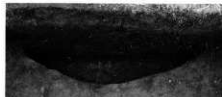
第29表 INP X H 92号住居址出土品一覧表

層位	層位	土層	土層	土層	土層	土層	土層	土層
1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
5	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
6	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1
7	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
8	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
9	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
10	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1
11	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
12	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1
13	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1



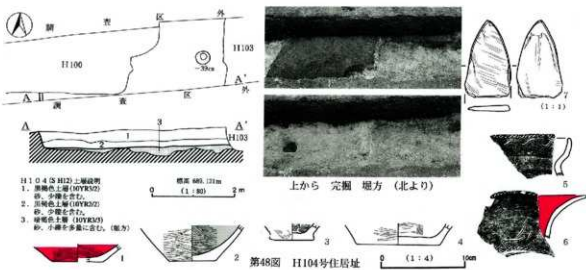
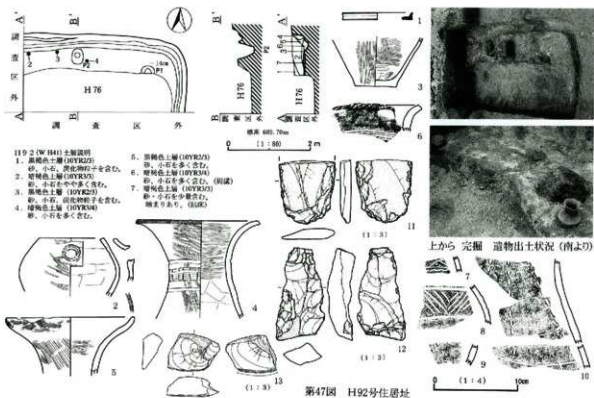
H194 (5 H2) 土層説明
 1. 焼けた土層 (10Y94) 砂、小礫を含む。
 2. 紫色土層 (10Y94) 砂を多量に含む。
 3. 紫色土層 (10Y94) 砂、小礫を多量に含む。

断面 0.6x0.4m (1:10)



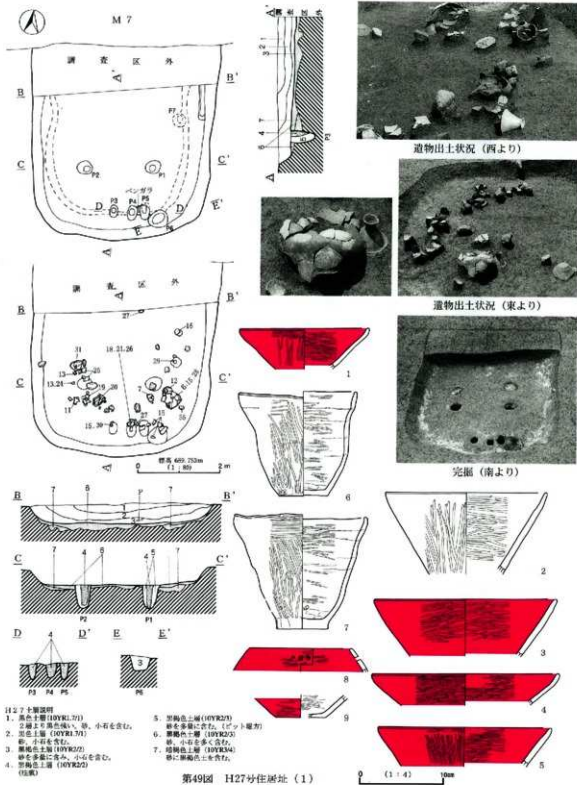
第46図 H194号住居址

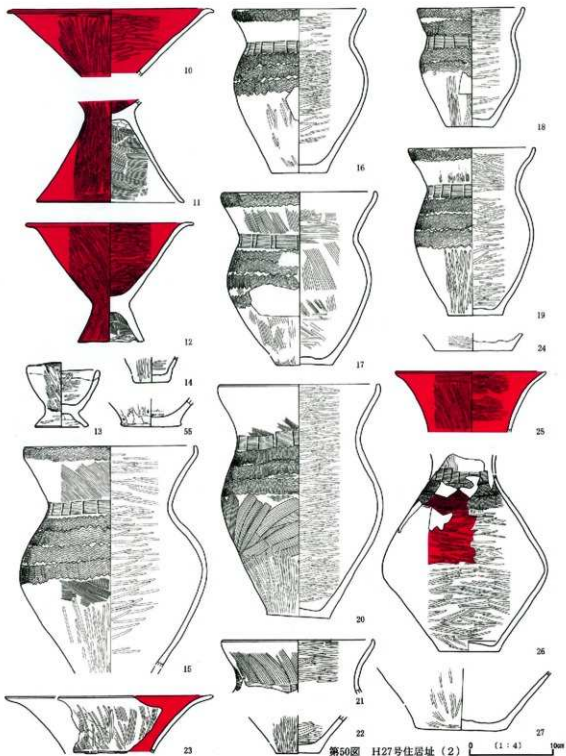
完掘 (東より)

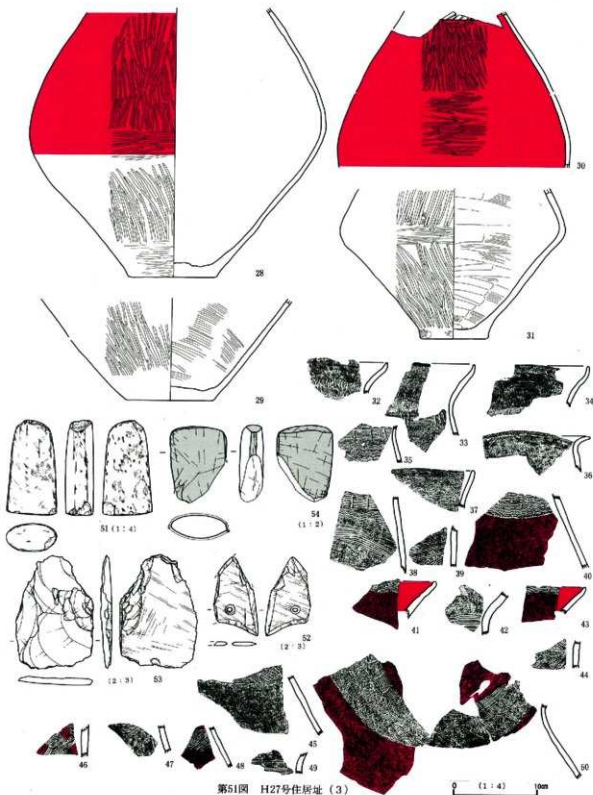


第30表 INP X H104号住居址出土遺物一覧表

品目	数量	産地	遺物	品名	産地	数量	品名	出土状況
1	陶片 鉢 (0.4)	内 2号中 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 25YR5/4 (12.5) 赤土層 外 25YR5/4 (10)	鎌石・礫石の破片	1/4	出掘	出土状況
2	陶片 鉢 (0.6)	内 3号中 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 10YR3/2 (10R) 外 2.5YR2/3 (12.5) 赤土層	礫石の破片	1/2	14号中	出土状況
3	陶片 葉 (0.4)	内 ヘラナギ (10R) 外 ヘラナギ (10R)	赤色土層 赤土層	内 25YR4/2 (10R) 外 25YR4/1 (10R)	礫石の破片	1/2	14号中	出土状況
4	陶片 葉 (0.2)	内 ヘラナギ (10R) 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 2.5YR3/3 (10R) 外 2.5YR3/3 (10R)	礫石・礫石の破片	1/4	14号中	出土状況
5	陶片 鉢 (0.6)	内 3号中 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 25YR5/4 (12.5) 赤土層 外 25YR5/4 (10)	礫石・礫石の破片	1/4	出掘	出土状況
6	陶片 鉢 (0.6)	内 3号中 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 25YR5/4 (12.5) 赤土層 外 25YR5/4 (10)	礫石・礫石の破片	1/4	出掘	出土状況
7	陶片 鉢 (0.6)	内 3号中 外 3号中	赤色土層 赤土層	内 25YR5/4 (12.5) 赤土層 外 25YR5/4 (10)	礫石・礫石の破片	1/4	出掘	出土状況





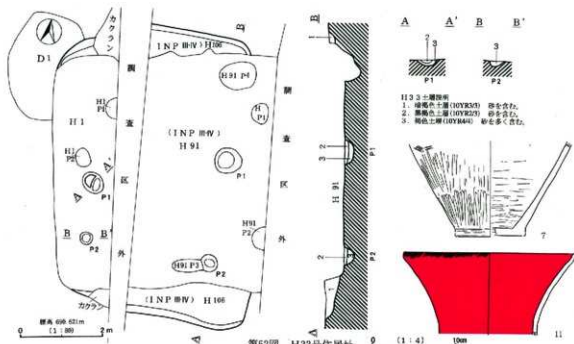


第51图 H27号住居址 (3)

第31表 INP X H27号住居用土木建物一覧表

番号	名称	区画	地目・用途	構造	備註	現況・備考	所在自治体
1	住宅 棟	11.50 0.50	内 3号地 普通住宅 外 3号地 普通住宅	内 1304/4 (2号) 外 1304/4 (2号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/2 2階完成	住区2-3組 A1-3
2	住宅 棟	11.00 0.00	内 2号地 外 2号地	内 2397/7 (12.05-1階) 外 2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/2 2階完成	住区2-3組
3	住宅 棟	13.50 0.00	内 2号地 普通住宅 外 2号地 普通住宅	内 1004/4 (1号) 外 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 2階完成	住区1-2-3組
4	住宅 棟(完成)	12.00 0.00	内 1号地 普通住宅 外 1号地 普通住宅	内 1004/4 (1号) 外 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 2階完成	住区2-3組
5	住宅 棟	13.25 0.00	内 2号地 普通住宅 外 2号地 普通住宅	内 1304/4 (2号) 外 1304/4 (2号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。 1~2階大白色・赤色系住宅。	1階1/2 2階完成	住区3組
6	住宅 棟	14.5 0.9 1.8	内 ヘンナデ→2号地 複層ヘンナデ 外 ヘンナデ→2号地 複層ヘンナデ	内 2397/7 (12.05-1階) 外 2397/7 (2階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。1階大形複合住宅。	2階完成 2階半完成 完成予定	No.5
7	住宅 棟	16.2 0.3	内 ヘンナデ→3号地 複層ヘンナデ 外 ヘンナデ→3号地 複層ヘンナデ	内 2397/7 (2階) 外 2397/7 (1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1号 2号半完成	No.7 住区2-3組
8	住宅 棟(完成)	11.00 0.00	内 1号地 普通住宅 外 1号地 普通住宅	内 1004/4 (1号) 外 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 1階1/2内札止り 2階完成	住区1-2組
9	住宅 棟	10.00 0.00	内 ヘンナデ(完成) 外 1号地 普通住宅 複層ヘンナデ	内 2397/7 (12.05-1階) 外 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 1階完成	住区1-2組
10	住宅 棟(完成)	12.25 0.30	内 1号地 赤色系住宅(完成) 外 1号地 赤色系住宅	内 1304/4 (2号) 外 1304/4 (2号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。 2階1/2~3階大白色系住宅。	1階1/4 2階完成	住区3組
11	住宅 棟	11.00 1.00	内 併置1号地 赤色系住宅 複層ヘンナデ(完成) 外 2号地 赤色系住宅	内 併置1004/4 (1号) 併置2397/7 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。1階大形複合住宅。	2階完成 4号内札止り 完成予定	No.19
12	住宅 棟	20.3 14.00	内 併置1号地 赤色系住宅 複層ヘンナデ(完成) 外 2号地 赤色系住宅 複層ヘンナデ 1号地併置住宅(完成)	内 1004/4 (1号) 外 1004/4 (1号) 併置1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。1階大形複合住宅。	併置1/2完成 併置完成後再評価	No.4
13	住宅 棟	2.0 0.6 0.9	内 併置1号地(完成) 複層ヘンナデ 外 2号地(完成)	内 1002/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (2号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階完成 完成予定	No.17 No.18
14	住宅 棟	4.2 0.3	内 1号地 外 1号地 複層ヘンナデ	内 2397/7 (1号) 外 2397/7 (2号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	2階完成 完成予定	抽出
15	住宅 棟	21.3 0.7	内 2号地 併置1号地→1号地(併置1階)併置2号地→併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。 1~2階大白色系住宅。	2階完成 完成予定	No.5 No.6 No.11 住区1-2-3組 住区1-2-3組 住区1-2-3組
16	住宅 棟	16.0 0.00 20.0	内 1号地 併置1号地→1号地(併置1階)併置2号地→併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	0.5階大形住宅。石積り多量住宅。	1階完成 2階完成 完成予定	No.2 No.4 No.1-2-3組 住区1-2-3組
17	住宅 棟	19.0 0.00 21.1	内 ヘンナデ(完成) 併置1号地 高層ヘンナデ 外 ヘンナデ(完成) 併置1号地→併置2号地(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。2階1/2~3階大形複合住宅。	3/4 完成予定	住区1-2-3組 抽出
18	住宅 小規模	1.0 0.6 1.2	内 1号地 併置1号地併置2号地(完成) 外 ヘンナデ(完成) 併置1号地 併置2号地 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	4/5 完成予定	No.11 住区1-2-3組 住区1-2-3組
19	住宅 棟	16.2 0.7 20.4	内 1号地 併置1号地→1号地(併置1階)併置2号地→併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。2階1/2~3階大形複合住宅。	1/5 完成予定	No.14
20	住宅 棟	12.9 0.8 26.4	内 1号地 併置1号地→併置1階(併置1号地)併置2号地→併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/2 2階完成 完成予定	No.13 住区1-2-3組
21	住宅 棟	10.00 0.40	内 2号地 併置1号地→併置1階(併置1号地)併置2号地→併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (1号) 併置2397/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 2階完成	No.11 住区2-3組
22	住宅 棟	8.2 0.40	内 1号地 外 1号地 複層ヘンナデ	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階完成 完成予定	住区2-3組
23	住宅 棟	12.00 0.00	内 2号地 普通住宅 外 ココナデ ヘンナデ(完成) →1号地 併置1階併置2階(併置1号地)	内 1004/4 (1号) 併置2397/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 2階完成	住区3組
24	住宅 棟	0.4 0.1	内 1号地 外 1号地 複層ヘンナデ	内 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。 1~2階大白色系住宅。	1階1/2 2階完成	No.17 住区1-2-3組
25	住宅 棟	18.4 0.00 0.00	内 2号地 普通住宅 外 2号地 普通住宅	内 1004/4 (1号) 外 1004/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	1階1/4 2階完成	No.19 No.20 住区1-2組
26	住宅 棟	22.1 0.00	内 併置1号地(完成) →1号地 併置2号地 併置1階併置2階(併置1号地) 併置1階併置2階(併置1号地)	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/7 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	併置1/2完成 併置1/2完成 完成予定	No.11 住区1-2-3組
27	住宅 棟	13.1 0.00	内 併置1号地 外 1号地 複層ヘンナデ	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/6 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。2階1/2~3階大白色系住宅。	1/2 完成予定	No.1 No.10
28	住宅 棟	10.8 0.00	内 併置1号地 外 2号地 赤色系住宅 併置1号地	内 1002/7 (12.05-1階) 併置2397/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。~2階大白色系住宅。	併置1/2完成 完成予定	No.8 住区3組
29	住宅 棟	10.6 0.00	内 ヘンナデ(完成) 外 1号地 赤色系住宅	内 2397/7 (12.05-1階) 併置2397/4 (12.05-1階)	鉄骨・鉄筋複合住宅。 併置1号地併置2号地。	1階完成 完成予定	No.3
30	住宅 棟	- 0.00	内 1号地 外 2号地 赤色系住宅 併置1号地併置2号地	内 1002/7 (12.05-1階) 併置2397/4 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。	併置1/2 完成予定	No.12 住区1-2-3組 無主ノ家
31	住宅 棟	0.3 0.00	内 ヘンナデ(完成) 外 ヘンナデ(完成) →1号地	内 1002/7 (1号) 併置1002/7 (1号)	鉄骨・鉄筋複合住宅。1階大形複合住宅。	併置1/2完成 完成予定	No.12 住区1-2-3組 無主ノ家

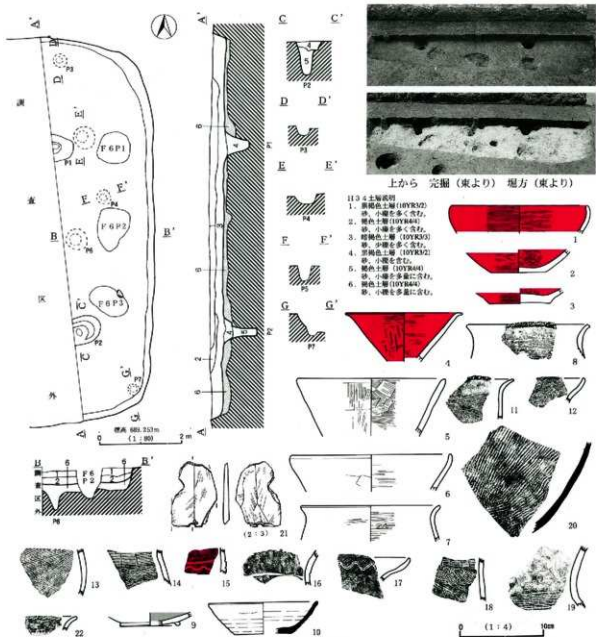
層位	層名	高さ (cm)	厚 (cm)	厚さ (cm)	色	説明	出土物
52	石壁	125.0	65.5	31.0	439.7	支那製磁器、片断瓦類・漆器、漆器加工品、地味土器類等。	Ⅰ区オボレシテ
53	黒褐色土層	50.0	23.5	3.0	1.1	内穴土層	Ⅰ区土層
53	緑黄色土層	50.0	34.0	3.0	10.5	内穴土層、河原土層・漆器、漆器加工品、漆器類等。	Ⅰ区土層
54	灰白	66.0	34.0	11.0	76.3	砂土	Ⅰ区土層



第52図 H33号住居址

第52表 INP X H34号住居址出土遺物一覧表

層位	品名	数量	位置・調査	品名	数量	位置・調査	出土物
1	赤瓦	116.0	内 3号ナ 赤色塗部	内 2.5YR6/1 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・緑石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 1号ナ 赤色塗部	外 2.5YR6/1 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
2	赤瓦	18.0	内 1号ナ 赤色塗部	内 2.5R4/6 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	12.0	外 1号ナ 赤色塗部	外 2.5R4/6 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
3	赤瓦	2.8	内 2号ナ 赤色塗部	内 2.5R4/4 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	0.8	外 2号ナ 赤色塗部	外 2.5R4/4 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
4	赤瓦	14.3	内 1号ナ 赤色塗部 (緑陶)	内 2.5YR6/6 (赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 1号ナ 赤色塗部 (緑陶)	外 2.5YR6/6 (赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
5	赤瓦	11.0	内 ヘラナナ (緑陶)	内 2.5YR6/6 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	7.0	外 ヘラナナ (緑陶) → 1号ナナナ → 1号ナナナ	外 2.5YR6/6 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
6	赤瓦	11.0	内 1号ナ	内 2.5YR6/6 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 1号ナ	外 2.5YR6/6 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
7	赤瓦	11.0	内 1号ナ	内 2.5R2/2 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 1号ナ	外 2.5YR6/2 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
8	赤瓦	11.0	内 1号ナ	内 10YR7/2 (L2.5A-赤陶)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 1号ナ	外 10YR6/2 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
9	赤瓦	11.0	内 ロクロナナナ・緑陶 (ヘラ)	内 5Y7/2 (L2.5A)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 ロクロナナナ・緑陶 (ヘラ)	外 5Y7/2 (L2.5A)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
10	赤瓦	11.0	内 ロクロナナナ	内 10YR6/2 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
	黒瓦	10.0	外 ロクロナナナ・緑陶・赤陶・赤陶	外 10YR6/2 (M)	550	550m 大形石・赤石等。	Ⅰ区 1/6
計	数量	高さ (cm) <td>厚 (cm) <td>厚さ (cm) <td>色 <td>説明</td> <td>出土物</td> </td></td></td>	厚 (cm) <td>厚さ (cm) <td>色 <td>説明</td> <td>出土物</td> </td></td>	厚さ (cm) <td>色 <td>説明</td> <td>出土物</td> </td>	色 <td>説明</td> <td>出土物</td>	説明	出土物
11	赤瓦	116.0	21.0	3.0	2.1	緑褐色土層、上下瓦類	Ⅰ区



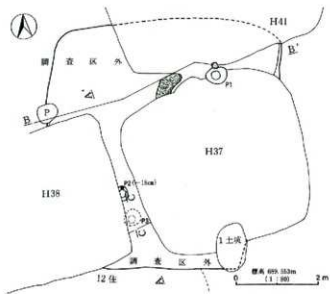
第53図 H34号住居址

第33表 INP X H39 弓住居址出土遺物一覽表

番号	品名	数量	産地・調査	品名	数量	備考	保存・備考	出土位置
1	赤土 緑色の土	(16.5) 0.8	内 1.弓住 赤土 外 1.弓住 赤土	内 2.5YR7/8 (1.8)編 外 2.5YR7/8 (1.8)編	緑石系・緑石片散り付いた 緑土		1.緑石系 2.緑石系 緑土	
2	赤土 緑色の土	(15.8) 0.6	内 2.弓住 赤土 外 2.弓住 赤土	内 7.5YR7/6 (赤)編 外 7.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.緑石系 2.緑石系	
3	赤土 赤土	- -	内 1.弓住 赤土 外 1.弓住 赤土	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
4	赤土 赤土	(13.7) 0.7	内 2.弓住 外 1.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
5	赤土 赤土	(13.8) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
6	赤土 赤土	(14.8) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
7	赤土 赤土	(6.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
8	赤土 赤土	(6.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
9	赤土 赤土	(18.8) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
10	赤土 赤土	(15.4) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
11	赤土 赤土	(15.4) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
12	赤土 赤土	(15.4) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 赤土 外 赤土	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116

第34表 INP X H38 弓住居址出土遺物一覽表

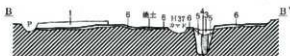
番号	品名	数量	産地・調査	品名	数量	備考	保存・備考	出土位置
1	赤土 赤土	(10.8) 0.2	内 1.弓住 赤土 外 1.弓住 赤土	内 2.5YR7/4 (1.2)赤編 外 2.5YR7/8 (1.2)赤編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
2	赤土 赤土	(5.8) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
3	赤土 赤土	(6.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
4	赤土 赤土	(6.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
5	赤土 赤土	(7.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
6	赤土 赤土	(14.8) 0.3	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
7	赤土 赤土	(7.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
8	赤土 赤土	(2.8) 0.1	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116
9	赤土 赤土	(6.8) 0.2	内 2.弓住 外 2.弓住	内 2.5YR7/6 (赤)編 外 2.5YR7/6 (赤)編	緑石系・緑石片散り付いた		1.赤土 2.赤土	116



完掘 (南より)

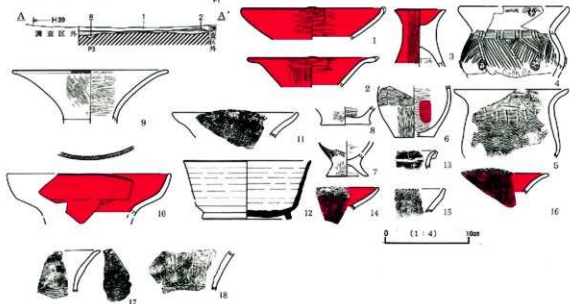


堀方 (南より)

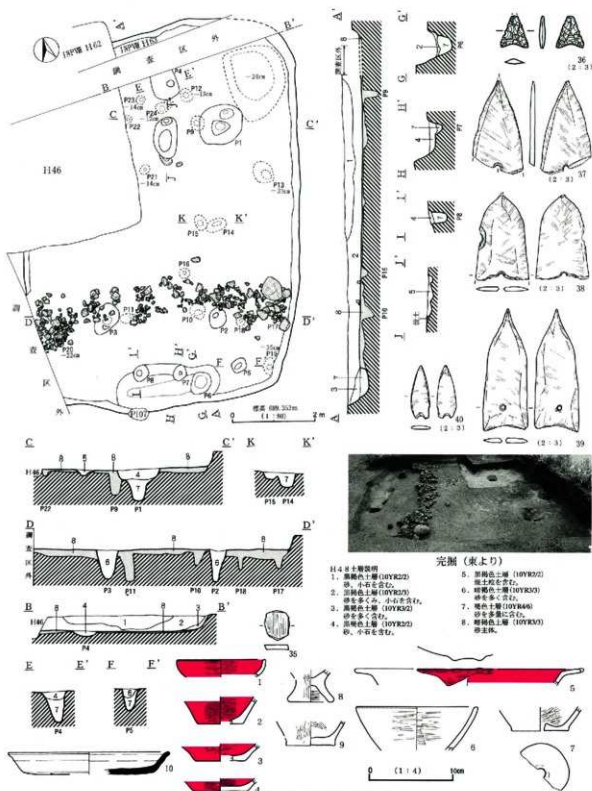


H39土層説明

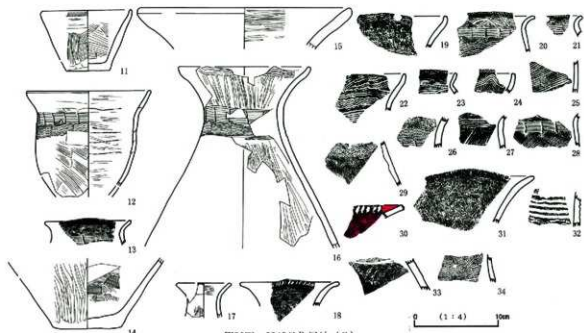
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
バミス、砂を微量に含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
バミス、砂を微量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂が多量に混入。
4. 黄褐色土層 (10YR3/2)
砂が多量に混入。(柱状)
5. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂が多量に混入。(ピット堀方)
6. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂が多量に混入。(堀方)
7. 暗褐色土層 (10YR3/4)
(柱状)
8. 紅褐色土層 (10YR4/3)
砂が多量に混入。(P3、1.2号ピットか?)



第54図 H39号住居址



第55图 H148号住居址(1)



第56図 H48号住居址(2)

10	築造 時期	1160 ± 100	内 2376/1 (680) 外 2374/1 (680)	緑石質・凝灰石質土、0.5m 大 埋藏含む。	1層 1/4 100%土層	焼土	
11	築造 期	1120 ± 70	内 ヘラナダ (埋) 1 外 ヘラナダ (埋) 1 →14層コナダ→14層埋蔵土 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋 →14層コナダ	凝石質・凝灰石質土含む。 また10 ~ 20m 大白色砂子含む。	1層 1/1 完全土層	片状土層
12	築造 期	1120 ± 70	内 ヘラナダ (埋) 1 外 ヘラナダ (埋) 1 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、また10 ~ 20m 大白色砂子含む。	1層 1/1 完全土層	V状土層 V状土層
13	築造 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土 (単位不明、1埋)	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土。	1層 1/5	V状土層
14	築造 期	84 ± 80	内 ヘラナダ (埋) 1 外 2376/2 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土。 また10 ~ 20m 大白色砂子含む。	1層 1/5 100%土層	片状土層
15	1層埋 造	1260 ± 100	内 ヘラナダ (埋) 1 外 2376/2	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、20m 大 白色砂子含む。	1層 1/5 100%土層	片状土層
16	築造 期	1160 ± 70	内 ヘラナダ (埋) 1 外 14層埋蔵土 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、また10 ~ 20m 大白色砂子含む。	1層 1/1 完全土層	V状土層 片状土層
17	築造 期	1160 ± 70	内 ナダ→14層コナダ 外 14層埋蔵土 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、また10 ~ 20m 大白色砂子含む。	1層 1/4 完全土層	V状土層
18	築造 期	1120 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層コナダ	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
19	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
20	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
21	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
22	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
23	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
24	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
25	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
26	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
27	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
28	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
29	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
30	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
31	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
32	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
33	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土
34	埋蔵 期	1160 ± 100	内 2376/2 外 2376/2 →14層埋蔵土	内 2376/2 (620)埋 外 2376/2 (620)埋	凝石質・凝灰石質土、凝石質 →凝灰石質土。	1層 1/5	焼土



完掘 (南より)

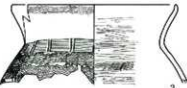
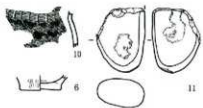
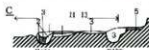


堀方 (南より)



標高80.92m
0 2m
(1:80)

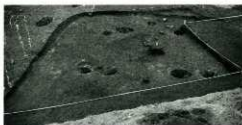
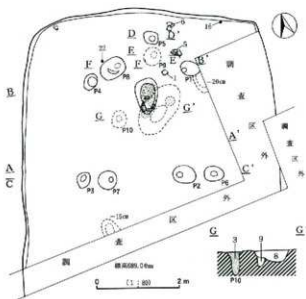
- H50土層説明
1. 黒褐色土層 (0YR2/3) 砂を多く含む。
 2. 赤褐色土層 (0YR2/3) (1層)
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂ブツツ、小石を多く含む。(0.6M)
 4. 黒褐色土 (10YR2/3) と 黒褐色砂フロッツ (10YR3/0) 混在。
 5. 赤褐色土層 (10YR2/2) 砂を多量に含む。(灰下付層)



第57図 H50号住居址

第35表 INP X H50号住居址出土遺物一覧表

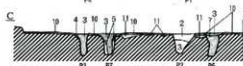
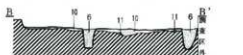
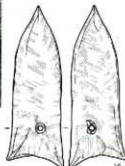
番号	品名	数量	出所	遺物 - 説明	出所	物主	保存 - 位置	出土状況
1	赤土 倉	6.8 0.86	内 ヘツナブ (層II) 内 ヘツナブ (層II)		内 7.5YR7/4 (C2.5) (層II) 内 7.5YR7/4 (C2.5) (層II)	黒石石、黒石赤土砂子含む。	1層 1/1 完全埋納	H13 層II下層方
2	赤土 鉢	0.7.0 0.80	内 3層赤 赤色土層 内 4層赤土層 赤土層		内 2.5YR5.0 (M3.0) (層II) 内 10YR4.0 (S2)	黒石石、黒石赤土砂子含む。	1層 1/12 0.5M埋納	7.0
3	赤土 甕	0.20.0 0.00	内 ヘツナブ (層II) → 1層赤 内 4層赤土層 赤土層		内 10YR5/3 (C2.5) (層II) 内 5YR3/2 (M3.0) (層II)	黒石石、黒石赤土砂子含む。	1層 1/5 0.5M埋納	H13 1層
4	赤土 甕	0.15.0 0.22	内 1層赤 内 3層赤		内 7.5YR5/3 (M3.0) 内 5YR3/4 (C2.5) (層II)	径10cm以下の粘土、黒石赤土含む。	1層 1/18 外縁埋納	1層
5	赤土 甕	0.12.0 0.180	内 1層赤 内 3層赤		内 7.5YR6/7 (C7.5) (層II) 内 7.5YR3/2 (M3.0)	径10cm以上の粘土、赤褐色砂子、 黒石赤土含む。	1層 1/6 外縁埋納	1層
6	赤土 甕	0.08 0.180	内 1層赤 内 3層赤		内 7.5YR4/1 (M3.0) 内 7.5YR3/4 (C2.5) (層II)	黒石石、黒石赤土砂子含む。	1層 1/1 完全埋納	1層
番号	種別	長さ (cm)	径 (cm)	厚さ (cm)	重	備考		出土位置
11	焼石	178.0	30.0	30.0	242.0	灰下付		No.2



完掘 (南より)

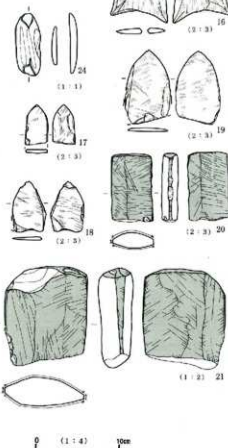
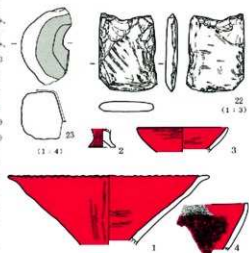


磨製石鉄 (南より)

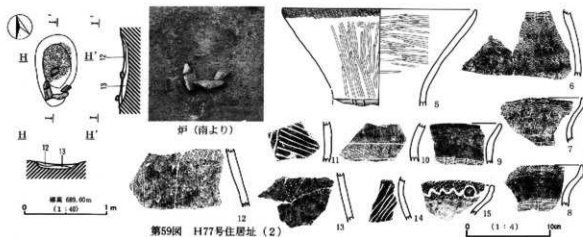


H77 (W H23) 土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3) パヒス多量に含む。砂を少し含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/2) パヒス、鉄を少し含む。炭化物粒子を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3) (柱状)
4. 暗褐色土層 (10YR4/4) 砂が多量に混入。パヒス、鉄を少し含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂が多量に混入。
6. 灰褐色土層 (10YR5/2) (柱状)
7. 暗褐色土層 (10YR3/3) (柱状)
8. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂が少く、パヒス、小石を多量に含む。
9. 黒褐色土層 (10YR2/3) 層が薄い。
10. 暗褐色土層 (10YR3/4) 層が厚く、(灰状)
11. 褐色土層 (10YR4/6) 鉄が多量に混入。
12. 褐色土層 (10YR4/3) 炭化した土を含む。
13. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂を少量含む。



第58図 H77号住居址 (1)



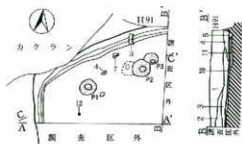
第59図 H77号住居址(2)

第36表 INP X H77号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	数量	産地・産別	品名	数量	産地・産別	出土位置
1	煮貝 海貝	1(146) 1(83)	内 2号中 煮貝産地 内 3号中 煮貝産地	内 10YR2/1 (赤褐色) 内 2.5YR2/3 (紅褐色)	200 穴の石片、燧石製石片 骨片	10層 1/4 10層東側	No.7 1区1・2層
2	灰土 土器 三ツツツ	3(3) 3(3) 1(12)	内 7号中 灰土産地 敷土ヘラナダ 内 4号中 赤色産地	内 2.5B4/6 (赤) 内 10YR2/3 (紅褐色) 内 10B5/6 (赤)	燧石片・燧石片の含む。	10層東側 完全土層	10層東側
3	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 3号中 赤色産地 内 3号中 赤色産地	内 2.5B3/6 (赤) 内 2.5B4/6 (赤)	燧石片多く、燧石片の含む。	10層 1/4 10層東側	10層 1層
4	灰土 土器	2(2) 1(12)	内 4号中 内 ヘラナダ (灰土) → 2号中 10層東側灰土、10層東側燧石	内 10YR2/3 (紅褐色) 内 2.5YR2/3 (紅褐色)	100 穴の石片、燧石製石片 含む。	10層東側 完全土層	No.3 No.6 1区1層
品目	品名	数量	品名	数量	品名	数量	出土位置
17	土器(土器)	7(40)	2(5)	6(2)	新石器、燧石製石片製石片、燧石製石片、燧石。		No.1
18	燧石(燧石)	1(8)	1(5)	8(4)	新石器、燧石製石片製石片、燧石製石片。		10層 1層
19	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	0(7)	燧石片、燧石製石片製石片、燧石製石片。		10層 1層
20	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石片、燧石製石片製石片、燧石製石片。		10層 1層
21	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石片。		10層 1層
22	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石製石片、燧石製石片、燧石製石片。		No.2
23	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石。		10層 1層
24	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石。		10層 1層

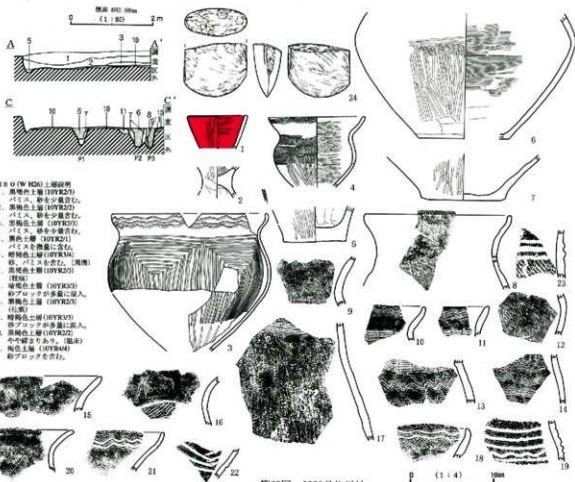
第37表 INP X H80号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	数量	産地・産別	品名	数量	産地・産別	出土位置
1	煮貝 海貝	2(4) 1(8)	内 7号中 煮貝産地 内 7号中 煮貝産地	内 1.5B4/6 (赤) 内 2.5B4/6 (赤)	燧石製石片。	10層 1/4 10層東側	No.5
2	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 10層 灰土 内 ヘラナダ (灰土) → 1号中	内 2.5YR4/7 (赤) 内 2.5YR2/1 (赤) 内 2.5YR2/4 (赤)	燧石片・燧石片の含む。	10層 完全土層	No.6
3	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 ヘラナダ (灰土) → 1号中 内 10層 灰土 内 10層 灰土	内 10YR2/3 (紅褐色) 内 10YR2/3 (紅褐色)	燧石片・燧石片の含む。	1/2 10層東側	No.1
4	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 7号中 赤色産地 内 10層 灰土、燧石製石片製石片 → 1号中	内 2.5YR2/4 (紅褐色) 内 2.5YR2/2 (紅褐色)	燧石片多く、燧石製石片。	10層 1/4 完全土層	No.3
5	灰土 土器	2(2) 1(8)	内 7号中 内 10層 灰土	内 1.5YR2/4 (紅褐色) 内 5.5YR4/1 (赤)	燧石片・燧石片の含む。	10層 1/4 完全土層	1層
6	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 ヘラナダ (灰土) 内 ヘラナダ (灰土) → 1号中 煮貝製石片	内 10YR2/3 (紅褐色) 内 2.5YR6/1 (赤)	燧石片・燧石片の含む。	10層 1/4 10層東側	10層 1層
7	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 10層 灰土 内 2号中	内 2.5YR2/7 (赤) 内 2.5YR2/3 (紅褐色)	燧石片・燧石片の含む、100 穴の石片の含む。	10層 1/4 完全土層	No.2
8	灰土 土器	1(12) 1(12)	内 3号中 内 10層 灰土、燧石製石片製石片 → 1号中	内 2.5YR2/3 (紅褐色) 内 2.5YR4/7 (赤)	燧石片・燧石片の含む。	10層 1/4 10層東側	1層
品目	品名	数量	品名	数量	品名	数量	出土位置
25	燧石(燧石)	1(5)	1(5)	1(5)	燧石製石片、燧石製石片、燧石製石片、燧石製石片。		10層 1層



完掘 (東より)

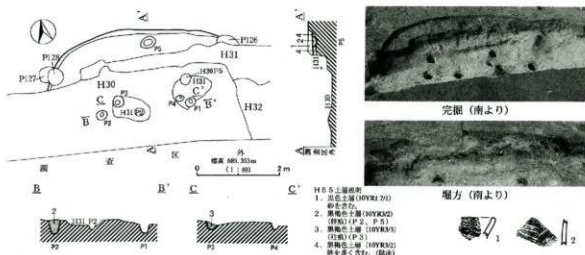
堀方 (東より)



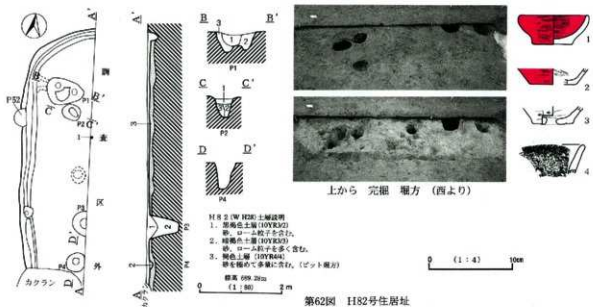
- H180 (W H26) 土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
バミス、砂を少量含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
バミス、砂を少量含む。
 3. 赤褐色土層 (10YR3/3)
バミス、砂を少量含む。
 4. 黒色土層 (10YR2/1)
バミスを豊富に含む。
 5. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂、バミスを含む。(埋溝)
 6. 黒褐色土層 (10YR2/3)
(埋溝)
 7. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂ブロックが多量に混入。
 8. 黒褐色土層 (10YR2/3)
(埋溝)
 9. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂ブロックが多量に混入。
 10. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂を豊富に含む。(埋溝)
 11. 褐色土層 (10YR4/4)
砂ブロックを含む。

第60図 H180号住居址

H180号住居址は、北側にカクランがあるためプランが充分に把握できていない。4・8の裏から後期としたが、3の裏、6の裏などは弥生中期であり、またプランと柱穴の位置も一致していない。弥生中期の住居址があるところにH180号住居址が重複して構築されたものと思われるが、詳細は不明である。



第61図 H55号住居址



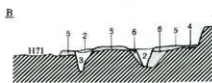
第62図 H82号住居址

第38表 INP X H 82号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	内 容	出 土 地 点	出 土 層	備 考	保存・備考	出土位置
1	粘土	42	内 274 赤色磁器	内 1302/3 (5)	壁の内・壁足の砂子含む。	定形	弥生後期	No.1
	鉄	48	内 274 赤色磁器	内 1302/3 (8)				
	銅	26	内 274 赤色磁器	内 1302/3 (8)				
2	砂	340	内 374 赤色の砂	内 10YR3/2 (9)	壁の内・壁足の砂子含む。	定形	弥生後期	No.1
	砂	340	内 374 赤色の砂	内 25YR3/2 (12.14-16)				
	砂	340	内 374 赤色の砂	内 25YR3/2 (12.14-16)				
3	砂	340	内 374 赤色の砂	内 13YR3/4 (8)	壁の内・壁足の砂子含む。	定形	弥生後期	No.1
	砂	340	内 374 赤色の砂	内 25YR3/2 (12.14-16)				
	砂	340	内 374 赤色の砂	内 25YR3/2 (12.14-16)				

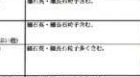
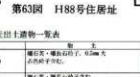
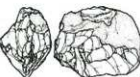
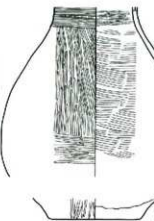
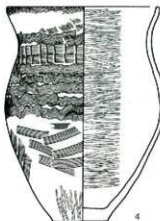


完掘 (南より)



118号 (NW 1134) 土層断面

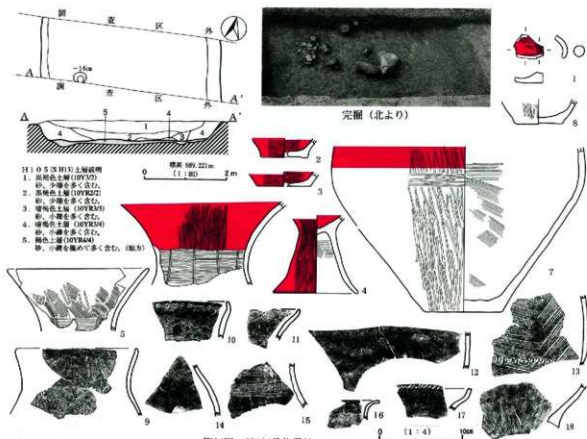
1. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂、バクム。炭化植物子を散見。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂、バクム。炭化植物子を散見。
3. 比色土層 (10YR4/3)
砂土層。
4. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂を多く含む。(風乾)
5. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂を多く含む。炭化物破片を少量含む。
砂土層あり。(風乾)
6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂を少量含む。やや硬まる。



第63号 H88号住居址

第39表 INPX H88号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	数量	出所	遺物	品名	数量	出所	遺物	品名	数量	出所	遺物
1	赤土	11.39	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40&48) 外 5YR3/2 (40&48)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片。0.2mm大 の赤砂子を含む。				
2	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
3	赤土	20.1	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
4	赤土	18.7	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
5	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
6	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
7	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
8	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
9	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
10	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
11	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
12	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
13	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
14	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
15	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
16	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
17	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
18	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				
19	赤土	15.09	内 2号中 外 2号中	赤色砂層 赤色砂層	内 10R4/5 (48) 外 5YR3/5 (40)	1	10R4/5 (48)	磁石片・磁石破片を含む。				



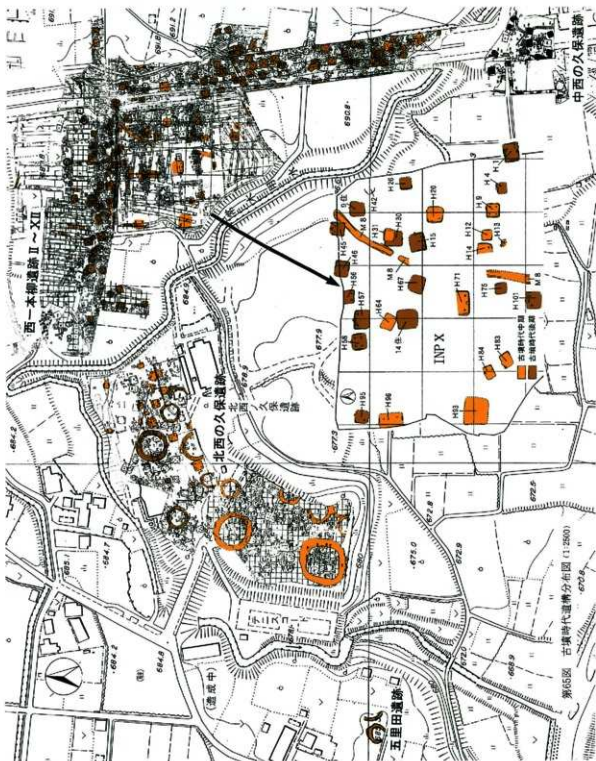
第64図 H105号住居址

第40表 INP X H105号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	出所・調査	品名	数量	成分・備考	注目
1	粘土 塊	長さ3.2 幅2.0 厚1.0 重量0.6	内 2号ナ 赤色砂 外 2号ナ 赤色砂 厚さ0.6 厚さ0.6 厚さ0.6	内 20YR7/3 (赤黒)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。	3層
2	粘土 塊	長さ 幅	内 2号ナ 赤色砂 外 2号ナ 赤色砂 厚さ0.6	内 20YR6/3 (赤黒) 外 20YR6/3 (赤黒) 外 20YR7/3 (赤黒)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。	1層
3	粘土 塊	長さ 幅	内 2号ナ 赤色砂 外 1号ナコナナ 赤黒ヘラクスリ 表面1号ナ	内 10R4/4 (赤黒) 外 10R4/8 (赤)	1	黒・0.5mm大石片、黒石片を多く含む。	1層
4	粘土 高片	長さ 幅	内 新築1号ナ 赤色砂 表面ヘラクスリ 外 1号ナ 赤色砂	内 5YR6/3 (黒) 外 20YR6/3 (黒)	1	1cm大石片を多く含む。黒石片を多く含む。	1層
5	粘土 高片	長さ 幅	内 2号ナ 外 ヘラクスリ (表面) → 1号ナ 表面黒色砂 ヘラクスリ下支 (行字並)	内 10YR6/4 (黒) (赤黒) 外 10YR7/4 (黒) (赤黒)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。 1cm大石片を多く含む。	1層
6	粘土 高片	長さ 幅	内 1号ナ 赤色砂 外 2号ナ 赤色砂 表面黒色砂 ヘラクスリ下支 (行字並)	内 10R4/4 (赤黒) 外 10R4/4 (赤黒) 外 20YR7/3 (赤黒)	1	1cm大石片を多く含む。黒石片を多く含む。	1層
7	粘土 高片	長さ 幅	内 ヘラクスリ 表面 外 2号ナ 赤色砂 表面1号ナ	内 10YR7/3 (赤黒) 外 20R4/6 (赤)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。1cm大石片を多く含む。	1層
8	粘土 高片	長さ 幅	内 新築 外 2号ナ	内 20YR7/4 (赤黒) 外 20YR6/3 (赤黒)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。	2層
9	粘土 高片	長さ 幅	内 2号ナ 外 新築赤褐色 表面黒色砂 (表面土)	内 20YR6/3 (赤黒) 外 20YR6/4 (赤黒)	1	黒粘土・黒石片を多く含む。	1層

3. 古墳中期 H 9・H12・H13・H14・H20・H31・H64・H71・H83・H84・H93・H96

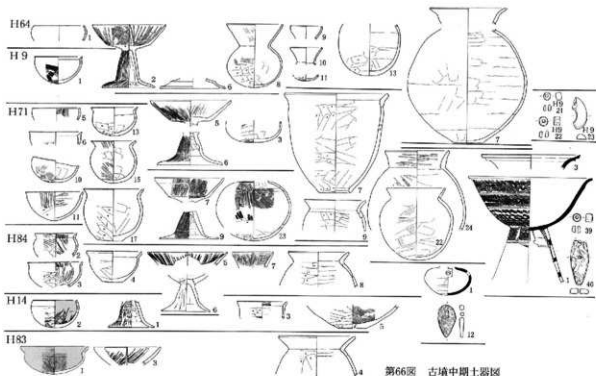
古墳中期の竪穴住居址は12検出された。カマドの有無は調査区域外で不明であるが、土器様相からはH64はカマドを伴わず、H71は北側未調査であるがカマドを伴うであろう。他の住居址はカマドを伴っている。



現在遺跡周辺で調査された古墳中期の住居址数は42棟である。北西の久保遺跡の住居址はカマドを伴っておらず、西一本柳遺跡Ⅱ～Ⅹはカマド伴うもの伴わないもの両者がみられる。

本遺跡	西一本柳遺跡Ⅱ～Ⅹ	北西の久保遺跡	五里田遺跡	合計
11	11	20	0	42

出土遺物には土師器・須恵器・石製模造品(剣形・勾玉)・白玉・砥石がある。土師器は杯・椀、高杯、小型丸底壺、壺、甕、甔がある。H64の長脚高杯や小型丸底壺を多く共伴する土器群は北西の久保遺跡と同期であろう。また南北に検出されたM8号溝址も同期であろう。H71からは須恵器の器台が出土し、長野県では長野市本村東沖遺跡(1993『本村東沖』)、丸子町井戸下遺跡(1995『上田県誌』)の竪穴住居内より出土する。本村東沖遺跡は古墳中期末、井戸下遺跡は古墳後期にあたるもので、H71の須恵器器台は5C後半に位置づけられるもので、住居址出土の器台としては県内では最古といえる。この器台は高杯形器台Aで、台部は深く内湾し、端部付近で外反し曲げられている。端面の加工はされていない。外面の施文は波状文を巡らせ、2本の凹線の間に凸線を作り出し、波状文→凸線で全面構成される。脚端部は欠損し、不明である。脚部には台形の透かし窓を縦方向一列に穿っている。共伴する土師器は口縁が内縁を持って外傾する杯・椀の器形が少なく、高杯は短脚化し、小型丸底壺が減少するなど、古墳中期5C後半の様相を持つ。また石製模造品・白玉が出土している。剣形品の形骸は榎原祐一(1997『祭祀考古学』創刊号)によれば4段階に分類し、C、断面台形を呈し、鍋の表現が彫刻化し縁となるもの(5C中葉～5C末葉)、D、長方形を呈し板状のもの(5C末葉～6C前葉)としており、H71,40はCに近く、H84,12はDに分類されるC～6C前葉にといえるであろう。M8号溝址の剣形品は錆があり、H71住居址より前段階のB段階であろう。これも土器とはほぼ一致している。



第66図 古墳中期土器図

4. 古墳後期 H1・H4・H15・H26・H30・H42・H45・H46・H56・H57・H58・H67・H75・H95・H101

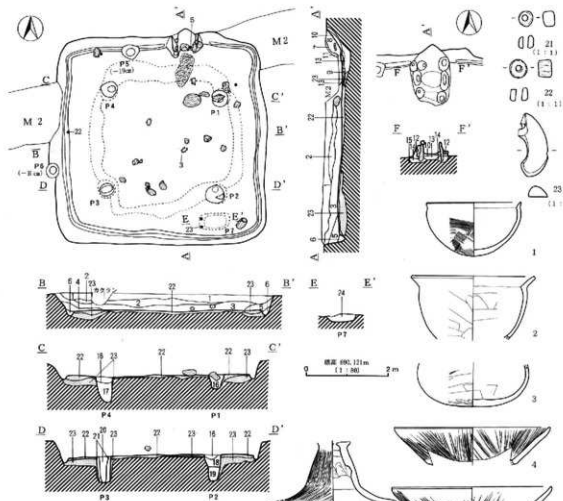
古墳後期の竪穴住居址は15棟調査した。土器様相から位置付けをしてみる。

I H4・H30

II H11・H15・H42・H45・H57・H58・H67

III H46・H95・H56・H101・H75

長野市の榎田遺跡(1999 長野県埋蔵文化財センター『榎田遺跡』)の古墳後期の分類に準拠するとI群は5C末～6C前葉に、II群は6C中頃から後半に、III群は7C代が充てられる。H26は遺物がなく不明である。

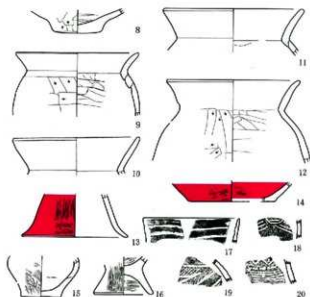


119土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
パリスを多く含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
パリス、砂を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
パリス、炭化物殻を含む。
腐りあり。
4. 黒色土層 (10YR2/1)
パリスを少量含む。
5. 紫褐色土層 (10YR2/3)
砂を多く含む。(カマド遺層)
6. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂を多く含む。(黒溝)
7. 暗褐色土層 (10YR3/3)
粘土ブロックを多く含む。(カマド遺層)
8. 褐色土層 (7.5YR4/4)
灰土、炭化物を多く含む。
(カマド遺層)
9. 褐色土層 (7.5YR4/6)
灰土、パリスを多く含む。
10. 暗褐色土層 (7.5YR3/4)
灰土、炭化物、粘土を含む。
砂ブロックを含む。
11. 褐色土層 (10YR4/6)
砂ブロックを含む。
12. 紫褐色土層 (10YR3/3)
粘土ブロック、粘土を含む。(カマド遺層土)
13. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂を多く含む。(カマド遺層)
14. 紫褐色土層 (10YR2/2)
砂を多く含む。灰土あり。(カマド遺層)
15. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂を多く含む。(カマド遺層)
16. 黒褐色土層 (10YR2/3)
パリスを少し含む。
17. 黒褐色土層 (10YR2/2)
パリスを少量含む。
18. 暗褐色土層 (10YR3/3)
パリス、砂を含む。
19. 紫褐色土層 (10YR2/3)
砂を多く含む。
20. 暗褐色土層 (10YR2/2)
パリスを少量含む。(内庭)
21. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂を多く含む。
22. 暗褐色土層 (10YR2/2)
砂、パリスを含む。(内庭)
23. 暗褐色土層 (10YR2/3)
砂ブロックを含む。
24. 紫褐色土層 (10YR2/1)
砂を多く含む。粘土ブロックを含む。

2 (1:4) 10cm

第67図 H9号住居址(1)



完器 (南より)



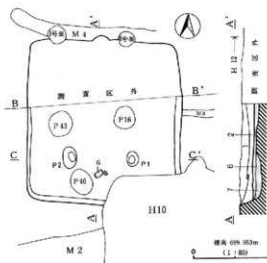
カマド 完器 (南より)

第68図 H9号住居址(2)

0 (1:4) 100m

第41表 INP X 119号住居址出土遺物一覧表

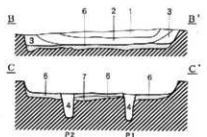
遺物	品名	数量	出所・用途	品名	数量	出所・用途	出土位置
1	土師器 埴	1(14)	内 ナギ 外 119号コナデ→119号ヘラナデ	内 25Y9/6 (6)	1	土師に100大砂粒多量付、 硝石石・硝石片多量付。	119号1/4 119号1層 21号2層
2	土師器 埴	1(12)	内 ヘラナデ 外 119号コナデ→119号ヘラナデ	内 25Y8/4 (12, 10)	2	100大砂粒多量付、硝石石、 硝石片多量付。	119号1/12 119号1層 21号2層
3	土師器 小形丸底埴	-	内 ヘラナデ ナギ 外 ヘラナデ ナギ ヘラミダキ ナギ	内 25Y8/6 (硝石埴) 外 25Y8/5 (硝石埴)	2	硝石に100大砂粒、 硝石石・硝石片多量付。	119号1層 21号2層
4	土師器 高埴	1(11)	内 コナデ 埴文 外 コナデ 埴文	内 25Y8/6 (6) 外 25Y8/5 (6)	2	硝石石付多量付。	119号1/5 119号1層 21号2層
5	土師器 高埴	1(8)	内 コナデ 埴文 外 コナデ 埴文	内 25Y8/6 (8) 外 25Y8/5 (8)	2	硝石石・硝石片多量付。	119号1/1 119号1層 21号2層
6	土師器 高埴	1(5)	内 ヘラナデ コナデ 外 埴文	内 25Y8/6 (硝石埴) 外 25Y8/5 (硝石埴)	2	硝石石・硝石片多量付。	119号1/4 119号1層 21号2層
7	土師器 高埴	1(4)	内 ヘラナデ→119号コナデ 外 119号ヘラナデ→119号コナデ	内 25Y8/4 (1, 5)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/3 119号1層 21号2層
8	土師器 高埴	1(3)	内 ヘラナデ 外 ヘラナデ	内 25Y8/4 (1, 1)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/2 119号1層 21号2層
9	土師器 高埴	1(2)	内 119号コナデ→119号コナデ 外 119号ヘラナデ→119号コナデ	内 25Y8/4 (1, 1)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/4 119号1層 21号2層
10	土師器 高埴	1(1)	内 コナデ 外 コナデ	内 25Y8/3 (1, 1)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/12 119号1層 21号2層
11	土師器 高埴	1(1)	内 119号コナデ 外 119号コナデ	内 25Y8/4 (1, 1)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/3 119号1層 21号2層
12	土師器 高埴	1(1)	内 ヘラナデ (119号コナデ) 外 119号コナデ 埴文ヘラナデ	内 25Y8/2 (硝石埴) 外 25Y8/2 (硝石埴)	2	100大砂粒多量付。 硝石石・硝石片多量付。	119号1/4 119号1層 21号2層
13	土師器 高埴	1(1)	内 ナギ 外 119号コナデ	内 25Y8/6 (1) 外 25Y8/6 (1)	2	100大砂粒、硝石片多量付。 硝石石。	119号1/2 119号1層 21号2層
14	土師器 高埴	1(1)	内 119号コナデ 外 119号コナデ	内 25Y8/4 (硝石埴) 外 25Y8/4 (硝石埴)	2	硝石石・硝石片多量付。 硝石石。	119号1/6 119号1層 21号2層
15	土師器 高埴	1(1)	内 ナギ 外 ナギ	内 25Y8/2 (硝石埴) 外 25Y8/2 (硝石埴)	2	硝石石・硝石片多量付。 硝石石。	119号1/4 119号1層 21号2層
16	土師器 高埴	1(1)	内 ナギ 外 ナギ	内 25Y8/2 (硝石埴) 外 25Y8/2 (硝石埴)	2	硝石石・硝石片多量付。 硝石石。	119号1/4 119号1層 21号2層
17	土師器 高埴	1(1)	内 ナギ 外 ナギ	内 25Y8/2 (硝石埴) 外 25Y8/2 (硝石埴)	2	硝石石・硝石片多量付。 硝石石。	119号1/4 119号1層 21号2層



完器 (南より)

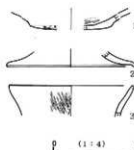


堀方 (南より)



- H11 2土層説明
1. 高褐色土層 (10YR2/3)
小石を多く含む。
 2. 高褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を多く含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂、小石を多く含む。
 4. 二色土・黄褐色土層 (10YR4/3)
砂主体。

5. 暗褐色土層 (10YR4/3)
砂主体。
6. 高褐色土層 (10YR2/3) と
褐色土 (10YR4/3) シルト質土層上の配列。
7. 褐色土層 (10YR4/4)
砂主体。



0 (1:4) 10cm



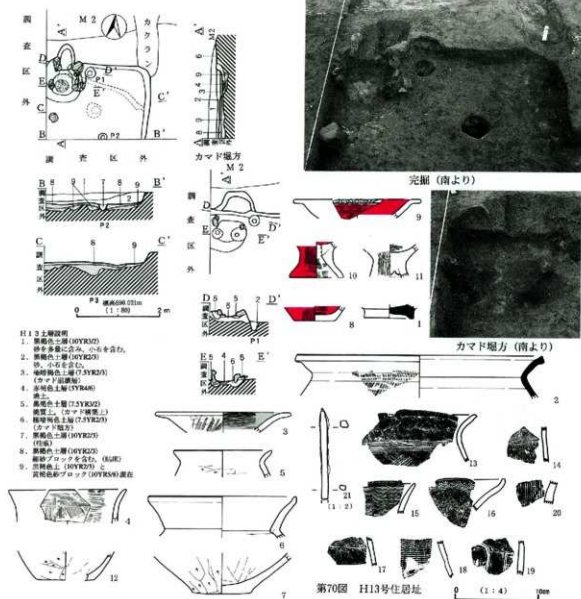
第69図 H12号住居址

第42表 INP X H12号住居址出土遺物一覧表

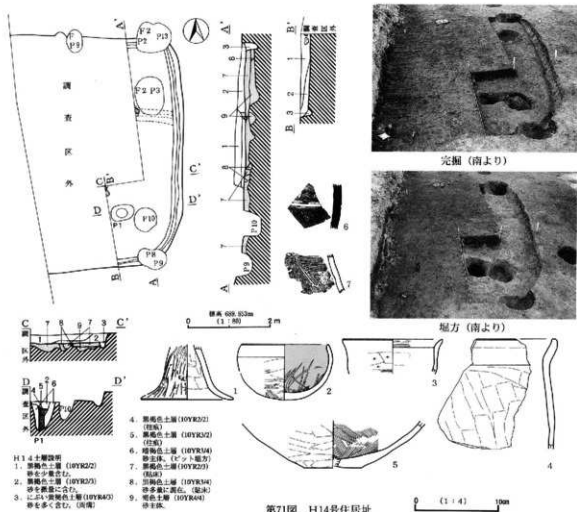
番号	品名	位置	形状・用途	数量	出所	備考	出土位置
1	土師器 深鉢	10.40 (2.6)	内 ナデ ヘラ土器 外 赤漆ナデ→黒漆ナデヘラケツリ	内 25Y6/6 (8) 外 25Y6/6 (8)	~1m 人形、網目瓦片、 網目瓦片3点。		調査区1/4 1区東縁
2	土師器 高杯	14.4 (1.8)	内 ココナデ 外 ココナデ	内 25Y2/7 (8) 外 25Y2/7 (8)	網目石、網目瓦片等含む。		1区1/12 1区東縁
3	土師器 高杯	15.2 (1.8)	内 ヘラ (黒田) ナデ 外 ナデ ヘラナデ (黒田) →ミナデ	内 25Y8/2 (6) (8) 外 25Y8/2 (6) (8)	赤漆石、網目瓦片等含む。		1区1/10 1区東縁
4	土師器 高杯	3.3 (1.6)	内 ヘラナデ (黒田) 外 網目瓦片 ミナデ	内 25Y6/2 (6) (8) (8) 外 25Y2/7 (8)	網目瓦片、赤漆石等含む。		1区 1区東縁
番号	品名	位置	形状・用途	数量	出所	備考	出土位置
1	土師器 高杯	10.40 (2.6)	内 ナデ ヘラ土器 外 赤漆ナデ→黒漆ナデヘラケツリ	内 25Y6/6 (8) 外 25Y6/6 (8)	~1m 人形、網目瓦片、 網目瓦片3点。		調査区1/4 1区東縁

第43表 INP X H13号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	位置	形状・用途	数量	出所	備考	出土位置
1	土師器 高杯	15.2 (1.7)	内 ココナデ 外 ココナデ	内 25Y6/3 (6) (8) (8) 外 25Y7/2 (8) (8)	赤漆石、網目瓦片、 正約 0.5 ~ 1m 人形等含む。		調査区1/2 1区北縁
2	土師器 高杯	15.0 (1.7)	内 ココナデ 外 ココナデ	内 25Y7/2 (8) (8) 外 25Y5/2 (8) (8)	網目石、網目瓦片等含む。 正約に 0.5 ~ 1m 人形等含む。		1区1/6 1区北縁
3	土師器 高杯	14.4 (1.7)	内 ナデヘラ土器 外 ココナデ→ミナデ	内 25Y2/2 (8) (8) 外 25Y6/6 (6) (8) (8)	網目石、網目瓦片等含む。		1区1/8 1区東縁
4	土師器 高杯	14.4 (1.7)	内 ヘラナデ (黒田) →ミナデ 外 ヘラナデ (黒田) 1区1/12コナデ	内 25Y2/7 (6) (8) (8) 外 25Y6/4 (6) (8) (8)	網目石、網目瓦片等、1m 人形等含む。		1区1/8 1区東縁
5	土師器 高杯	13.0 (1.7)	内 土師器コナデ 1区1/12コナデ 外 土師器コナデ 1区1/12コナデ	内 25Y4/2 (8) (8) 外 25Y5/1 (6) (8) (8)	網目石、網目瓦片等、1m 人形等含む。		1区1/8 1区北縁



番号	種別	長さ (cm)	径 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	出所	備考	出土位置	
1	土師器	45.0	φ5.0			内 7.5YR2/4 (C.234) 型 外 7.5YR2/4 (C.234) 型	緑灰色・緑石質粘土。100℃焼成済み。	石室1区	散在
2	土師器	42.0	φ5.0			内 7.5YR2/4 (C.234) 型 外 5YR6/9 (E)	赤石色・黄褐色粘土。まれに1~3mm程度の石片を含む。	遺構2区	1区トレンチ
3	赤土	45.0	φ5.0			内 10B1/4 (E)	凝結粘土質・凝結灰質粘土少し含む。	石室1区	1区トレンチ
4	赤土	41.5	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
5	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
6	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
7	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
8	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
9	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
10	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
11	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ
12	赤土	42.0	φ5.0			内 10YR2/8 (E)	凝結粘土質を含む。凝結。	石室1区	1区トレンチ



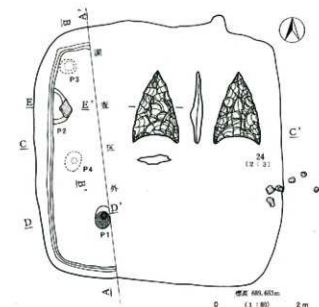
第71図 H14号住居址

第41表 INP X H14号住居址出土遺物一覽表

番号	品名	位置	説明・測 量	出 土	物 土	発 見・出 土	出 土 位置
1	土師器 土師	(11.20) (5.7)	内 ヘラコソフ 磁土ナシ 外 土器 磁土ナシ+硬土 泥質土	内 2.5YR4/3 (11.20+40) 外 2.5YR5/6 (9.6+40)	磁土器・磁土器片。直径10cm 土師コソフ。	坑内1/2	2区
2	土師器 鉢	(10.7) 5.8	内 土師コソフ 硬土ナシ+硬土-灰色泥質 外 土師コソフ 硬土ナシ+硬土+粘土+磁土	内 2.5YR1/1 (7.3) 外 2.5YR7/6 (9.6)	磁土器・磁土器片。10cm 磁土コソフ含む。	坑内1/4	1区 2区 3区
3	土師器 鉢	(11.20) (11.2)	内 土師コソフ+硬土+磁土 外 土師コソフ 硬土+ヘラコソフ+硬土+磁土	内 5YR5/6 (9.6) 外 5YR5/6 (9.6)	10cm 土師コソフ含む。	坑内1/4	6区
4	土師器 鉢	(11.20) (9.6)	内 土師コソフ 硬土+ヘラコソフ 外 土師コソフ 硬土ナシ	内 2.5YR6/1 (11.20+40) 外 2.5YR5/6 (9.6)	磁土器・磁土器片含む。	坑内1/4 坑内2区+6区	6区
5	土師器 鉢	(11.20) (5.7)	内 ヘラコソフ (硬土) 外 硬土-磁土+ヘラコソフ ナシ	内 2.5YR6/4 (11.20+40) 外 2.5YR6/4 (11.20+40)	磁土器・磁土器片。10~20cm 磁土コソフ含む。	坑内1/4	2区

第45表 INP X H20号住居址出土遺物一覽表

番号	品名	位置	説明・測 量	出 土	物 土	発 見・出 土	出 土 位置
1	土師器 鉢	(11.40) (9.6)	内 土師コソフ-灰色泥質 外 土師コソフ+硬土+磁土 硬土+ヘラコソフ+硬土	内 2.5YR2/1 (9.6+40) 外 2.5YR6/4 (11.20+40)	磁土器・磁土器片含む。	坑内1/4 坑内2区	トレンチ
2	土師器 鉢	(11.21) 5.8	内 ナデ+硬土+硬土 外 ヘラコソフ+硬土	内 2.5YR5/6 (9.6) 外 2.5YR5/6 (9.6)	磁土器・磁土器片含む。	1/2 坑内2区	トレンチ 6区
3	土師器 鉢	(11.21) (11.2)	内 硬土 外 磁土+硬土	内 2.5YR5/6 (9.6+40) 外 2.5YR5/6 (9.6+40)	磁土器片のみ。10cm 土師コソフ含む。	坑内1/4 坑内2区	6区
4	土師器 鉢	(11.21) (9.6)	内 硬土 外 硬土	内 2.5YR5/6 (9.6+40) 外 2.5YR5/6 (9.6+40)	10cm 土師コソフ。	1/2 坑内2区	6区 トレンチ

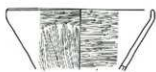
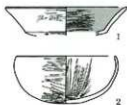
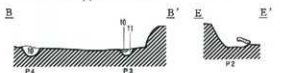
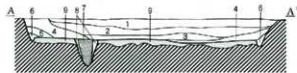


完面 (西より)

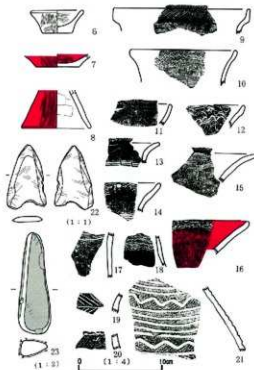
- H20土層説明
1. 赤色土層 (10YR1/3) 砂、小石を含む。
 2. 黒色土層 (10YR1/1) 1層より小石多い。
 3. 三色土層 (10YR1/2) 褐色層を多数に含む。黒色細い。
 4. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂、小石を多数に含む。
 5. 黒色土層 (10YR1/1) 砂、小石を多く含む。
 6. 赤褐色土層 (10YR2/2) 砂を多く含む。
 7. 黒褐色土層 (10YR3/2) (埋土)
 8. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂主体。(ピット下方)
 9. 暗褐色土層 (10YR3/4) (埋土)
 10. 暗褐色土層 (10YR3/3)
 11. 褐色土層 (10YR4/4) 砂主体。

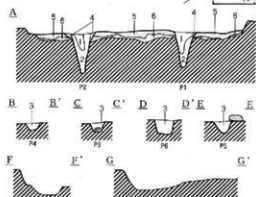
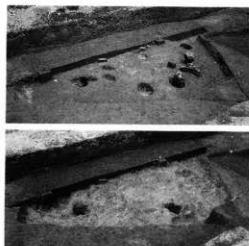
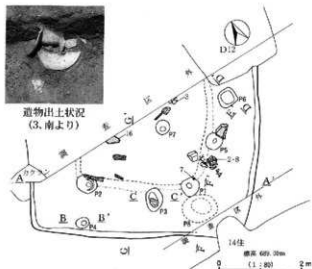


掘方 (北より)



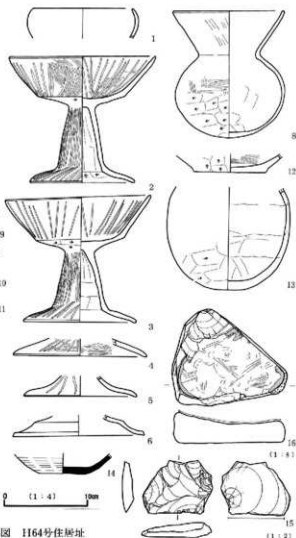
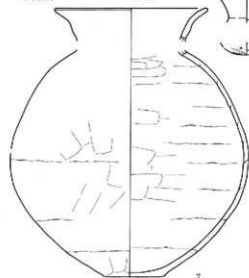
第72図 H20号住居址



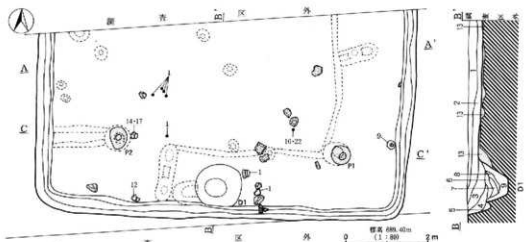


H164 (79住) 土層説明

1. 赤褐色土層 (H16R23)
砂中少量含む。
2. 暗赤褐色土層 (H16R34)
砂主体。
3. 暗褐色土層 (H16R33)
砂を含む。
4. 黒褐色土層 (H16R25)
砂中少量含む。
5. 紅褐色土層 (H16R35)
粘土あり。(黒泥)
6. 褐色土層 (H16R44)
砂主体。

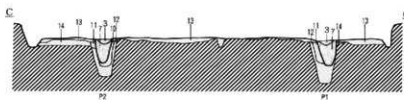


第74図 H164号住居址

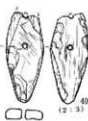


H17 1 (W H17) 土層説明

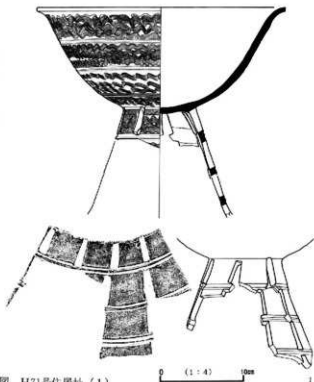
1. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂、小石入り、炭化物粒子を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、バミス、炭化物粒子を含む。
3. 紫褐色土層 (10YR3/2) 砂、バミス、炭化物粒子を含む。
4. 灰褐色土層 (10YR4/2) 粘土を多く含む。
5. 緑褐色土層 (10YR3/4) 砂を多く含む。(海側)
6. 褐色土層 (10YR4/4) 砂を多く含む。
7. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂を多く含む。
8. 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂を含む。
9. 褐色土層 (10YR4/4) 砂を多く含む。
10. 褐色土層 (10YR4/6) 砂土 黒褐色 (10YR2/3) 土の互層。



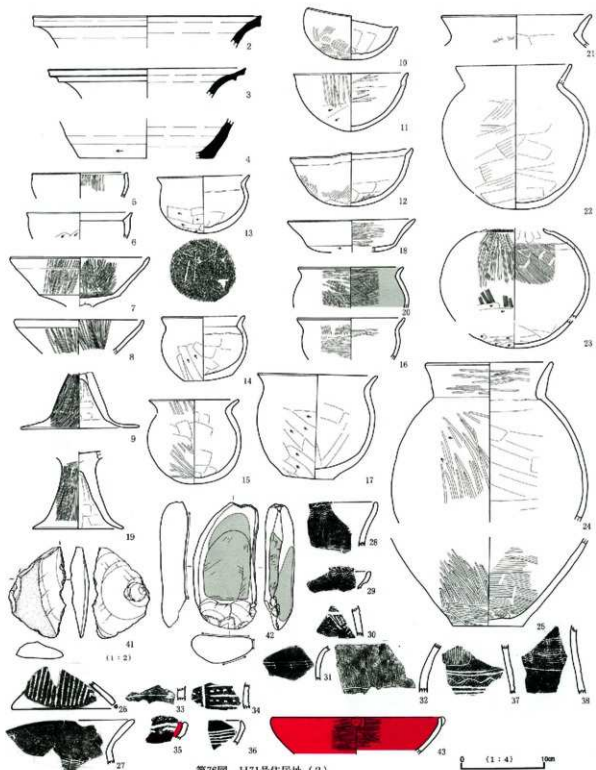
11. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂を含む。
12. 褐色土層 (10YR4/6) 砂土層。
13. 暗褐色土層 (10YR3/4) 炭化物粒子を多く含む。縫まり物い。(5.5%)
14. 暗褐色土層 (10YR4/4) 砂土層。



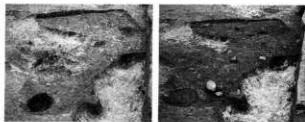
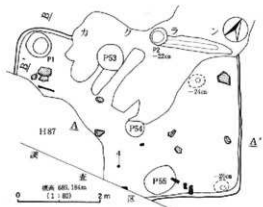
遺物出土状況 (西より)



第75図 H171号住居址 (1)

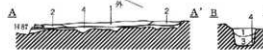


第76图 H71号住居址(2)



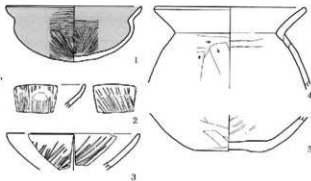
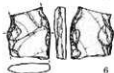
立面 (西より)

遺物出土状況 (西より)



H83 (W H20) 土層説明

1. 褐色色土層 (10YR3/2) 砂、少塵を含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4) 砂、少塵を多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、少塵を多く含む。
4. 褐色土層 (10YR4/6) 砂、黒褐色土を含む。

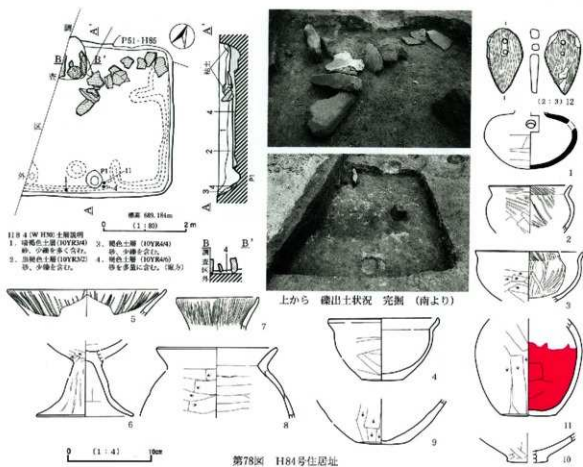


第77図 H83号住居址

0 (1:4) 10cm

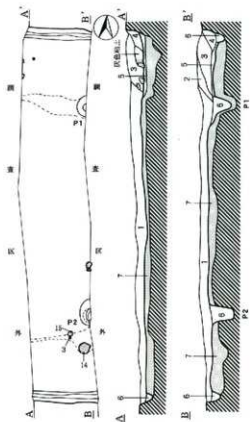
第50表 INP X H84号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	位置	材質・形状	色調	備考	現・保存	出土位置
1	土師器 口縁部	38.0	内 ナブ 外 新部ヘラタズリナブ 縦線白雲線付	内 10YR1.7/1 (黒) 外 5Y2/1 (オリーブ)	破片。	林原 1/1 完全破片	No.1
2	土師器 鉢	51.0, 58.0	内 ナブ一破文 外 横線ヘラタズリ一破文	内 10YR6.5 (黒) 外 7.5YR6.5 (黒)	0.5cm 大石片、黒石の破片。	11層 1/10 10層 1/10	高 1段 居住土層
3	土師器 鉢	51.0, 58.0	内 ナブ 破文 外 口縁コナダ→横線ヘラタズリ	内 2.5YR5.0 (黒点彩) 外 2.5YR3.0 (黒点彩)	1cm 大石破片を含む。 破片。	11層 1/10 10層 1/10	破片
4	土師器 鉢	51.0, 58.0	内 ナブ 外 口縁ナブ→縦線ヘラタズリ ナブ	内 10Y5.0 (黒点彩) 外 2.5YR3.0 (黒点彩)	0.5cm 大石片、黒石の破片。 →2cm 大石破片を含む。	11層 1/1 完全破片	No.2
5	土師器 高杯	51.0, 58.0	内 ナブ一破文 外 ナブ一破文	内 10Y5.0 (黒点彩) 外 10Y5.0 (黒点彩)	1cm 大石破片を含む。 破片。	11層 1/10 10層 1/10	高
6	土師器 高杯	51.0, 58.0	内 新部ヘラタズリ 縦線コナダ 外 新部ヘラタズリ→縦線ナブ一破文	内 10Y5.0 (黒) 外 7.5YR5.0 (黒点彩)	0.5cm 大石片、黒石の破片。 →2cm 大石破片を含む。	11層 1/1 完全破片	高
7	土師器 木製木碗 底	54.0	内 コナダ一破文 外 コナダ一破文	内 10Y6.5 (黒) 外 10Y6.5 (黒)	破片片、黒石の破片を含む。	11層 1/1 10層 1/10	高
8	土師器 高杯	54.0	内 口縁コナダ 体面ナブ 外 口縁コナダ 体面ヘラタズリ	内 10Y5.0 (黒点彩) 外 5YR3.0 (黒点彩)	0.5cm 大石片、石破片多量 を含む。	11層 1/10 完全破片	1段 完全破片 高
9	土師器 高杯	54.0	内 ナブ 外 ヘラタズリ 縦線ヘラタズリ	内 10Y5.0 (黒) 外 7.5YR6.0 (黒)	0.5cm 大石片、石破片多量 を含む。	11層 1/1 完全破片	高
10	土師器 高杯	54.0	内 ヘラタズリ 外 ヘラタズリ ナブ	内 7.5YR6.0 (黒) 外 10YR4.0 (黒点彩)	0.5cm 大石片、黒石の破片 を含む。	11層 1/1 完全破片	高
11	土師器 高杯	54.0	内 ヘラタズリ 外 ヘラタズリ	内 10Y5.0 (黒) 外 10YR5.0 (黒)	0.5cm 大石片、石破片多量 を含む。	11層 1/1 完全破片	No.3 11層、10層 内面褐色点彩付
12	石製 石製石碗	39.0	内 (黒) 外 (黒)	内 (黒) 外 (黒)	破片、黒石の破片、赤石。	破片	高、1段



第51表 INP X H 93号住居址掘出土遺物一覧表

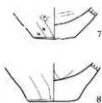
品名	量	出 土 地 帯	成 果 考 察	色 澤	形 状	備 考	発 見 者	出 土 地 帯
1	1個	(11点)	丸ノ子一組文	内 5YR5/8 (R)	卵形、断面長径 1.6cm	断面、断面長径 1.6cm	丸ノ子	丸ノ子
	高杯	(1点)	丸ノ子一組文	外 2.5YR6/8 (R)	断面、断面長径 1.6cm	断面、断面長径 1.6cm	丸ノ子	丸ノ子
2	土師器	(9点)	内 ヘラナシ	内 10YR7/4 (C, 白)	丸	丸	丸	丸
	蓋	(9点)	外 ヘラナシ	外 10YR6/4 (C, 白)	丸	丸	丸	丸



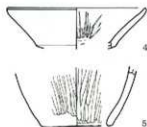
1196 (S14) + 層説明

1. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂、小礫を多く含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4) 砂、小礫を多量に含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、小礫を多く含む。
4. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂、小礫を多く含む。
5. 黒褐色土層 (10YR2/2) 砂、小礫を多く含む。(サマシ層方)
6. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、小礫を多く含む。
7. 褐色土層 (10YR4/4) 砂、小礫を極めて多量に含む。(瓶方)

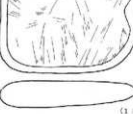
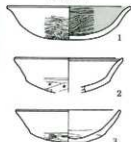
標準 685.69m
0 (1:80) 2m



完器 (南より)



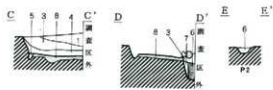
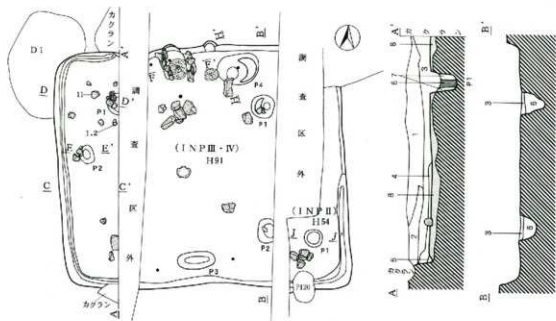
上から カマド カマドセク (東より)



第80図 H96号住居址

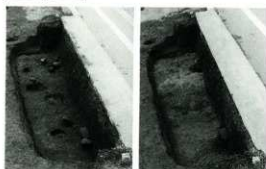
0 (1:4) 10cm

※H96 遺物一覧表は、P99 にあります。



- H1土層説明
1. 赤褐色土層 (10YR5/2)
砂、小石を多く含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR5/2)
砂、小石を含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
砂、小石を含む。
 4. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂を多量に含む、小石を含む。

5. 暗褐色土層 (10YR3/4)
(埋蔵)
6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
(埋蔵)
7. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂、小石を多く含む。(アット掘方)
8. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂、小石を多量に含む。(アット)



第81図 H1号住居址

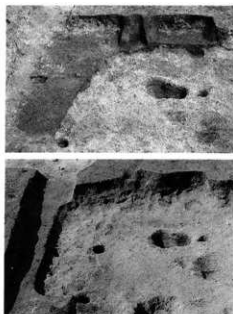
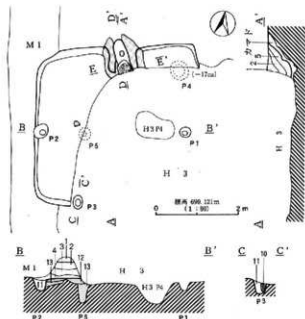
第52表 INP X H1号住居址出土遺物一覧表

品目	品名	出所	色調	形状	場所・備考	出土位置
1	土師器 鉢	内	10YR12/3 (黄)	一辺長約12cmの正方形	全縁ノリ付 口縁内面	No.1 21K4層
		外	7.5YR5/9 (2.5) (黄)	縁に石片を多く含む、縁に石片を多く含む。		
2	土師器 鉢	内	10YR12/3 (黄)	一辺長約12cmの正方形	全縁ノリ付 口縁内面	No.1 21K4層
		外	7.5YR5/9 (2.5) (黄)	縁に石片を多く含む、縁に石片を多く含む。		

3	土師器 類	11.28 11.30	内 ヘラサデ 外 ヘラサデ	内 10YR3/7 (3期) 外 10YR6/4 (2,3,4期)	黒色の砂子、黒石炭屑を含む。	磁器1/2塊 陶磁片類 焼成瓦片類等 式	Ⅱ区
4	土師器 類	11.14 11.20	内 日線コソア 外 日線コソア	内 7.5YR5/9 (4期) 外 7.5YR5/9 (4期)	黒石炭・砂の混在を含む。	口縁1/3 口縁瓦類	Ⅱ区
5	土師器 類	11.40 11.45	内 日線コソア 外 日線コソア・黒部ヘラサデ (4期)	内 5YR5/4 (1,2,3,4期) 外 5YR5/4 (4期)	黒石炭・砂の混在が多いを含む。	口縁1/4 口縁瓦類	Ⅱ区4層
6	赤土 類	11.40 11.45	内 土器・赤土 外 土器・赤土	内 2.5YR4/8 (赤土) 外 2.5YR4/8 (赤土)	細い砂子多く、砂の混在を含む。	磁器完全破片	Ⅱ区1層
7	土師器 類	11.20	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	Ⅱ区
8	土師器 類	11.20	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	Ⅱ区
9	土師器 類	11.20	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	Ⅱ区
10	土師器 類	11.20	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	Ⅱ区
11	土師器 類	11.20	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	口 10m 厚 2mm	Ⅱ区

第53表 IN'X H4号住居址出土遺物一覧表

1	土師器 類	11.20 11.25	内 土器・赤土 外 ヘラサデ	内 10YR3/7 (3期) 外 7.5YR5/4 (2,3,4期)	黒石炭・赤土の混在を含む。	口縁1/3 口縁瓦類	Ⅱ区
2	土師器 類	11.20 11.25	内 ヘラサデ 外 ヘラサデ	内 7.5YR5/9 (4期) 外 7.5YR5/4 (2,3,4期)	100m以内の砂子多く、黒石炭、黒石炭屑を含む。	磁器1/3 陶磁片類	Ⅱ区 Ⅱ区 Ⅱ区



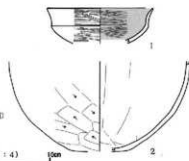
上から 完掘 掘方 (南より)

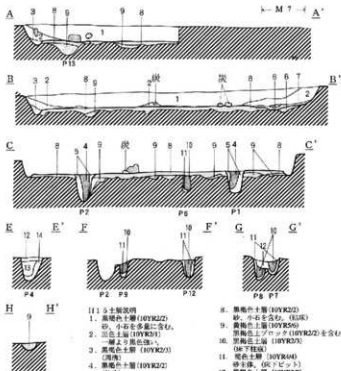
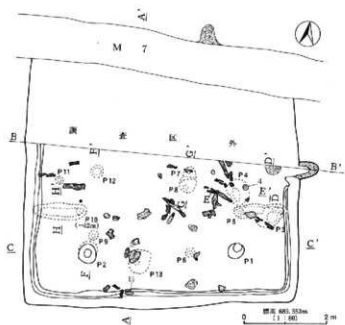


H4土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を含む。
2. 黒褐色土層 (10YR2/3)
砂、小石を多数に含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を含む。
4. 灰褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石をおよ半分に含む。
5. 黒褐色土層 (7.5YR2/1)
粘土、板土ブロックを多数に含む。
(カマド灰層)
6. 赤褐色土層 (5YR4/6)
粘土。
7. 黒褐色土層 (7.5YR2/2)
粘土。(カマド灰層上)
8. 黒褐色土層 (5YR2/2)
粘土ブロック、板土ブロックを含む。(焼成)
9. 黒褐色土層 (7.5YR2/3)
粘土を含む。(カマド掘方)
10. 赤褐色土層 (10R2/3)
(粘土)

第82図 H4号住居址



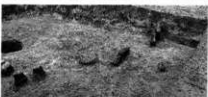


- 11: 5土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を多量に含む。
 2. 三色土層 (10YR3/1)
一層より黒色部へ。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/3)
(西側)
 4. 黒褐色土層 (10YR2/2)
(柱状)
 5. 黒色土層 (10YR4/4)
粘土状。(ヒット型方)
 6. 明褐色土層 (7.5YR5/6)
遺土。
 7. 灰褐色土層 (7.5YR4/2)
粘土粒子を含む。(コマド型方)
 8. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を含む。(3区)
 9. 黄褐色土層 (10YR5/6)
黒褐色土層 (10YR2/2) を含む。
 10. 灰褐色土層 (10YR3/3)
(5区下柱状)
 11. 褐色土層 (10YR4/6)
砂主体。(灰ドビット)
 12. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂を多量に含む。
 13. 黒褐色土層 (10YR2/3)
遺土。
 14. 明褐色土層 (10YR3/3)
砂と黒褐色土を含む。(P4)
 15. 明褐色土層 (10YR3/3)
砂と黒褐色土を含む。(P4)

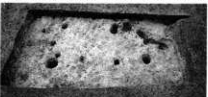
第833図 H15号住居址(1)



完掘(南より)



遺物出土状況(上から 南より 西より 東より)

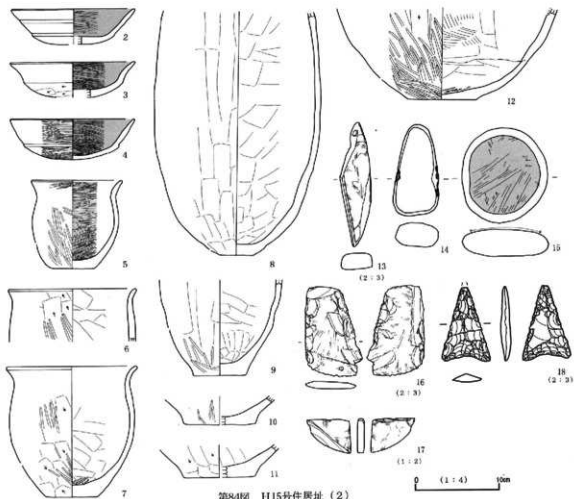


堀方(南より)



カマド堀方



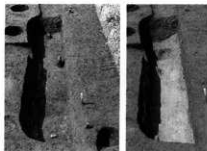
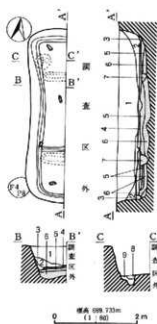


第84図 H15号住居址(2)

第54表 INP X H 15号住居址出土遺物一覧表

番号	品種	数量	出所・調査	色澤	出土	形状・長さ	出土位置
1	土師器 土	1860 (26)	内 口ケラナデ 内 コクワナデ	内 2YR3.1 (赤) 外 2.5YR/1 (黒赤)	細石質・硬石質粘土質。220℃ 1000大焼付。焼	口縁部 1/4 99%土質	1区1層
2	土師器 土	1150 1940 1420	内 土師半 黒色粘質 外 土師コナデ 軟泥ヘラケズリ→ミボキヤ	内 10YR1.7/1 (黒) 外 10YR2/3 (C.近い黒赤)	細石質・硬石質粘土。灰白色。 1000大焼付。焼	1区一表層 1/3 1区内層部表面	1区1層
3	土師器 土	151 120 1420	内 土師半 黒色粘質 外 土師コナデ 軟泥ヘラケズリ	内 10YR1.7/1 (黒) 外 10YR2/4 (C.近い黒赤)	細石質・硬石質粘土。灰白色。 1000大焼付。焼	1区一表層 3/4 完全土質	1区1層
4	土師器 土	161 114 50	内 土師半 黒色粘質 ヘンケラ付着 外 土師コナデ→ミボキヤ 軟泥ヘラケズリ	内 5YR5/6 (赤) 外 5YR5/6 (赤赤赤)	細石質・硬石質粘土。灰白色。 1000大焼付。焼	完全土質 完全土質	No.1
5	土師器 小笠原 器	1140 63 108	内 土師半 黄色粘質土 外 土師コナデヘラケズリ→軟泥エリヤ	内 5YR3/2 (赤赤赤) 外 2.5YR/5 (赤赤赤)	細石質・硬石質粘土質。 灰白色 2000大焼付。焼	1区一表層 1/2 軟泥付着 完全土質	1区1層
6	土師器 小笠原 器	1160 302	内 土師コナデ ヘラケズリ 外 土師コナデ ヘラケズリ→ミボキヤ	内 5YR5/3 (C.近い赤赤) 外 5YR5/6 (赤)	5.000大石質・石高粘土。 220℃→2000大焼付。焼	土師器 1/4 99%土質	1区1層
7	土師器 土	1120 64 160	内 土師半コナデ ヘラケズリ 外 軟泥→赤土質 軟泥付着 外 土師コナデ ヘラケズリ→ミボキヤ	内 5YR3/1 (赤赤赤) 外 5YR5/6 (赤赤赤)	細石質・硬石質粘土質。 灰白色 2000大焼付。焼	土師器 1/3 軟泥付着 完全土質	1区1層トロンク
8	土師器 土	43 2980	内 ヘラケズリ 内 ヘラケズリ 軟泥付着 外 ヘラケズリ→ミボキヤ	内 2.5YR3/4 (C.近い赤赤) 外 5YR5/6 (赤)	細石質多量・細石質粘土。 220℃→2000大焼付。焼	5/4	
9	土師器 土	64 (117)	内 ヘラケズリ 軟泥付着 外 ヘラケズリ→ミボキヤ 軟泥ヘラケズリ→ミボキヤ	内 5YR5/6 (赤赤赤) 外 2.5YR3/4 (C.近い赤赤)	細石質・硬石質粘土質。 220℃→2000大焼付。焼	土師器 1/4 99%土質	1区1層
10	土師器 土	482 (82)	内 ナデ 内 土師半	内 2.5YR3/5 (C.近い赤赤) 外 2.5YR3/4 (C.近い赤赤)	細石質・硬石質粘土質。 220℃→2000大焼付。焼	土師器 1/4 99%土質	1区1層 トロンク

11. 土層調査 面積	64.0 (1.50)	内 ヘラナブ 外 ヘラナブ	内 3YR3/1 (赤黒) 外 3YR3/4 (黒赤)	黒石系・黒石屑石を含む。 2層に 5mm 大砂石を含む。	横溝 1/4 同位法調査	1区1層
12. 土層調査 面積	8.4 (1.12)	内 ヘラナブ (埋没) 外 ヘラナブ+ミナギ	内 3YR3/2 (褐色) 外 2.5YR4/4 (L2.5Y+赤黒)	黒石系・黒石屑石を含む。3mm 大 の砂石を含む。	横溝 3/4 同位法調査 同位法調査	3区1層
13. 小豆粒調査	37.9	44.0	2.0	2.7	本舞巻, 鹿角,	横溝
14. 砂利	111.0	35.0	50.0	300.0	灰白色,	1区1層
15. 砂利	220.0	77.0	64.0	17.0	灰白色,	N2a
16. 黒石系土層	43.0	36.0	2.5	4.4	同位法,	2区1層
17. 埋没土層	21.0	27.0	4.0	0.1	砂利系, 同位法, 同位法, 同位法,	2区1層
18. 内装壁	34.3	23.0	4.3	2.0	横溝, 同位法同位法同位法(同位法, 同位法同位法),	横溝



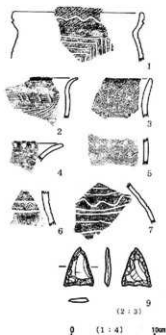
完面 (南より)

壁方 (南より)

H26土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を多く含む。
2. 赤褐色土層 (10YR3/1)
砂、小石を含む。
3. 黒褐色土層 (10YR3/3)
[同色]
4. 黒色土層 (10YR1/2)
砂を少量含む、小石を含む。(黒赤)
5. 褐色土層 (10YR4/6)
砂主体。
6. 黒褐色土層 (10YR3/3)
砂を多量に含む。
7. 赤褐色土層 (10YR2/2)
砂質ロームを含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/3)
[同位法]
9. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂主体。[同位法]

第85図 H126号住居址



第55表 INP X H36号住居址出土遺物一覧表

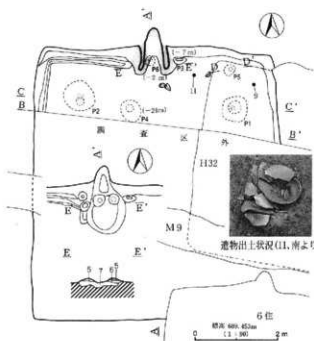
番号	品名	数量	材質・形状	出所	備考	現存・備考	出土位置
1	埴土	136.2	内 ミナギ 外 コナブ (白磁質土層) 赤褐色土層 赤褐色土層 ヘラナブ赤土	内 3YR3/2 (赤黒) 外 3YR3/4 (黒赤)	横石系・黒石屑石を含む。	横溝 1/4	1区1層 H25 横溝
2	埴土	5.0					
3	埴土	120.0	5.0	25.0	47.0	赤褐色土層	
4	埴土	17.9	13.4	3.0	3.0	赤褐色土層, 同位法同位法同位法(同位法, 同位法同位法),	

第56表 INP X H42号住居址出土遺物一覧表

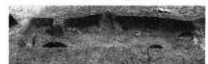
番号	品名	数量	材質・形状	出所	備考	現存・備考	出土位置
1	埴土	220.3	内 ミナギ 高片厚 外 黒コナブ+赤褐色土層 赤褐色土層 ヘラナブ赤土	内 3YR3/6 (赤) 外 3YR3/9 (赤)	赤石系・黒石屑石を含む。5mm~ 1mm 大の砂石を含む。	横溝 1/16 同位法調査	横溝
2	埴土	10.0					
3	埴土	104.0	内 黒コナブ+赤褐色土層 外 黒コナブ+赤褐色土層	内 3YR1/3 (黒赤) 外 3YR3/2 (黒赤)	赤石系・黒石屑石を含む。2mm 大 の砂石を含む。	横溝 1/4 同位法調査	1区1層

第57表 INP X H40号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	材質・形状	出所	備考	現存・備考	出土位置
1	埴土	58.3	内 コナブ 外 コナブ+白磁質土層	内 2.5Y7/1 (黒赤) 外 2.5Y7/1 (黒赤)	横石系・横石屑石, 横石系 砂を含む。	横溝 1/16 同位法調査 同位法同位法	1区1層
2	埴土	21.0	内 黒コナブ+赤褐色土層 外 黒コナブ+赤褐色土層	内 3YR4/7 (黒赤) 外 3YR3/2 (L2.5Y+赤)	赤石系・横石屑石, 1~3mm 大 の砂石を含む。黒色, 黒赤。	横溝 1/1 同位法調査	N2a
3	埴土	110.0	内 黒コナブ+赤褐色土層 外 黒コナブ+赤褐色土層	内 3YR3/2 (黒赤) 外 3YR1/3 (L2.5Y+赤)	赤石系・横石屑石, 1mm 大 の砂石を含む。黒赤。	横溝 1/4 同位法調査	1区1層
4	埴土	66.0	内 ヘラナブ 外 ヘラナブ	内 3YR3/3 (黒赤) 外 3YR3/3 (L2.5Y+赤)	赤石系・横石屑石, 1mm 大 の砂石を含む。	横溝 1/4 同位法調査	1区1層



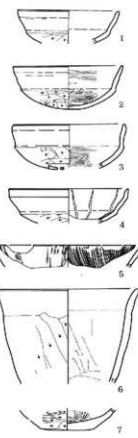
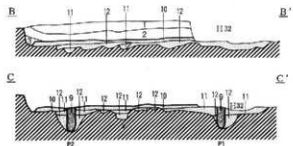
カマド (南より)



完圓 (南より)

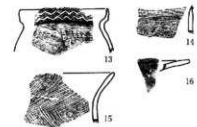


場方 (南より)



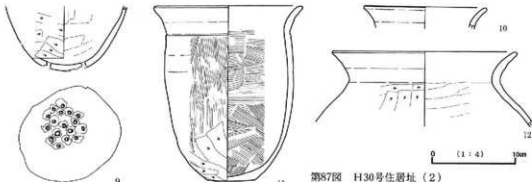
- H30土層概略
1. 黒褐色土層 (10YR1.5/1)
砂、小石を含む。
 2. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を多量に含む。
 3. 黒褐色土層 (10YR2/2)
土層より黒色砂層へ。
 4. 黒褐色土層 (7.5YR5/2)
高質土、粘土粒子を含む。
 5. 黒褐色土層 (7.5YR3/2)
高土。
 6. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、焼土・粘土粒子を含む。(カマド場方)
 7. 黒褐色土層 (7.5YR4/2)
粘質土、粘土粒子を多量に含む。(カマド場方)

8. 緑褐色土層 (7.5YR2/3)
粘土ブツクを含む。(カマド場方)
9. 黒褐色土層 (10YR2/2)
(柱礎)
10. 黒褐色土層 (7.5YR2/2)
粘土ブツク、砂、粘土ブツク、炭化動物子を含む。(堀溝)
11. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂を多量に含む。
12. 黒褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を含む。
13. 緑褐色土層 (10YR3/3)
(柱礎)



第86図 H30号住居址 (1)

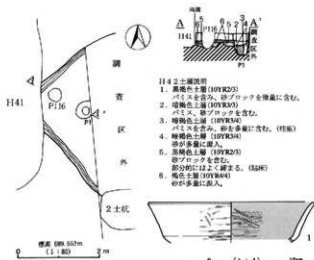
(1:4) 10cm



第87図 H30号住居跡(2)

第58表 INP X H30号住居跡出土遺物一覧表

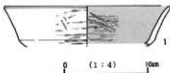
番号	品名	数量	品名・特徴	発見	位置	性状・備考	出土位置
1	土師器 杯	12.47 16.25 (46)	内 口縁直コナナク 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ	内 3YR5.5 (青黄鉄) 外 3YR5.5 (黄鉄)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
2	土師器 埴	12.4 11.6 3.5	内 口縁直コナナク 口縁ヘラケズリ (口縁直) 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ	内 3YR6.5 (黄鉄) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	古ナツ 溝原石埴
3	土師器 杯	11.33 12.39 40.5	内 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ (口縁直) 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ	内 3YR6.5 (黄鉄) 外 3YR6.5 (黄鉄)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
4	土師器 杯	11.55 11.83 18.2	内 ナナク 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ→底面修理ナキ	内 3YR5.4 (口縁直) 外 3YR5.2 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク 底面に底面直の 溝原石・溝原石砂子混合	IVC IVC
5	土師器 高杯	19.55 19.71 19.71	内 口縁直コナナク 外 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (黄鉄) 外 3YR6.5 (黄鉄)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
6	土師器 器	12.47 11.52	内 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ ナナク 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR7.0 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合 100 大砂粒混合	口縁直コナナク	IVC
7	土師器 蓋	4.6 12.7	内 ナナク+口縁直 外 ナナク+口縁直ヘラケズリ→口縁直	内 3YR6.0 (口縁直) 外 3YR6.2 (黄鉄)	1300 大砂粒・石鉄砂子、溝原石 1~200 大砂粒混合	底面直	IVC
8	土師器 蓋	8.4 8.1	内 ヘラケズリ ナナク 外 ヘラケズリ→口縁直 底面ヘラケズリ	内 3YR7.0 (黄鉄) 外 3YR7.5 (黄鉄)	溝原石・溝原石砂子混合 1~200 大砂粒混合	底面直	IVC 溝原石埴
9	土師器 器	17.3	内 ヘラケズリ 外 ヘラケズリ	内 3YR5.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (黄鉄)	溝原石・溝原石砂子混合 100 大砂粒混合	底面直	IVC
10	土師器 器	11.65 11.80 15.6	内 口縁直コナナク 外 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR7.0 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合 100 大砂粒混合	口縁直コナナク	古ナツ 溝原石埴
11	土師器 器	14.1 5.8 21.6	内 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ (口縁直) 外 口縁直コナナク (口縁直) 口縁ヘラケズリ→底面ヘラケズリ 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (黄鉄) 外 3YR6.5 (口縁直) 3YR7.0 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合 100 大砂粒混合	口縁直コナナク	IVC
12	土師器 器	10.58 10.1 29.1	内 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ 外 口縁直コナナク 底面ヘラケズリ	内 3YR6.5 (黄鉄) 外 3YR6.5 (黄鉄)	1300 大砂粒・石鉄砂子、100 大砂粒混合	口縁直コナナク	IVC
13	土師器 器	11.03	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
14	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
15	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
16	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
17	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
18	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC
19	土師器 器	11.7	内 ナナク 外 ナナク 口縁直コナナク	内 3YR6.5 (口縁直) 外 3YR6.5 (口縁直)	溝原石・溝原石砂子混合	口縁直コナナク	IVC



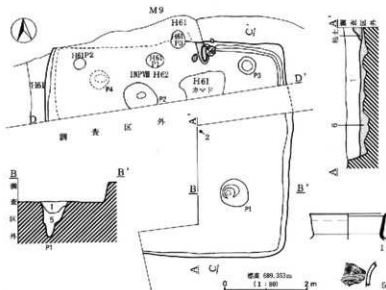
- H42土層説明
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)
パリスを含み、砂ブロックを多数に含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/3)
パリス、砂ブロックを含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/4)
パリスを含み、砂を多数に含む。(柱状)
 4. 暗褐色土層 (10YR3/4)
砂が多数に混入。
 5. 暗褐色土層 (10YR2/3)
砂ブロックを含む。
 6. 褐色土層 (10YR4/4)
砂が多数に混入。



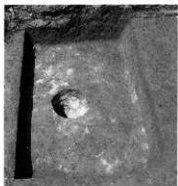
完掘 (南より)



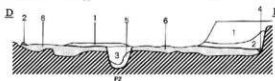
第88図 H42号住居址



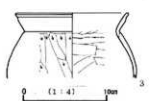
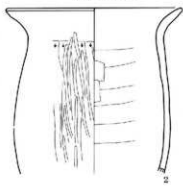
- H46土層説明
1. 赤褐色土層 (10YR2/2)
砂、小石を含む。
 2. 赤褐色土層 (10YR2/3)
砂、小石を含む。
 3. 赤褐色土層 (10YR3/3)
赤褐色土層 (10YR2/2)
砂が多く含む。(柱状)
 4. 赤褐色土層 (10YR2/2)
砂が多く含む。(柱状)
 5. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂土層。(ピット底層)
 6. 暗褐色土層 (10YR3/3)
砂土層。(南方)

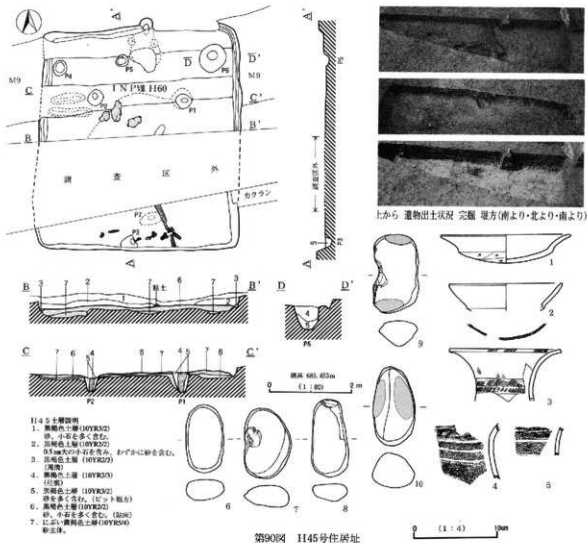


完掘 (南より)



第89図 H46号住居址

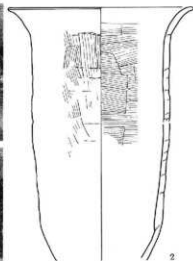
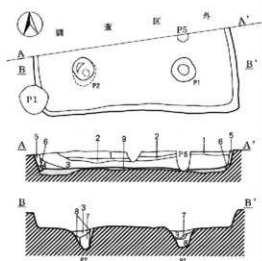




第90図 I145号住居

第59表 INP-X I145号住居地出土遺物一覧表

番	品名	出層	形状・数量	品名		備考	出土位置
				内	外		
1	土層砂	(145)	内 コナテ 外 コナテ ヘラトビ	内 T2YR2/2 (R44E) 外 T2YR2/1 (R)	縞石系・縞石片を含む。	1層 1/3 1層 1/4	
2	土層砂	(145)	内 コナテ 外 コナテ	内 T2YR2/2 (R)	縞石系・縞石片を含む。	1層 1/4 1層 1/4	
3	土層砂	(145)	内 ヘラトビ (1層) 外 ヘラトビ (1層) [特別陶文 陶器ヘラ紋陶文 陶文]	内 T2YR2/4 (L:3144E) 外 T2YR2/4 (L:3144E)	縞石系・縞石片を含む。	1層 1/3 1層 1/4	抽出
4	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	備考			
4	黒帯石	52.0	46.0	2.0	184.0	文字取	出土位置
7	縞石	36.0	57.0	3.0	142.0	多点貫入打	
8	縞石	14.0	46.0	1.0	120.0	打	
9	縞石	96.0	26.0	2.0	226.0	突出部	
10	縞石	96.0	51.0	3.0	284.0	突出部	

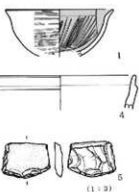


H5-G (W III) 土層説明

1. 黒褐色土層 (HVR20)
砂、パミス、炭化物を含む。
2. 褐色土層 (SYR43)
砂、腐土を多く含む。
3. 黒褐色土層 (HVR27)
砂、パミス、灰、粘土、炭化物を含む。
4. 暗褐色土層 (HVR34)
砂、炭化物を含む。
5. 暗褐色土層 (HVR34)
砂多く、パミスを含む。
6. 黒褐色土層 (HVR27)
砂を含む。
7. 濃い黄褐色土層 (HVR54)
砂層。
8. 褐色土層 (HVR44)
砂主体。
9. 褐色土層 (HVR44)
砂主体。(68F)

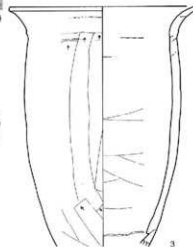
断面 400.10m
0 (1:30) 3m

上から 完掘 掘方 (東より)



0 (1:4) 10cm

第91図 H156号住居址



第60表 INP X H56号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	材質・形状	出所	説明	調査・備考	出土位置
1	土師器 鉢	1132	内 中2 灰白泥埴 外 土器	内 5YR1/7 (L8) 外 5YR5/1 (2.5) (赤陶)	壁面系・黒石砂子を含む。	1層1/3 2層底面	
		157					
2	土師器 壺	2240	内 中2子 (黒1) 白縁3コ子 外 中縁3コ子 赤縁3コ子 (黒1)	内 5YR5/3 (2.5) (赤陶) 外 5YR5/4 (2.5) (赤陶)	~ 0.5m 大石系・黒石砂子を含む。	4層1/3 5層底面	
		2510					
3	土師器 壺	2240	内 中2子 土師3コ子 外 中縁3コ子 赤縁3コ子	内 5YR5/4 (2.5) (赤陶) 外 5YR5/4 (2.5) (赤陶)	~ 0.5m 大石系・黒石砂子 2m 灰・赤色砂子を含む。	4層1/3 5層底面	
		2510					
4	土師器 壺	1140	内 中2子 外 中2子	内 5YR7/6 (R6) 外 5YR7/4 (2.5) (赤陶)	~ 0.5m 大石系・黒石砂子 含む。	11層1/2 12層底面	
		2510					
集計	数量	長さ (mm)	径 (mm)	重 (g)	備考		出土位置
3	1132	250	410	40	15.5	焼色不明。土層上層系。互に黒赤陶。大黒砂子粘着層に付着。灰白陶質。	掘方

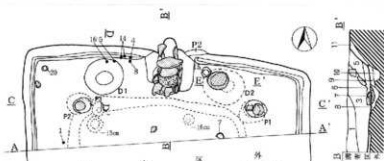
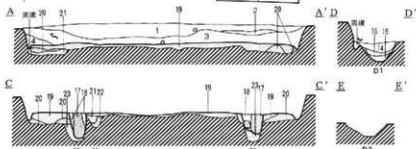


図 98



上から完掘 塚方(西より 東より)

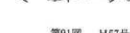
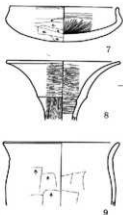
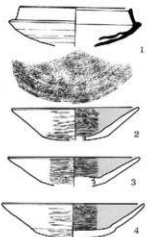


遺物出土状況(南より)

H57(WH2)土層説明

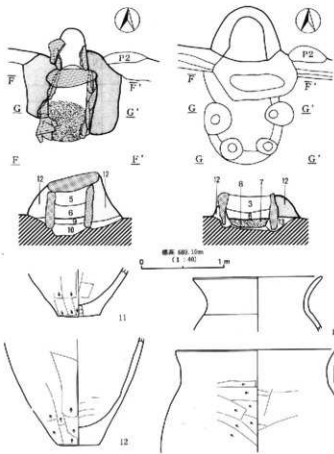
1. 高岡色土層(10YR2/3)
コーム粒子、パリス、炭化物粒子を含む。
2. 灰黒褐色土層(10YR4/2)
粘土を多量に含む。
3. 黒褐色土層(10YR2/3)
コーム粒子、パリス、粘土、炭化物粒子を含む。
4. 黒褐色土層(10YR2/3)
砂を少量含む。
5. 暗褐色土層(5YR3/3)
砂、灰、炭化物を含む。
6. 暗茶褐色土層(7.5YR3/4)
粘土、灰を多量に含む。
7. 赤褐色土層(5YR4/6)
粘土。
8. 暗茶褐色土層(5YR3/6)
粘土粒子を多量に含む。
9. 黒褐色土層(10YR2/3)
砂、炭化物粒子を少し含む。
10. 黒褐色土層(10YR2/3)
砂、炭化物粒子、粘土粒子を含む。
(コーム無し)
11. 暗褐色土層(10YR3/3)
パリス、粘土粒子を少量含む。

12. 灰褐色土層(7.5YR4/2)
粘土を多量に含む。
13. 高岡色土層(10YR2/3)
粘土、炭化物粒子を多量に含む。
14. 暗褐色土層(10YR3/3)
砂、炭化物を含む。
15. 暗褐色土層(10YR4/6)
粘土。
16. 暗褐色土層(10YR3/4)
砂を多量に含む。
17. 高岡色土層(10YR2/3)
(詳細)
18. 褐色土層(10YR4/4)
砂、パリスを多量に含む。(ヒット層)
19. 暗褐色土層(10YR3/3)
砂、コームを多く含む。網入りあり。(R&H)
20. 暗褐色土層(10YR3/4)
砂、コームを多量に含む。網入りあり。(R&H)
21. 暗褐色土層(10YR3/3)
砂、コームを多く含む。
22. 暗褐色土層(10YR3/4)
砂、コームを多く含む。
23. 暗褐色土層(10YR2/3)
砂、コーム粒子を少し含む。

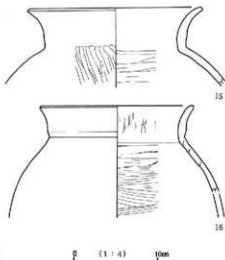


第91図 H57号住居址(1)

0 (1:4) 10cm



カマド (南より)



第93図 H57号住居址(2)

第61表 INP X H57号住居址出土遺物一覧表

番号	品名	数量	産地・調査	色	調	胎	土	焼・厚・備考	出土位置
1	土師器 杯	113.0 118.2 54.7	内 江戸川ナリ 外 江戸川ナリ→底部分に黒ヘラナリ	内 赤 外 赤	赤	赤	100大砂粒付。	118.1.1 118.1.2 底部分に 黒色ヘラ装飾	No.9
2	土師器 杯	114.2 16.0 14.0	内 土器牛 褐色器用 外 土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。	118.1.1 118.1.2	1区1層
3	土師器 杯	115.1 110.3 5.0	内 土器牛 褐色器用 外 土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。	118.1.1 118.1.2	1区1層 1区2層
4	土師器 杯	116.4 10.4 4.3	内 土器牛 褐色器用 外 11編リデ→底部分ヘラナリ→土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。100大 白色・赤色砂子付。	118.1.1/12 底部分	No.4
5	土師器 杯	117.4 14.5 4.3	内 土器牛 褐色器用 外 11編リデ→底部分ヘラナリ→褐色器用?	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。 また12.100.200大赤色砂子付。	118.1.1 118.1.2	No.4
6	土師器 杯	114.1 21.0 4.0	内 土器牛 褐色器用 外 11編リデ→底部分ヘラナリ→土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。	118.1.1 118.1.2	1区1層
7	土師器 杯	118.0 14.3 4.3	内 土器牛 外 11編リデ→底部分ヘラナリ	内 赤 外 赤	赤	赤	~100大の高、赤砂子。100大 白色・白色砂子付。	118.1.1 118.1.2	No.8
8	土師器 杯	14.0 12.0 12.0	内 土器牛 外 土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。 また12.100大赤砂子付。	118.1.1/10 118.1.2	No.6
9	土師器 小杯	114.0 12.0	内 ナリ ヘラナリ 外 底部分ヘラナリ→11編リデナリ ナリ	内 赤 外 赤	赤	赤	100大白色砂子多。赤色の砂子。 100大砂粒付。	118.1.1 118.1.2	1区2層
10	土師器 菓子	148.0 12.1	内 ナリ 土器牛 外 ヘラナリ 土器牛	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。100大 白色・白色砂子付。	118.1.1 118.1.2	1区1層
11	土師器 菓子	152.0 15.0	内 ヘラナリ 外 ヘラナリ	内 赤 外 赤	赤	赤	細石質・褐色砂子付。 1~300大赤色砂子付。	118.1.1 118.1.2	1区1層

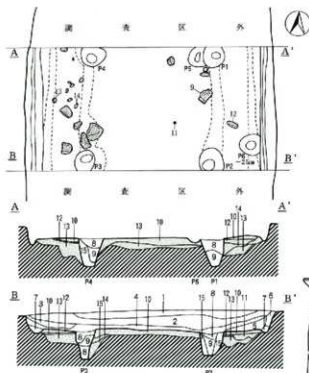
番号	品名	数量	内	品名	数量	内	品名	数量	備考	出上数量	
12	千鳥型 鉄	3 (12.8)	内	ヘラナデ	1	内	2578/2 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片、1~2mm大 研粒3粒。	磨石 1/3 片状鉄屑	10C1層 11C2層
13	1層銅 鍍	1 (1.8)	内	1層銅コナデ	1	内	2578/8 (銅)	1	0.5mm大の真・黒鉛粒を含む。	1層 1/8 片状鉄屑	11C2層
14	七層銅 鍍	20 (20.0)	内	1層銅コナデ 鉄鍍ヘラナデ	1	内	5386/6 (銅)	1	0.5mm大の真・黒鉛粒、 2~3mm大赤色の片を含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.2
15	1層銅 鍍	2 (2.0)	内	1層銅コナデ 鉄鍍ヘラナデ	1	内	5386/8 (銅)	1	0.5mm大の真・黒鉛粒、 2~3mm大赤色の片を含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.3
16	1層銅 鍍	1 (1.8)	内	1層銅コナデ 鉄鍍ヘラナデ (鉄片) 鉄鍍片	1	内	5386/6 (銅) 5378/6 (鉄)	1	0.5mm大の真・黒鉛粒、 2~3mm大赤色の片を含む。	1層 1/3 片状鉄屑	No.5
17	白土	10.0							磨石。		
18	土質砂	20.0							0.5mm		
19	石製硝子皿	4.8							硝子、空口表少し剥落。		
20	石片	17.0							炭山出、磨石にも類似あり。		
合計	種類	長さ (mm)	径 (mm)	厚さ (mm)	重						出土位置
12	白土	10.0	9.0	10.0	0.79						
18	土質砂	20.0	7.0	5.0	0.33						
19	石製硝子皿	4.8	2.2	4.0	7.1						
20	石片	17.0	17.0	38.0	1960.0						

第 62 表 INP X H 58 号住居出土土遺物一覧表

番号	品名	数量	内	品名	数量	内	品名	数量	備考	出上数量	
1	銅鍍 鉄片	1 (4.0)	内	1層銅コナデ 自然銅片	1	内	2578/1 (銅イリヤク)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1/2 片状鉄屑	10C1層	
2	七層銅 鍍	1 (4.2)	内	ヘラナデ 1層銅コナデヘラナデ 鉄鍍ヘラナデ 自然銅片	1	内	5377/8 (銅)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/2 片状鉄屑	
3	千鳥型 鉄	1 (1.5)	内	1層銅コナデ 鉄鍍ヘラナデ	1	内	10187/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/6 片状鉄屑	No.1
4	1層銅 鍍	1 (1.5)	内	ヘラナデ 鉄鍍片	1	内	10187/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.1
5	1層銅 鍍	1 (1.8)	内	ヘラナデ 鉄鍍片	1	内	10187/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.1
6	七層銅 鍍	1 (1.8)	内	ヘラナデ 鉄鍍片	1	内	10187/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.1
7	1層銅 鍍	1 (1.8)	内	ヘラナデ (鉄片)	1	内	2578/4 (鉄)	1	0.5mm大の真・黒鉛粒を含む。 1~2mm大赤色の片を含む。	1層 1/4 片状鉄屑	No.8
8	1層銅 鍍	1 (1.8)	内	ヘラナデ 1層銅コナデ	1	内	2578/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1~2mm大赤色の片を含む。	1層 1/2 片状鉄屑	No.1
9	七層銅 鍍	1 (1.8)	内	ヘラナデ 鉄鍍片	1	内	2578/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1~2mm大赤色の片を含む。	1層 1/2 片状鉄屑	No.1
10	銅片	1 (1.7)	内	ヘラナデ 鉄鍍片	1	内	2578/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1~2mm大赤色の片を含む。	1層 1/2 片状鉄屑	No.1
合計	種類	長さ (mm)	径 (mm)	厚さ (mm)	重						出土位置
12	銅鍍鉄片	4.0	4.0	5.0	0.19						
13	銅鍍鉄片	21.0	7.0	6.0	2092.0						
14	銅片	9.0	7.0	6.0	14.0						
15	銅片	12.0	8.0	5.0	230.0						

第 63 表 INP X H 67 号住居出土土遺物一覧表

番号	品名	数量	内	品名	数量	内	品名	数量	備考	出上数量
1	七層銅 鍍	1 (10.5)	内	1層銅コナデ	1	内	10187/1 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1/2 片状鉄屑	1層 1/8 片状鉄屑
2	千鳥型 鉄	1 (1.8)	内	ヘラナデ	1	内	2578/6 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 1/8 片状鉄屑
3	鉄ナデ 片状	1 (0.6)	内	鉄ナデ	1	内	2578/6 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。	1層 3/8 片状鉄屑
4	七層銅 鍍	1 (1.8)	内	1層銅コナデ	1	内	2578/7 (鉄)	1	磨石系・磨石行石片含む。 1~2mm大赤色の片を含む。	1層 1/8 片状鉄屑



完掘 (東より)



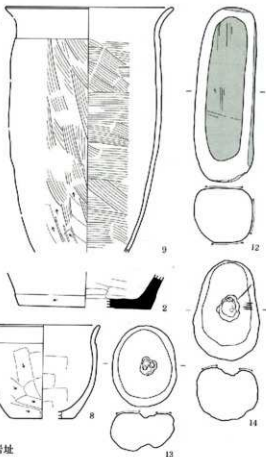
遺物出土状況 (西より)

礎出土状況 (西より)

FIG 8 (W H) 土層説明

1. 赤褐色土層 (10YR2/3) 砂、パリス多く、炭化植物子を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂、パリス多く、炭化植物子を含む。
3. 赤褐色土層 (10YR2/3) 砂、パリス多く、炭化植物子を含む。
4. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂、パリス多く、炭化植物子を含む。
5. 暗褐色土層 (10YR3/2) 少量土の砂を多く含む。
6. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂を少量含む。
7. 暗褐色土層 (10YR3/2) 少量土の砂を多く含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂、パリス多い。(注脚)
9. 赤褐色土層 (10YR2/2) 砂を含む。(注脚)
10. 褐色土層 (10YR4/4) 10YR2土ブロックを含む。志保は粘土を含む。(注脚)
11. 黒褐色土層 (10YR3/2) 砂を含む。
12. 褐色土層 (10YR4/4) 暗褐色・褐色土ブロックを含む。砂を多く含む。(注脚)
13. 暗褐色土層 (10YR4/3) 暗褐色土・褐色土ブロックを含む。
14. 褐色土層 (10YR4/4) コームブロック主体。
15. 黒褐色土層 (10YR3/0) 砂主体。

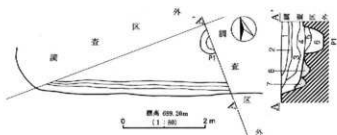
標高 689.05m
0 (1:50) 2m



第94図 H58号住居址

第64表 INP X H75号住居址出土遺物一覧表

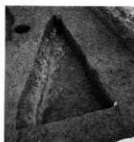
番号	品名	材質	形状・寸法	重量	色澤	出土層	出土位置	注目点
1	土師器	磁器	内径 110mm、外径 130mm、高さ 40mm	112g	赤褐色 (10YR2/3)	層 1	西壁下	注脚 1
2	土師器	磁器	内径 110mm、外径 130mm、高さ 40mm	112g	赤褐色 (10YR2/3)	層 1	西壁下	注脚 1



H67 (W H13) 土葬墓

1. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、パリスを多く含む。
2. 赤褐色土層 (10YR2/2) 砂、パリスを少量含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、パリスを多く含む。
4. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂、パリスを多く含む。

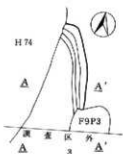
5. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、パリス、磁石粉末を含む。
6. 暗褐色土層 (10YR2/2) 砂、パリスを含む。
7. 褐色土層 (10YR4/4) 砂主体。
8. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂を多く含む。



完掘 (東より)

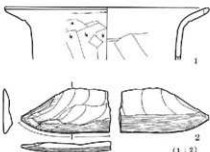


第95図 H67号住居址

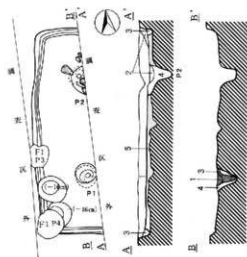


完掘 (北より)

- H74 (W H21) 土葬墓説明
1. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、小石、磁石粉末を含む。
 2. 暗褐色土層 (10YR3/4) 砂を多く含む。
 3. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂プロックを含む。(埋込)



第96図 H75号住居址



H75 (S H11) 土葬墓

1. 暗褐色土層 (10YR3/2) 砂、小礫を含む。
2. 暗褐色土層 (10YR2/2) 砂、小礫を含む。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3) 砂、小礫を多く含む。(埋込と埋没)
4. 褐色土層 (10YR4/4) 砂、小礫を多量に含む。
5. 褐色土層 (10YR4/4) 砂、小礫を多量に含む。(埋込)

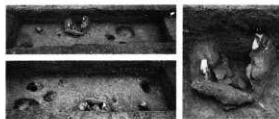
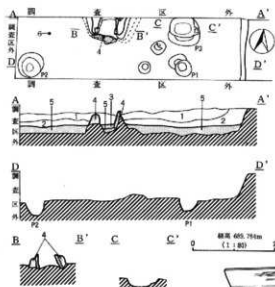
断面 600.50m
0 2m
(1:20)



完掘 (南・西より)



第97図 H95号住居址



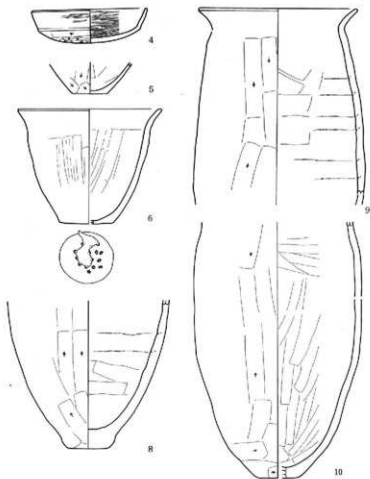
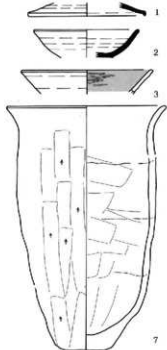
完器 (南より・北より)

カマド (南より)



(1・2)

- H101 (519) 土層説明
1. 褐色土層 (SYK4)
砂、少量粘土。
 2. 黒褐色土層 (SYK2)
砂、少量粘土。
 3. 暗褐色土層 (SYK3)
砂を多量に含む。(カマド周辺)
 4. 灰褐色土層 (GOYB4)
瓦土。(カマド焼成土)
 5. 褐色土層 (GOYB5)
砂、ロームゾロツトを多量に含む。(堀方)



第98図 H101号住居址

第 65 表 INP X H 95 号住居址出土遺物一覽表

番号	品名	数量	材質	遺物・遺物	品名	数量	材質	備考	出土位置												
1	耳環 金	11.32 3.30	内 1号 外 1号	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5192/1 (10編) 外 5192/6 (8編)	2	内 2号 外 ナブ	口縁ナブ一環部付ヘラケズリ 1.5mm 大赤色付ナブ	内 5192/1 (10編) 外 5192/6 (8編)	3	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5192/1 (10編) 外 5192/6 (8編)	4	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5192/1 (10編) 外 5192/6 (8編)

第 66 表 INP X H 96 号住居址出土遺物一覽表

番号	品名	数量	材質	遺物・遺物	品名	数量	材質	備考	出土位置												
1	耳環 金	11.32 3.30	内 1号 外 1号	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 2191/1 (10編) 外 2191/4 (12.51) (8編)	2	内 2号 外 ナブ	口縁ナブ一環部付ヘラケズリ 1.5mm 大赤色付ナブ	内 2191/1 (10編) 外 2191/4 (12.51) (8編)	3	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 2191/1 (10編) 外 2191/4 (12.51) (8編)	4	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 2191/1 (10編) 外 2191/4 (12.51) (8編)

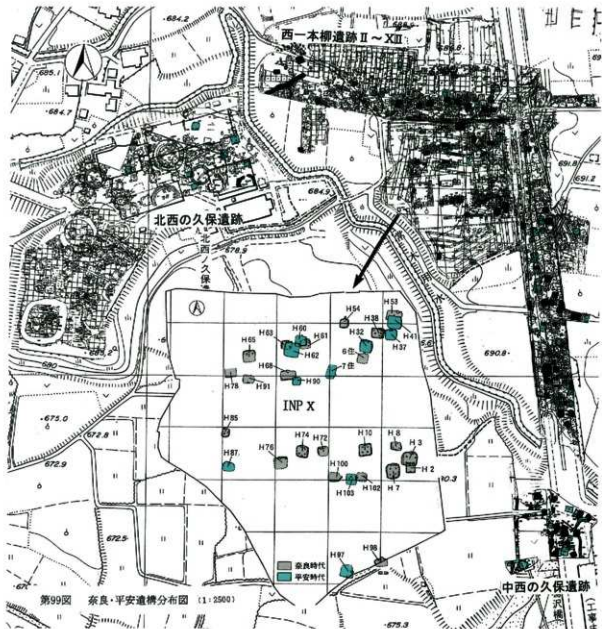
第 67 表 INP X H 101 号住居址出土遺物一覽表

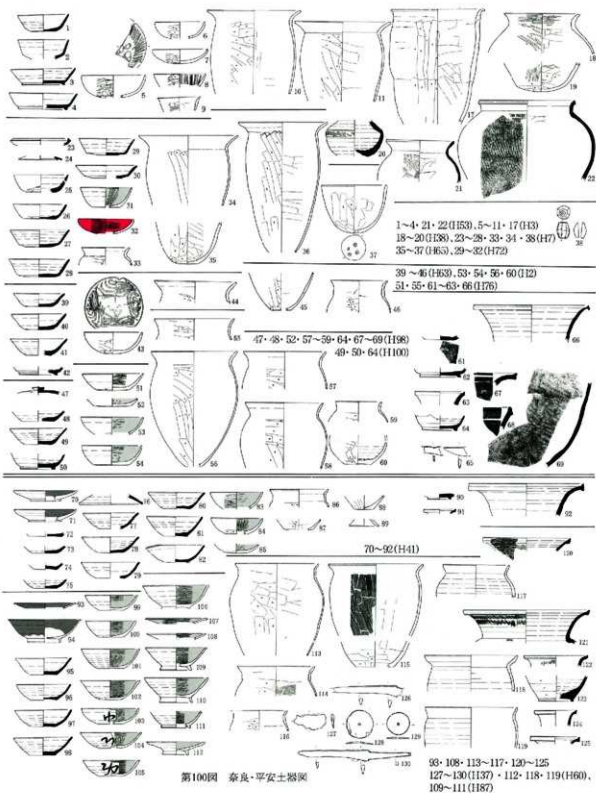
番号	品名	数量	材質	遺物・遺物	品名	数量	材質	備考	出土位置												
1	耳環 金	11.32 3.30	内 1号 外 1号	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5196/1 (8編) 外 5196/4 (8編)	2	内 2号 外 ナブ	口縁ナブ一環部付ヘラケズリ 1.5mm 大赤色付ナブ	内 5196/1 (8編) 外 5196/4 (8編)	3	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5196/1 (8編) 外 5196/4 (8編)	4	1号 金	11.32 3.30	内 1号 外 ナブ	黄色色付 口縁ナブ一環部付ヘラケズリ	内 5196/1 (8編) 外 5196/4 (8編)

5. 奈良 H 2・H 3・H 7・H 8・H 10・H 38・H 53・H 54・H 61・H 63・H 65
 ・H 68・H 72・H 74・H 76・H 78・H 85・H 91・H 98・H 100・H 102

奈良時代の竪穴住居址は21棟を数える。H68はIの須恵器杯から奈良にしたが、白玉・長胴甕からは古墳時代の可能性もある。遺物の多い住居址を『西一本柳遺跡Ⅱ』の奈良時代の土器分類にしたがい4分類してみる。

- I. H 3・H 53・H 38・H 61・H 74 土師器甕が武蔵甕で口縁が「く」形を呈し、強く外反または外傾。土師器杯に畿内系暗文が施される。須恵器杯は回転へう切り離し・須恵器有台杯を伴う。口径の小さいものあり。
- Ⅱ. H 7・H 65・H 10・H 72 土師器甕の武蔵甕口縁の外傾度がわずかに弱まる。須恵器杯類にシャープさがない。
- Ⅲ. H 54・H 63・H 76・H 85 土師器の武蔵甕の口縁の外傾度がさらに弱まる。土師器杯は黒色処理される。須恵器に回転系切り離し加わる。





IV. H2・H78・H98・H100

土師器甕にやや「コ」の字形を呈するものが含まれる。土師器杯は平底で、内面黒色処理される。須恵器杯は底部回転糸切りが主体となる。

6. 平安 H32・H37・H41・H60・H62・H87・H90・H97・H103

平安時代の竪穴住居は9棟である。H32は奈良末ないし平安の初頭であろうか。またH60→H62(新)、H41→H37に重複がある。H41.17・18の灰輪陶器皿は厚手で角高台が付き、内面施軸されトチンの後が残る。黒笹14号窯式で9C中頃であろうか。H41を切るH37.11の灰輪陶器碗は大型の深い椀形で、口縁端部が外反し、高台は三日月形を呈する。軸は垂れているためハケか漬け掛けかは明確ではない。またH37.10の灰輪陶器皿は口縁端部の残存で高台は不明であるが薄手で、口縁端部が外反している。これらは東濃の光ヶ丘窯式にみられ、10C中葉以降に置かれている。H37は多数の須恵器・土師器が出土している。土師器甕はロクロ甕が主体を占め、杯・椀・皿は内面ミガキ処理され、数量が多く、墨書が多い。鉄製品の刀子や紡錘車が伴出する。H32・H60・H41の3棟以外の土器はほぼH37と同期の10C代で、7棟は同時期の住居とみられる。

第2節 単独ピット

単独ピットは186個検出された。Bお8グリットのP39は浅いため住居の範囲が捉えられなかったが、弥生時代中期の住居の如くであろうか。焼土は認められなかった。またAけ6グリットのP115は4個体の弥生土器が浮ぶて出土している。単独ピットは集中力所があり、本道跡の東地区では7カ所程確認される。また基礎部分という限られた調査であるため、掘立柱建物になるものも多く含まれているであろう。

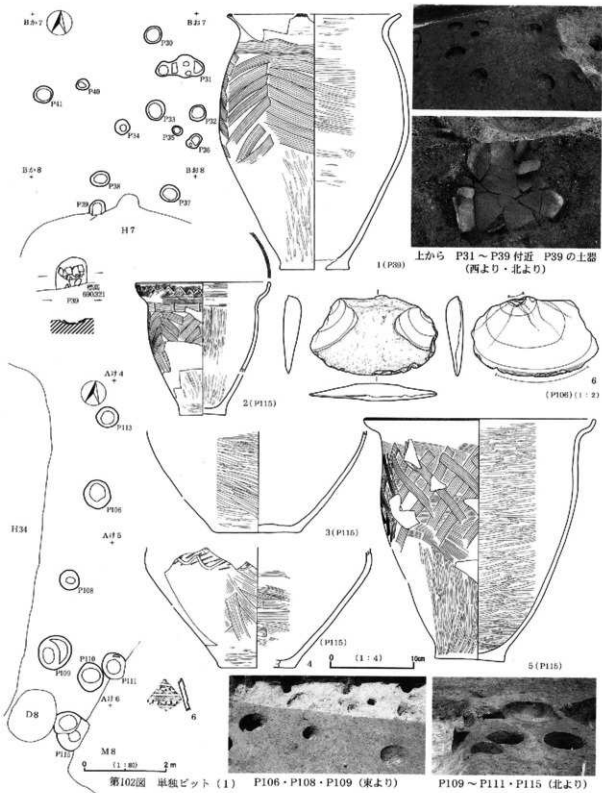
第3節 土坑

19基の土坑が検出され、出土遺物や新旧関係から時代の推測されるものは、10基である。

弥生中期以前-D19、弥生中期-D2・D3・D5・D6・D18、奈良・平安-D7・D13・D17、中世-D15

D9は明確な遺物はないが井戸址であろうか、平安の住居を切っている溝を切って構築されている。







第103図 単独ビット(2)

第68表 INP X E区単独ビット出土遺物一覧表

番号	品名	材質	形状・用途	色調	出土	備考	出土位置
1	弥生 鏃	12.50	内 ナガ ヘラナガ (厚目) →ヒガキ 外 ナガナガ →ヒガキ 上段横線文 下段縦線文・曲線横線文 底平直線文	内 25YR4/1 (黄赤) 外 25YR5/6 (赤黄)	縹石系・縹石砂子含む。	縹色土 P14北端 北段(砂層)の底に沈み	P10
		16.43 (14.23)					
2	弥生 鏃	16.23	内 ヘラナガ (厚目) →ヒガキ 外 上段横線文・上段縦線文→ヘラ横線文 下段縦線文・底平直線文	内 5YR4/2 (黄赤) 外 5YR6/4 (紅土) (赤)	縹石系・縹石砂子含む。	縹色土 P15上段	P15上段 P16北端
		15.49 (16.23)					
3	弥生 鏃	10.9	内 表面横線 外 ヒガキ	内 5YR4/2 (黄赤) 外 5YR5/2 (黄赤)	縹石系・縹石砂子含む。	縹色土 P15上段	P15上段 P16北端
		13.26					
4	弥生 鏃	8.6	内 ヘラナガ (厚目) 外 上段横線文→ヘラ横線文 下段ヘラナガ (厚目) 底平直線文・底平直線文	内 5YR2/1 (黄赤) 外 5YR7/4 (紅土) (赤)	縹石系・縹石砂子含む。	縹色土 P15上段	P15上段 P16北端
		14.43					
5	弥生 鏃	28.3	内 ヒガキ 外 ヘラナガ (厚目) →ヒガキ 上段横線文 下段縦線文 (底平)	内 5YR5/1 (黄赤) 外 5YR7/2 (黄赤)	縹石系・縹石砂子含む。	縹色土 P15上段	P15上段 P16北端
		8.5					
6	遺物の長	10.2	幅 1.0cm	厚さ 0.2cm	重さ 0.2g	赤土	出土位置
7	遺物の長	4.0	幅 0.7	厚さ 0.1	重さ 0.1g	赤土	出土位置
8	遺物の長	4.0	幅 0.7	厚さ 0.1	重さ 0.1g	赤土	出土位置
9	遺物の長	4.0	幅 0.7	厚さ 0.1	重さ 0.1g	赤土	出土位置
10	遺物の長	4.0	幅 0.7	厚さ 0.1	重さ 0.1g	赤土	出土位置
11	遺物の長	4.0	幅 0.7	厚さ 0.1	重さ 0.1g	赤土	出土位置

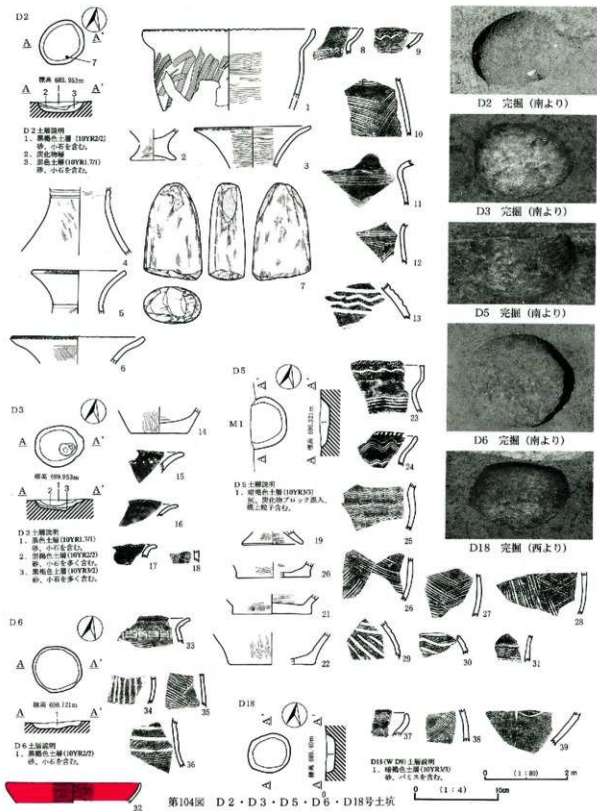
第4節 溝址

16本の溝址が検出された。出土遺物、重複関係などから時代の推測されるものは8本ある。

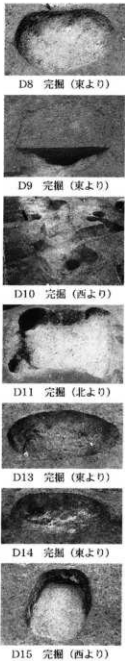
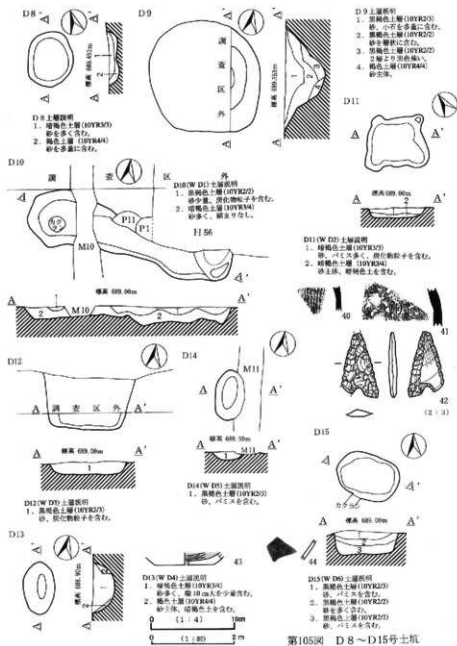
弥生中期-M5・M6・M12、古墳中期 M-8、奈良・平安-M1・M2・M3・M15

M12号溝址は西一本横道跡Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷで検出されていた弥生中期の土器を多量に出土するV字形の溝の延長であり、弥生中期の住居址を囲むように円形に巡っている。環濠の形態が少しではあるが明確になった。M12号溝址の出土遺物は赤の胴中に施文され、口縁端部は水平に近く延びる。要の口縁は強く短く外反しており、弥生時代中期後半の様相を持ち、H86の土器に近く、本遺跡では古相に次ぐ一群である。

M8号溝址は古墳中期の土器を多量に出土する溝で、本遺跡の北Aえ1から始まり、Eい9まで南北方向に81m検出された。幅最大3.6m深さ最大107cmを測り、南に低くなっている。出土遺物は土師器の小型丸底甕、長脚の高杯、有段口縁の甕、鉢、小杯、甕がある。銅製の石製模造品は種をもつものである。また混入品として縄文後期浅鉢や弥生中後期の土器と磨製石鏃・打製石鏃を出土している。本調査の古墳中期前半H64・H9の住居址と同時期の土器群である。また西隣の北西の久保遺跡の古墳中期前半の住居址に近い時期である。



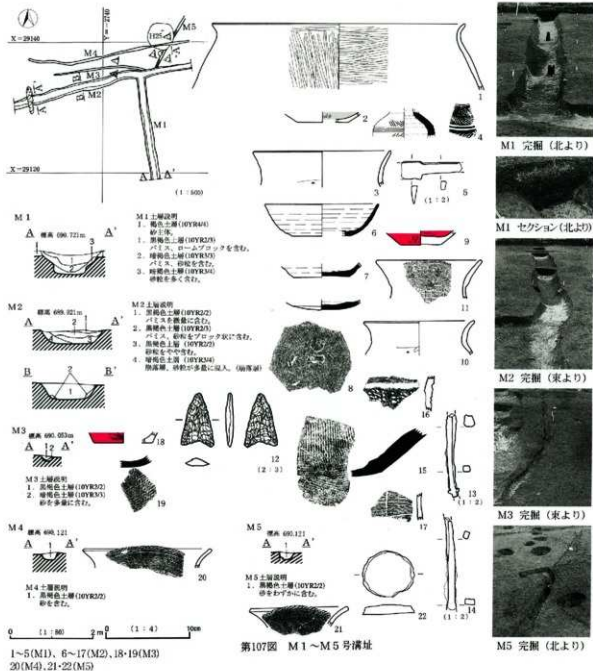
第104図 D2・D3・D5・D6・D18号土坑



第105図 D8～D15号土坑

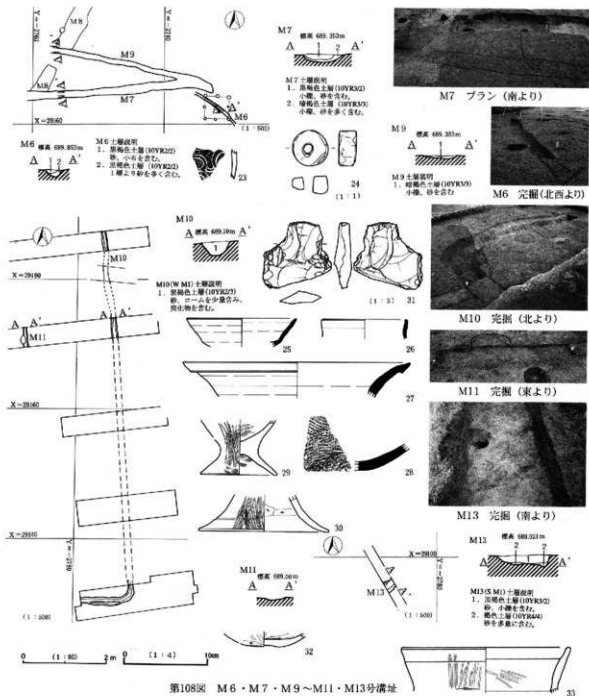
第69表 INP X D2・D3・D5・D6・D11・D13・D15号土坑出土遺物一覧表

品目	品名	品目・品名	品目・品名	品目・品名	品目・品名	品目・品名	品目・品名
1	鉄器	内 白銅コブナブ	外 ヘラコブナブ	内 1.51306/4 (C2.21-4E)	外 1.51306/3 (C2.21-4E)	銅片・銅片断片を含む。	1層 1/7 2層 5/8
2	漆器	内 漆コブナブ	外 漆コブナブ	内 1.51307/4 (D)	外 1.51307/3 (C2.21-4E)	銅片・銅片断片を含む。	1層 3/4 2層 5/8
3	銅器	内 銅コブナブ	外 銅コブナブ	内 1.51304/1 (B)	外 1.51304/2 (C2.21-4E)	銅片・銅片断片を含む。	1層 1/7 2層 5/8
4	銅器	内 銅コブナブ	外 銅コブナブ	内 1.51304/2 (B)	外 1.51304/1 (C2.21-4E)	銅片・銅片断片を含む。	1層 1/7 2層 5/8



第70表 INP X 1~7・9~16号溝址出土遺物一覧表

番号	品名	位置	式典・遺物	数量	出所	備考	出土位置
1	石土 壺	090.80 08.0	内 土器 外 土器	内 13330/4 10.21-10 外 7430/6 08	埋石瓦、埋石の破片を含む。	口縁1/5 口縁取割	M1
2	土師器 埴	08.0 (1.5)	内 土器 外 土器 特殊 土師器	内 11910/3/1 08 外 7591/4 10.21-10	埋石の破片 100 以上散在。	口縁1/5 口縁取割	M1
3	土師器 壺	116.0 (1.4)	内 土師器 外 土師器	内 7591/4 10 外 7591/4 10.21-10	埋石瓦・埋石の破片を含む。	口縁1/5 口縁取割	M1
4	土師器 壺	116.0 (1.5)	内 土師器 外 土師器	内 26/9 08 外 26/9 08	径 100mm 以下の石瓦、石瓦の破片。	口縁 口縁取割	M1 溝底

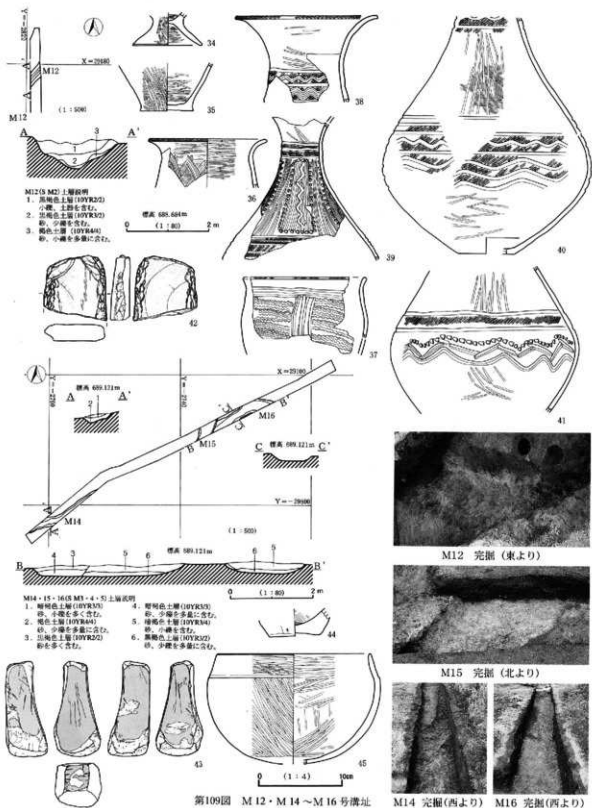


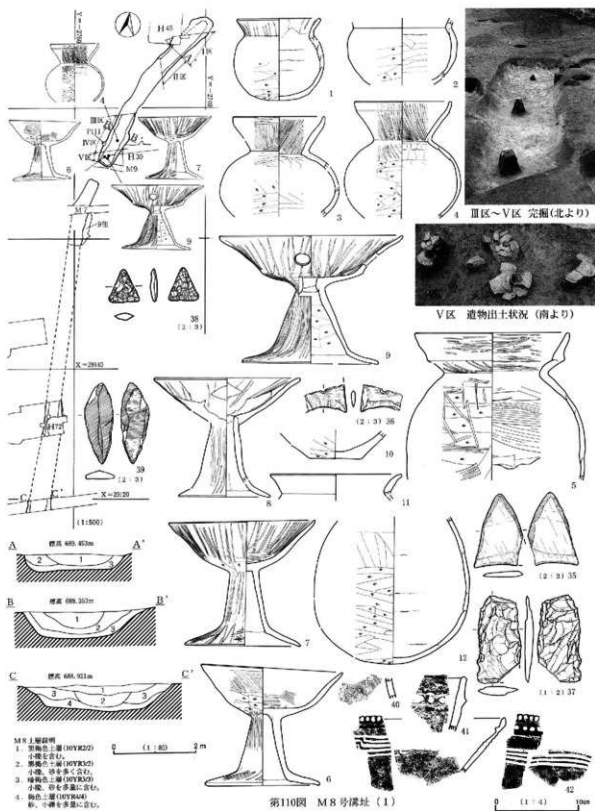
第108図 M6・M7・M9～M11・M13号溝址

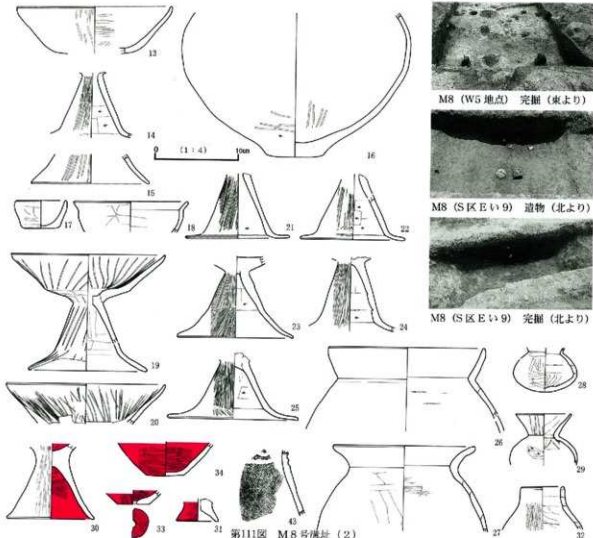
第70表 ENP X 1～7・9～16号溝址出土遺物一覧表

番号	種類	高さ (cm)	幅 (cm)	長さ (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	出土位置	
								溝	層
5	刀子	37.0	13.0	3.0	2.9		鉄製	M1	出土位置
6	銅製品	11.0	11.0	11.0	1.0	1.0	銅製	M7	出土位置
		14.0						M9	出土位置
7	銅製品	11.0	11.0	11.0	1.0	1.0	銅製	M7	出土位置
		14.0						M9	出土位置
8	銅製品	11.0	11.0	11.0	1.0	1.0	銅製	M7	出土位置
		14.0						M9	出土位置

9	政治 学	15:40 17:15	内 上野キ 政治学 外 上野キ 政治学	内 1805/5 (4F) 外 223/205/5 (明本館) 外 578/5 (3階)	総合系・総合系女子含む。	経済学/1 1805/5	M 2
10	1回生 小規模	11:40 14:40	内 日野ウナナ 外 日野ウナナ 経済学/ラウナ	内 223/205/5 (2F・3階) 外 223/205/5 (明本館)	総合系・総合系女子含む。	1階/1/4 1805/5 経済学	M 2
11	政治 学	11:30 13:30	内 上野キ 外 日野藤原校舎2 (学校18号) 政治学/経済学 (1階・2F)	内 223/205/4 (3階) 外 578/4 (2F・3階)	総合系・総合系女子含む。	1階/1/7	M 2
12	経済学	2:40	内 1階	内 1805/5	経済学、社会科学部および工学部、芸術学部/経済学		M 2
13	経済学	9:10	内 1階	内 1805/5	経済学		M 2
14	経済学	9:50	内 1階	内 1805/5	経済学		M 2
15	政治学	11:30	内 1階	内 1805/5	経済学		M 2
16	政治学	17:30 17:45	内 総合 外 上野キ 政治学	内 1805/7/4 (2F・3階) 外 578/5 (3階)	総合系・総合系女子含む。	1階/1/8 1805/5	M 3
17	政治学	11:40	内 上野キ 外 上野ウナナ 政治学/経済学	内 578/4/1 (3階) 外 223/205/2 (3階)	総合系・総合系女子含む。	1階/1/5 1805/5	M 4 無条件
18	政治学	13:40 15:10	内 上野キ 外 上野藤原校舎 1階/2F	内 223/205/4 (2F・3階) 外 223/205/4 (2F・3階)	総合系・総合系女子含む。	1階/1/5	M 5
19	政治学	11:30 13:30	内 上野キ 外 上野ウナナ	内 223/205/5 (3階) 外 223/205/4 (2F・3階)	総合系・総合系女子含む。	1階/2/1 2階/2階	M 5 経済
20	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
21	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
22	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
23	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
24	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
25	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
26	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
27	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
28	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
29	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
30	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
31	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
32	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
33	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
34	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
35	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
36	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
37	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
38	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
39	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
40	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
41	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
42	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
43	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
44	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済
45	経済学	11:40	内 1階	内 1805/5	経済学、経済学/経済学		M 5 経済



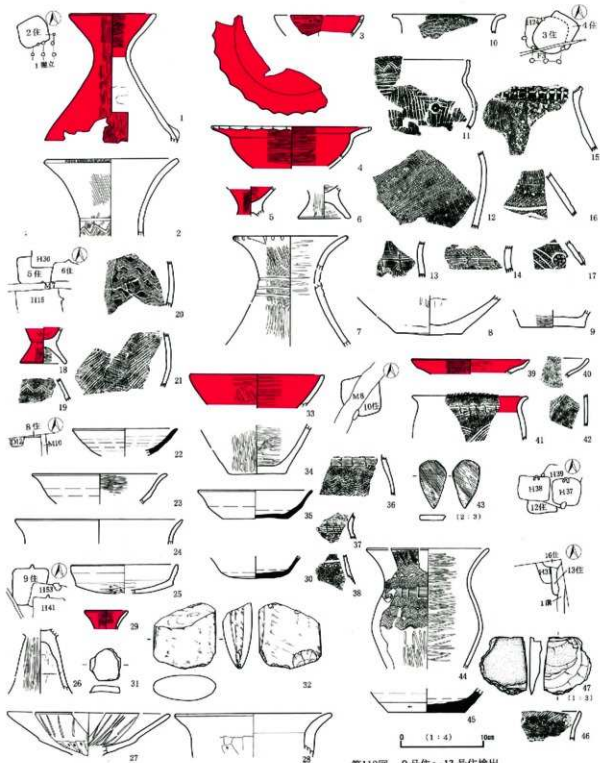




第111圖 M8号溝址(2)

第71表 INP X 8号溝址出土遺物一覽表

番号	品名	数量	形状・用途	数量	出土	検出位置	出土層
1	土師器 鉢	1(15.0) 1(25.0)	内 口縁ヨコナデ一筋文 縁部ナデ 外 縁部ヘラナデ一筋文 縁部ナデコナデ (縁部ナデ一筋文)	内 3Y90/0 (0) 外 3Y90/0 (0)	溝口南・溝口北石段子 1m×3m 赤色粘土片付	溝口南1/2 口北東部	VI区1層
2	土師器 鉢	-	内 ナデ 外 縁部ナデコナデ一筋ヘラナデ	内 3Y93/0 (0赤帯) 外 2.5Y95/4 (2.5赤帯)	0.5m 大溝口南・溝口北石段子 含む, 1m 大砂坑含む。	溝口南1/2 口北東部	VI区1層
3	土師器 小型丸底 器	1(13.2)	内 口縁ヨコナデ一筋文 縁部ナデ 外 縁部ヘラナデ一筋文 縁部ナデ 口縁ヨコナデ一筋文 縁部ナデ	内 30K5/0 (0) 外 30K5/0 (0)	0.5m 大溝口南・溝口北石段子 含む。	溝口南1/2	III区
4	土師器 中大型丸底 器	1(14.7)	内 縁部ナデ一筋ヨコナデ一筋文 外 縁部ヘラナデ一筋一筋文 口縁ナデ一筋ヨコナデ一筋文	内 3Y90/0 (0) 外 3Y90/0 (0)	0.5m 大溝口南・溝口北石段子 1m 大砂坑含む。	口北東部 完全未掘	Na区
5	土師器 器	1(18.9) 1(17.0)	内 口縁ヨコナデ一筋文 縁部ヘラナデ (縁部) 外 口縁ナデ一筋ナデ 口縁ナデ一筋ヘラナデ ナデナデ ナデナデ	内 5Y92/3 (2.0赤帯) 外 5Y92/2 (0赤帯)	0.5m 大溝口南・溝口北石段子 含む, 1m 大砂坑含む。	口北東部 完全未掘	VI区1層 VII区1層
6	土師器 酒杯	1(14.0) 1(14.4)	内 口縁ヘラナデ (縁部) ナデ一筋ヨコナデ一筋文 全周各筋ヨコナデ 外 口縁ヘラナデ (縁部) 一筋ヨコナデ 口縁部ヘラナデ一筋 縁部ナデ一筋ナデ 縁部ナデ一筋文	内 3Y90/0 (0) 外 2.5Y95/0 (0)	溝口南・溝口北石段子 1m 大 砂坑含む。	完全 未掘	VI区1層 Na区
7	土師器 酒杯	1(13.0) 1(14.6) 1(10.2)	内 口縁ナデ一筋文 外 口縁ヘラナデ一筋 ナデ 縁部ヨコナデ 縁部ナデ一筋ヨコナデ一筋文 縁部ヘラナデ一筋 縁部ナデ 縁部ヨコナデ一筋文	内 2.5Y95/0 (0) 外 3Y90/0 (0)	溝口南・溝口北石段子 1m 大 砂坑含む。	口北東部 完全未掘	V区1層 Na区



第112図 2号住～13号住検出

第三章 西一本柳遺跡 X 次調査より出土した弥生石器群の評価

はじめに

本稿では西一本柳遺跡 X 次調査より出土した弥生石器群を、現状の研究成果を踏まえながら評価していきたいと思う。

西一本柳遺跡は佐久市を流れる湯川の右岸に位置し、近隣には著名な北西の久保遺跡、そして弥生箱清水期の銅鋼の出土した五里用遺跡等、弥生集落が密集する。西一本柳遺跡と地続きであったであろうこれら遺跡一体は広大な平坦面を有し、湯川が形成した河岸段丘上にある。西一本柳遺跡の南側段丘下と北側に沖積地が控えており、おそらく西一本柳遺跡一帯の生産地はこれら沖積地であると推定される。

さて西一本柳は既に X 次の調査を重ねており、特に III 次・IV 次調査では遺跡の南北の範囲を確認できる調査がなされ、弥生中期後半の粟林式、弥生後期の箱清水式、古墳時代、古代と断続的ながらも集落は営まれている。中期においては石川編年(石川2002)の粟林2式新段階相当から3式まで、後期箱清水式は青木氏の松原遺跡編年(青木1998)の1~6期まで認められる。X 次調査範囲の東側からは従水の調査区よりも比較的粟林期の住居跡が多く検出されているため、粟林期の集落の中心がここ X 次調査区の範囲に接している可能性がある。

なお、粟林期で注目されるのは、III・IV 次調査で石川編年粟林式2式新段階から3式相当の十器が多量に出土する V 字溝の M2 溝が検出されたことであろう(森泉2003)。この溝の内側に粟林期の住居跡がまともって検出されることから、この溝はいわゆる「環濠」と呼ばれるものに相当すると考えられる(森泉2003)。その後、VIII・IX 次調査の M6 溝、そして本調査の M12 溝というように集落を囲う溝が断続的ながらも検出される(本報告の第110図参照)。

環濠集落としての評価は今後の課題になると思うが、西一本柳遺跡がこの佐久平の弥生中期粟林期において、他の集落より比較的大規模な居住域をもつ集落遺跡であることは動かしがたい。一方、後期箱清水式段階にも集落の南北を走る「環濠」に相当する溝が検出され、ちょうど中期粟林期の「環濠」で囲われ範囲の中央を切るように検出された。後期「環濠」の東端は I 次調査の M1 溝と考えられる。

このようにポイントとなる集落特徴を踏まえ、西一本柳遺跡の弥生石器を本稿では触れることにする。本稿では X 次遺跡出土石器を対象に検討を加えるが、必要がある場合は過去の調査の出土石器についても触れることにする。

西一本柳遺跡から出土した石器で特に評価すべき石器として上げられるのは、①打製石鏃、②磨製石鏃、③擦切石器、④太形蛤刃石斧・扁平片刃石斧等の磨製石斧、⑤管玉・勾玉、⑥有孔石剣の6点である。本稿ではこの重要な石器6点について主に検討を加え、評価を行う。

1. 器種ごとの評価

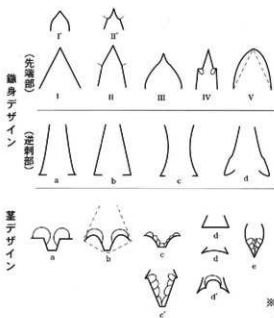
打製石鏃 (写真1~9)

本調査では、黒曜石製の有茎鏃とその未成品が各1点、凹基鏃3点、平基鏃1点、石鏃未成品1点が出土した。他に頁岩・珪質頁岩・安山岩製の門基鏃が各1点出土する。また銅文章創期に特徴的な黒曜石製の有舌尖頭器が1点出土した(W7検、写真5)。

①黒曜石製の石鏃について

本調査で出土した有茎鏃は、いずれも最大長3cm前後の標準的なサイズであり、第113図の属性分類では鏃身デザインIb型に該当する。長野県内の弥生時代遺跡では一般的なデザインである。また、長身化した有茎鏃の未成品がII次調査のH59住居跡(時期不明)から1点出土し、長野市方面と同様、長身有茎鏃と2~3cm前後の一般的な有茎鏃の二者で構成される。中期粟林期は他石材を含めて、全体的に長身化傾向となることを確認している(馬場2003b)。

次に、産地分析の結果を見てみよう。沼津工業高等専門学校の望月明彦氏の分析結果と、筆者の器種分類の結果を統合した



第113回 石鏃の形態分類模式図

ものを第76表に示した。産地表記は全て望月氏に従っている。西一本柳遺跡の各調査次に共通して、諏訪屋ヶ台群が原料の主体となる。これは弥生前期後半の佐久市東五里田遺跡、中期後半の佐久市後家山遺跡と同じ傾向であり、複数遺跡で確認できるこの傾向は、佐久平の黒曜石原産地利用の特徴として理解してもよいであろう。諏訪屋ヶ台群の原石・石核は、いずれの遺跡も最大長2～3cm前後の小形品である。

一方で、筆者は、少量しか認められない産地にも注目している。なぜなら、ここには同一時期の遺跡差が認められるからである。佐久市根々井芝宮遺跡は、西一本柳遺跡より一段階古い石川編年栗林2式古段階を主体とする遺跡で、Y25住居跡の壺19にストックされた状態で出土した黒曜石には、諏訪屋ヶ台群が多数を占めながらも、蓼科冷山群の原石8点と剥片5点が含まれていた。これほど蓼科冷山群の原石がまとまって出土した例はない。残念ながら他の遺跡から出土した黒曜石の産地分析は行われていない。

また、後家山遺跡では、和田鹿山群の凹基鏃を始め、和田土屋橋北群・和田土屋橋西群・和田高松沢群の有茎鏃や凹基鏃が出土する。これら石鏃は、遺跡内での製作途中工程が認められないため、遺跡外から完成品の状態で持ち込まれた可能性が高い(馬場2004c)。

そして、西一本柳遺跡の少数産地としては、後家山遺跡と同様の和田鹿山群・和田土屋橋北群・和田土屋橋西群・和田土屋橋南群の石鏃・剥片・原石が出土する。西一本柳遺跡では先の遺跡と共通する産地が認められる一方、和田芙蓉ライト群と浅間山千ヶ滝群というままで認められなかった二つの産地がある。浅間山千ヶ滝群の原石は夾雑物が多く、剥片石器の原料には適さない。この二つの産地がどのような意味をもつのか、今後の課題である。

このように、少数産地の構成で遺跡差が認められることを確認したが、同時に、器種と石材産地の結びつきでも大きな問題がある。それは、和田鹿山群が凹基鏃と結びつく実態であり、後家山遺跡では有茎鏃に和田鹿山群が認められず、凹基鏃のみに認められた。筆者は有茎鏃の発達する栗林期に、和田鹿山群のみ有茎鏃がない点を疑問に思い、これは縄文時代所産の可能性を考慮する必要があることを提起した。なぜこの問題を大きく取り上げるのかというと、有茎鏃と凹基鏃が弥生時代において共存するか否かという問題は未だ解決しておらず、仮に原産地分析で有茎鏃と凹基鏃に産地を違えるという有意差が認められれば、原産地遺跡の時期を手がかりに有茎鏃と凹基鏃の時期を分離あるいは共存をチェックできるからである。これを検討課題1としよう。

またここから派生するもう一つ重要な課題として、消費地遺跡の時期や器種組成を確認することで、「和田鹿山群」の広がりや時間幅を捉える必要性である。これは、黒曜石原石の採掘坑が確認された鹿山遺跡群そのものの評価にかかわることで、縄文時代から弥生時代において、「和田鹿山群」産出地である鹿山遺跡群群のように利用されたのかを明らかにすることである。



写真1 H7(和田土屋横南)有茎鏃



写真2 H47(諏訪星ヶ台)凹基鏃



写真3 H49(和田土屋横南)凹基鏃



写真4 M2(諏訪星ヶ台)凹基鏃



写真5 検出7(諏訪星ヶ台)有舌尖頭器



写真6 D11(諏訪星ヶ台)凹基鏃



写真7 M8(和田土屋横南)平基鏃



写真8 III次調査(下呂石)



写真9 III次調査(下呂石)

これを検討課題2とする。

では、最初に、西一本柳遺跡の和田鷹山群の黒曜石製石器組成をみてみよう。西一本柳遺跡の場合、有茎鎌と凹基鎌（平基鎌含む）の産地が、諏訪屋ヶ台群は有茎鎌9点：凹基鎌11点、和田鷹山群は有茎鎌2点：凹基鎌5点である。和田鷹山群の有茎鎌の初例であるが、2点（III・IV次大石臼群跡、H93住居跡出土）とも第113図の鎌身デザインの変形がd型で、長野県域では縄文晩期全般におよぶ長野市宮崎遺跡（長野市教育委員会1988）や、縄文晩期後半（大洞C2～A'併行）を主体とする茅野市御土宮司遺跡（長野県教育委員会1982）で一般的にみられるデザインである。なお、これら二つの遺跡のほかに、佐野遺跡（大洞BC～C2古段階併行、樋口1967）では既に有茎鎌が顕著であり、凹基鎌・平基鎌等の無茎鎌から有茎鎌への石鎌デザインの変化が縄文晩期前半に起きていることを示す。

肝心の原産地遺跡である鷹山遺跡群では、晩期後半の水式の土器片が試掘で出土したのみで（山科ほか2003）、該当時期の採掘坑は未だ検出されていない。今後、複数の縄文晩期遺跡で和田鷹山群の有茎鎌の共存例をチェックしていく必要があるが、西一本柳遺跡の和田鷹山群の有茎鎌2点は縄文晩期所産である可能性が高い。

では次に、黒曜石の原産地推定の結果を時期別にみてみよう。第77表は、長野県内において黒曜石産地推定分析が行われた遺跡のうち、全点あるいは全点に近い黒曜石を対象とした分析結果である。全て沼津工業高等専門学校の望月明彦氏による分析である。鷹山遺跡群の採掘坑の時期に該当する縄文後期中葉と、縄文晩期のデータがまだ存在しないもの、縄文時代前期から弥生後期にかけて、「諏訪屋ヶ台群主体・和田鷹山群少数」という傾向は変わらない（第77表a）。少数であるのは和田土俣橋北群など和田峠付近の産出も同様である。注目すべきは、諏訪屋ヶ台群と和田鷹山群の石器組成の違いで、諏訪屋ヶ台群には石鎌等のツールのほかに、原石や石核（残核）が多数伴う。対比的に、和田鷹山群は、ツールのうち凹基鎌・平基鎌等の無茎鎌に偏り、原石はわずか1点、石核については現段階では確認すらされていない。

このデータに基づき、検討課題1を考えると、和田鷹山群が凹基鎌・平基鎌等の無茎鎌に強く結びつくという実態があり、そして長野県域においては、無茎鎌の出土が縄文後期以前に顕著であるという点から、私は和田鷹山群の無茎鎌は縄文時代後期以前に帰属するものであると推定し、後家山遺跡等から弥生時代の中期・後期集落から出土する和田鷹山群の無茎鎌は縄文時代後期以前のものであると考える。

では、検討課題2に移ろう。縄文時代のなかでも和田鷹山群の無茎鎌の時期をさらに限定すれば、第77表cに示されたように、縄文前期末および中期に該当する三岳村小島遺跡（木曾、広田ほか2003）や朝日村熊久保遺跡（松本、樋口・小口・上條ほか2003）では和田鷹山群の無茎鎌は出土せず、中期後葉の唐草文系土器から後期初頭の柵名寺式段階の木曾福島町板敷野遺跡（木曾、費田ほか2003）で凹基鎌が1点出土する。つまり、和田鷹山群の石器は現段階では過っても縄文後期の範囲に概ね収まる。鷹山遺跡群の1号採掘跡の時期は縄文後期中葉（加曾利B1式、安藤・宮本ほか1999）であり、多少の時期幅は存在するものの、鷹山遺跡群と分布例の遺跡の時期はほぼ一致する。

次に、第77表b・cが示すように、縄文前期から弥生後期にかけて木曾・松本・佐久・長野の長野県各地に広域に流通するのは今とこの諏訪屋ヶ台群の原石および石核であり、和田鷹山群の原石等の流通はほとんど確認できない（注1）。この点を詳細に検討するためには、今後多くの遺跡のデータを分析・吟味する必要があるため、今後の報告事例を待つことにしたい。

② 下呂石製有茎鎌について

さて、西一本柳のIII次調査で出土した有茎鎌のなかに下呂石製有茎鎌が出土しており（写真8・9）、長野県内のある有茎鎌を評価する上で必要な有茎鎌であるので、ここで触れておきたい。現在まで、下呂石製有茎鎌は上伊那郡箕輪町の箕輪遺跡（市川2002など）の他に、長野市松原遺跡で6点（町田勝則2000aなど）、飯田市河川遺跡群で1点（佐々木・山下1968）と分布状態は散発的であるが、長野県内各地で下呂石製有茎鎌の出土が確認されている（馬場2003b）。西一本柳の事例は久次地域の初例であり、分布が長野県内一帯に広がっていることが改めて確認できる重要な事例である。

西一本柳遺跡出土の特徴は、第113図に示した鎌身デザイン「b型、茎デザインc型」に相当し、長野市松原遺跡の黒曜石製有茎鎌の多数に見られる特徴と一致する。長野県内の黒曜石製有茎鎌にはない鎌身デザインVc型は栗林式分布圏の内部に入るとつれて数が少なくなる傾向にあり、松原遺跡の6点の中に1点確認できる。

長野県内において、いまだに下呂石製有茎鎌の素材を剥離した石核や剥片がまとまって出土した例がない以上、特定の場所による製作が推定される。現在、下呂石製有茎鎌のうちVc型の鎌身デザインに限っては、従来の長野県内の有茎鎌の系統関係にないデザインであるため、下呂石の産出地に程近く下呂石製長身有茎鎌未成品の出土する下高遺跡等で製作されている可能性が高いと推定する（馬場2003b）。

磨製石鏃（第114図・第115図、写真10～27）

西一本柳遺跡X次調査から出土した磨製石鏃の評価にあたって、大きく二つの問題点をまず提示しておきたい。一つは磨製石鏃の製作技術および製作工程の内容についてであり、もう一つは磨製石鏃のデザインについての問題である。

まず、磨製石鏃の製作技術および工程について検討したい。以前、飯田市伊川遺跡群の報告のなかで桜井弘人氏は磨製石鏃を粗削・剥離調整・研磨・穿孔の4工程に分類した（桜井1986）。研磨には「片面研磨・両面研磨・側面研磨・刃付け」の4種類があることを指摘する。桜井氏の提示する工程で西一本柳遺跡も基本的に製作が行われているが、伊川遺跡群には認められない技術や新たに明らかとなった工程も存在するので、その点に着眼しつつ説明する。

まず西一本柳遺跡の基本的な製作工程として、1. 素材準備工程-2. 素材分割工程-3. 剥離加工工程-4. 研磨加工工程-5. 挟り部研磨加工工程-6. 穿孔工程の6工程を設定し、それぞれ第一工程などと呼ぶことにする。第一工程の素材獲得工程とは、磨製石鏃の素材剥片をつくる母体となるブランク（加工された素材）段階である。第二工程の素材分割工程とは、ブランクから磨製石鏃の直接素材となる剥片をつくりだす工程で、折り取り加工や擦切加工で分割される。第三工程の剥離加工工程は素材の余分な箇所を押し剥離等で調整する工程、第四工程の研磨加工は表裏・側面の厚みを整える工程で刃付けの加工もここに入る。第五工程の挟り部研磨工程とは、研磨加工は基部の挟り部に研磨が及んだ段階である。第六工程の穿孔工程は穿孔を行う工程である。

以上の6工程で西一本柳遺跡の基本的な工程作業であるが、この工程は次に説明するように、「I 素材の準備作業」、II 磨製石鏃用素材の分割作業」、III 二次加工と仕上げ作業」の大きく二つの作業段取りで行われていることが重要である。I・II・IIIのそれぞれで、素材の形状に応じ、加えられる加工の種類で違いがあるものの、このI・II・IIIの枠組みは西一本柳遺跡の磨製石鏃製作技法の構造として存在する。

【I 素材の準備作業】

第一工程 素材準備工程（第114図-1・3・5～7）

この工程では、磨製石鏃の直接素材となる剥片は剥離されず、ブランクとなる素材を剥離することが行われる。したがって、6・7のように長方形の大形の剥片がまずこの段階で剥離されることになる。1の裏面上部には複数回のハンマー打撃痕が残っており、この石器がブランクの素材となる母体であることを示す好例である。

ところで、直方体の剥片6・7のような剥片を作り出す方法として興味深い痕跡をもつ石器がある。それは3（写真10・11）であり、先端3mm程度の尖った工具を節理と節理の境界に挿し込み打撃して二つに分割しようと試みている剥片である。結局分割できなかった剥片であるが、写真10の上部が白く潰れているのはこの打撃を繰り返し行った結果である。このように素材獲得工程における打撃痕が5（写真12）や1にも認められた。

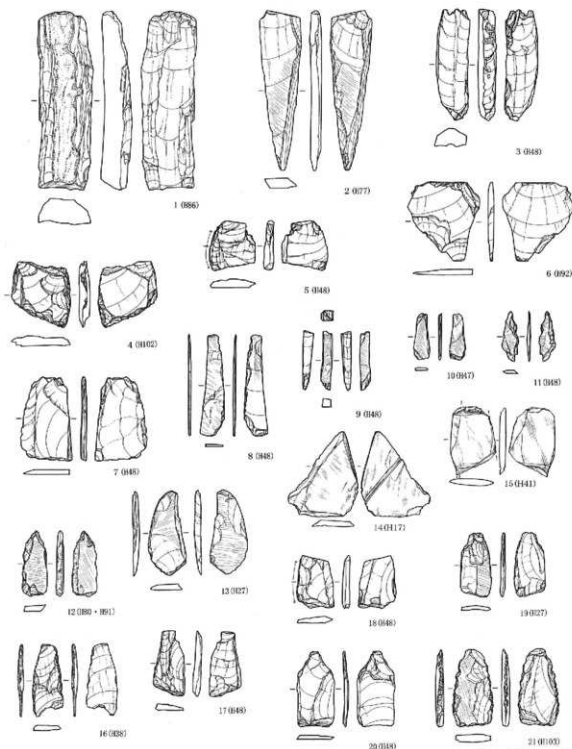
【II 磨製石鏃用素材の分割作業】

第二工程 素材分割工程（第114-2・4・8～15）

まず、素材分割工程を検討するにあたり研磨加工の存在がポイントとなる。西一本柳遺跡の場合、研磨加工は①等辺三角形の磨製石鏃のかたちを仕上げるための器体・挟り部に加えられる研磨、と②磨製石鏃用の素材剥片を分割する前の研磨、の二種類が認められる。つまり①は等辺三角形形状にかたちを整える二次加工技術として、②は素材を分割する直前の段階のブランク整形技術として存在しており、報告書による取り②の研磨加工は伊川遺跡群に認められない。実例を挙げると、2・8（写真13）・9（写真14）・10・13はブランク整形の技術としての研磨加工の例であり、これらは直方体状の素材剥片6・7に対し研磨を加え、折り取る、擦切など加工して分割した結果生じた剥片に相当する。

なお、ここで注目すべきは、後述する第四工程の研磨痕跡に比べ、一本一本の線が深く、そして太いことが挙げられ（写真13・写真14）、その違いは明瞭である（写真26・写真27）。第二工程の素材分割工程で使用されている砥石は「荒砥」に相当することが推定されるが、一方で第四工程の研磨加工工程の砥石は「仕上げ砥」に相当する砥石と推定される。西一本柳遺跡から実際に出土した砥石には、弥生時代に一般的な砂岩製の「荒砥」しか確認できないが、「仕上げ砥」に相当するものが存在しないか、今後追究すべき課題である。

ところで先に触れた、分割に擦切が用いられることであるが、擦切加工の前に、14（写真17）のように先立って研磨加工が行われる場合と、4（写真15）のように直接擦切加工に入るもの二つの方法が認められる。また分割の形状も、14（写真17）のように扇形に分割する場合と、15（写真18）のように長方形に分割する二つの方法が認められる。素材剥片段階におい



第114図 磨製石器 実測図(1)

0 1 2 3 cm



写真10(第114図-3) H48



写真11(第114図-3) H48



写真12(第114図-5) H48

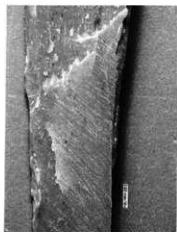


写真13(第114図-8) H48



写真14(第114図-9) H48



写真15(第114図-4) H102

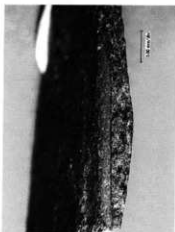


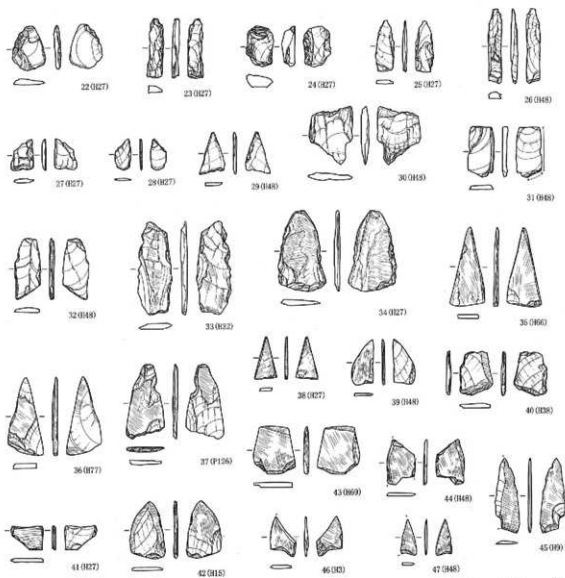
写真16(第115図-35) H66



写真17(第114図-14) H17



写真18(第114図-15) H41



第116图 磨製石器 实测图(2)

でも施溝は31(写真16)のように明瞭である。磨製石鏃の素材分割に適切加工が認められる長野県内例は、西一本柳遺跡の例を除いて今のところ確認されていない。

【III 二次加工と仕上げ作業】

第三工程 剥離加工工程(第114図-16~21, 第115図-22~30)

16(写真20)や21(写真19)に代表されるように、素材剥片の周縁の調整は押圧剥離で行われる。特徴としては、石材に片岩系を使用していることも影響して、粗雑な剥離痕という印象をまず受けるという点と、21(写真19)のように押圧具の先端が細い工具であるという特徴がある。実際どのように工具であるかは現段階では不明であるが、先の3(写真10・11)と同様に、先端の尖る工具を磨製石鏃製作に使用することが推定される。

また、この剥離加工工程は場合によっては加工されないこともあり、補助的な加工である点が重要である。35・36・38・39には押圧剥離痕が認められず、素材分割工程で得られた剥片から直接研磨加工に進んでいる実例である。

第四工程 研磨加工工程(第115図-31~44)

研磨加工工程については桜井弘人氏の指摘のとおり、33・34のように表裏から研磨加工が行われる例と、31(写真21)・32(写真22)のように側面から研磨加工が行われている例が認められる。

これら表・側・裏の研磨加工に接続するものとして40~44が挙げられ、43の上辺には先端部の刃付け前段階の器体の厚みを整える加工が認められ、41は両側辺の刃付け加工、さらに一段階進んで42(写真24)のように先端部の刃付け段階というように進行する。このように器体を薄くしつつ、刃付けのための研磨加工が行われているものが後半段階の研磨加工に該当する。

なお、先の素材分割工程の箇所でも触れたが、本工程の研磨線状痕は「仕上げ砥」に相当すると推定される。砥石の使い分けが、「II 磨製石鏃用素材の分割作業」と「III 二次加工と仕上げ作業」で有意な関係として推定できる。

第五工程 挟り部研磨加工(第115図-45・46)

前段階の研磨加工工程完了後に、挟り部を研磨で形成する加工が行われる。挟り部の形成には2つの方法があり、挟り部の端面が向取りされた状態の第32図-9(写真26)の例と、表裏とも傾斜をつけて挟り部が形成され、挟り部の表裏の境界が一本線となる45(写真23)や第58図-16(写真27)の例がある。

第六工程 穿孔工程(第115図-47)

47は穿孔途中段階で破損した実例である。向側穿孔で、穿孔具はやや先端の尖る工具である(写真25)。写真26・写真27の実例のように、穿孔径はおおよそ2mm~3mm程度である。

以上のように、西一本柳遺跡では、素材分割工程に適切加工や研磨加工の採用など、特徴的な加工が認められた。また第二工程の素材分割工程と第四工程の研磨加工工程とでは、研磨用砥石の表面の粗さが異なることが研磨線状痕の痕跡から明らかとなり、工程で使用される道具立てに違いがあることが推定される。

擦切石器(写真28~30)

横長剥片の太端辺に横方向の線状痕と磨耗痕の認められる石器であり、磨製石鏃の素材分割のための施溝用道具と推定される石器である。

刃部の横幅は2mm程度である。西一本柳X次調査では10点の擦切石器が出土し、石材は頁岩・安山岩・ホルンフェルス・砂岩と多様な石材が使用されている。素材選択の特徴と刃部の位置は、横長剥片で末端に鋭角な縁辺をもつことである。二次加工には第16図-63・64のように刃部の反対側辺に直接打撃による連続的な潰し痕、そしてH10(図版26.54)・第102図-6のように大きく一撃で挟りを施す加工の二種類がある。いずれも擦切石器としての機能を発揮するための二次加工と推定される。擦切石器の使用対象となる磨製石鏃は、第114図-4・14・15・第115図-35(写真15~18)のような施溝による素材分割を行うものであり、溝幅が擦切石器とほぼ合致する。

なお、刃部磨耗痕の刃縁からの進入度は3~5mm程度(写真28・29)が一般的であるが、一点だけ10mm程度(写真30)とかなり深く磨耗痕が認められるものがある。10mmと深く施溝するものは磨製石鏃の施溝でも認められないため、この石器



写真19(第114図-21) H 103



写真20(第114図-16) H 38

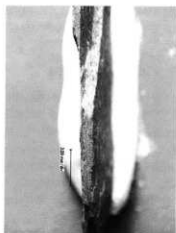


写真21(第115図-31) H 48



写真22(第115図-32) H 48



写真23(第115図-45) H 9



写真24(第115図-42) H 15

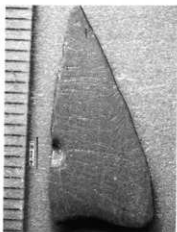


写真25(第115図-47) H 48



写真26(第32図-9) H 47



写真27(第58図-16) H 77

に限っては他の擦切石器と対象が異なる可能性がある。

太形蛤刃石斧・扁平片刃石斧

X次調査で出土した太形蛤刃石斧は5点で、全て緑色岩類(町田1999a)の変質輝緑岩製である。また、太形蛤刃石斧断片を石籠に転用したものが4点で、同じく全て変質輝緑岩製である。

扁平片刃石斧完成品は断片を含め、変質輝緑岩製1点、緑色岩製1点、蛇紋岩製3点、砂質頁岩1点、緑色岩類製1点、砂岩製1点出土する。未成品は在地産の蛇紋岩製で1点、そして石斧未成品と推定される両面加工T石器1点が出土し、石材は在地産の蛇紋岩製である。

太形蛤刃石斧は長野盆地の榎田遺跡付近で製作されたものと推定される。石材の色調・質は榎田・松原両遺跡(町田1999・2000b)と合致し、また器体の丁寧な研磨整形、そして石斧基端から器体中央方向に向けての基部の整えるための剝離加工痕(第14図-57)、また幅・厚みの法量いずれをとっても「榎田型太形蛤刃石斧」(馬場2003a)に適合する属性である。法量についての統計分析結果を第116図・第117図に示した。完成品・破損品のうち、第14図-57・第23図-42は最大長が16cm前後で、榎田型太形蛤刃石斧の完成品仕上がり標準サイズ18cm前後よりやや短い。そして実際の石斧の観察からも研ぎ直しなどのメンテナンスが行われた痕跡が確認できる。これは使用が繰り返され、そのたび刃部のメンテナンスを繰り返すうちに短くなったものと推定することができる。

さて、この太形蛤刃石斧の短さについてはもう一つ重要な問題点がある。北信・中信の主要な遺跡の太形蛤刃石斧の法量を比較すると、長野市松原遺跡出土の太形蛤刃石斧のみが異様に短いことが見出せる(第116図)。松原の太形蛤刃石斧には形態的に明らかに研ぎ直しが繰り返し行われたものが多数見受けられる(馬場2003a図3・馬場2004a第116図)。松原遺跡のものに比べると西一本柳遺跡から出土する太形蛤刃石斧はいまだ長さを保っている方である。この松原遺跡とそれ以外の遺跡の差異の背景には何があるのか、長野盆地における松原系落の性格・機能・意義に関わってくる材料となると考える。

なお、本調査で出土した太形蛤刃石斧と、その破損品が転用された石鏃全て変質輝緑岩製である。この傾向は佐久平のみならず少なくとも栗林式分布圏に共通する現象である。筆者は根々井芝宮遺跡・川原端遺跡・北西の久保遺跡等の佐久平弥生系集落遺跡の太形蛤刃石斧を実見していないが、写真で確認する限り、多くの割で佐久平にも変質輝緑岩製の太形蛤刃石斧が出土しているようである。

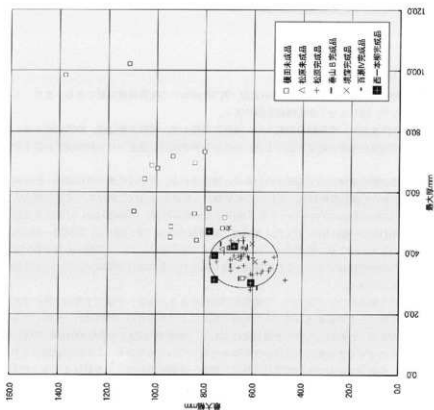
なお、小形の扁平片刃石斧2点と柱状片刃石斧が1点出土しており、石材は全て蛇紋岩である。H7-45(巻頭図版5)は当初基部であった部分を刃部に作り直している。第27図-13とH65-5(巻頭図版5)にはうっすらとではあるが使用による線状痕が認められる。

管玉・勾玉(写真31~32)

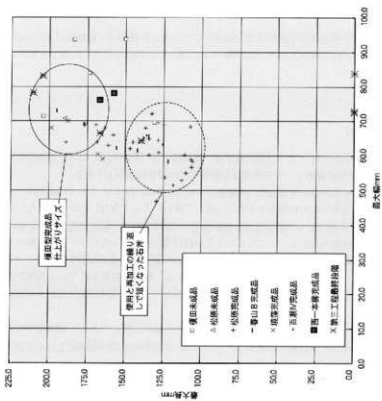
緑色凝灰岩製管玉1点(第63図-11)、ヒスイ製勾玉1点(第35図-16)が出土し、ヒスイ製は穿孔途中の未成品である(写真31)。管玉が箱清水期のH88住居跡出土、勾玉未成品が栗林期のH52住居跡出土である。

ヒスイ製勾玉は糸魚川市教育委員会の木島勉氏の肉眼観察の結果、糸魚川産のヒスイでほぼ間違いのないことを指摘いただいた。そしてこのような穿孔途中のものが流通することは決して珍しいことできないとのご教示もいただいた。同市の後家山遺跡からも緑色凝灰岩製管玉6点、ヒスイ製勾玉が1点が出土(富沢2004)、流通の実態が伺える。穿孔自体は製作地現地なのかあるいは佐久平の集落遺跡内なのかについて云々できる材料は現在揃っていないが、今後、弥生時代のヒスイ製勾玉の流通を考える上で西一本柳・後家山遺跡の例とも重要であろう。なお、新潟県上越市の吹上遺跡で、ヒスイ製勾玉の製作が報告されており(小島・菅澤ほか2002)、栗林式も集落より多数出土する。現在、報告されている遺跡に限定すれば、ヒスイ製勾玉の製作痕跡が明確なのは吹上遺跡のみであり、今後、長野県域のヒスイ製勾玉は上越市方面との対比も課題となってくるだろう。

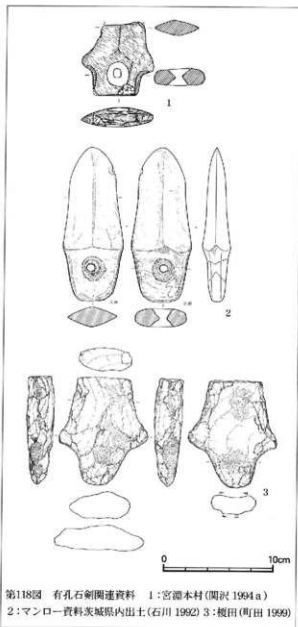
さて緑色凝灰岩製管玉は最大長13.6mm、最大径2.9mmで、やや細身の管玉である。同時期では長野市松原遺跡や春山B遺跡等で出土する。長野盆地出土の緑色凝灰岩製管玉については、形態的な特徴の把握はもとより流通経路についても研究は進んでおらず、今後の課題である。



第117図 太形蛤 石芥幅厚比



第116図 太形蛤 石芥長幅比



第118図 有孔石剣関連資料 1:宮園本村(関沢1994a)
2:マンロー資料茨城県内出土(石川1992) 3:榎田(町田1999)

有孔石剣(写真33a～c)

写真33a～cの有孔石剣は西一本柳III・IV次調査のH44住居跡から出土し、栗林式でも石川編年2式新段階に相当する器形と文様モチーフをもつ土器群が伴う。同住居跡からは他に有茎鏃・磨製刃鏃・打製刃器類・打製石斧が出土する。

この有孔石剣の重要な特徴は、写真33bにあるように、左側辺部は敲打で面が形成され、右側辺は写真33cにあるように研磨で器体を薄くし、研ぎ出しがなされていることである。この左右の異なる加工は左右非対称形を生み出す結果ともなり、写真33bの点線の中軸線を境として、やや右反りになっていることがわかる。

この左右非対称形の重要性は学史的に有孔石剣の系譜を論じるうえで欠かせない材料である。かつて石川日出志氏はマンローコレクションの資料に触れる中で、坪井清足氏の「石戈原型説」(坪井1900)を支持し、長野県松本市の宮園本村表採例(第118図-1)は、間が強く張り出し、茎部が明瞭、そして茎下部のラインと間の突出が平行しない点などを指摘しながら、

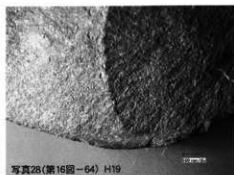


写真28(第16图-64) H19



写真28撮影箇所



写真31(第35图-16) H52

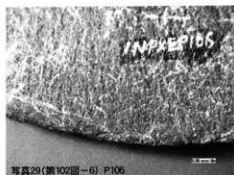


写真29(第102图-6) P106



写真29撮影箇所

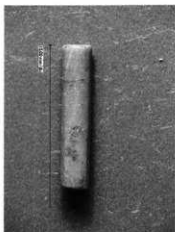


写真32(第63图-11) H88

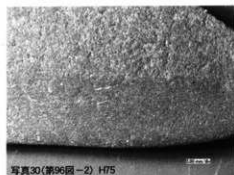


写真30(第96图-2) H75



写真30撮影箇所

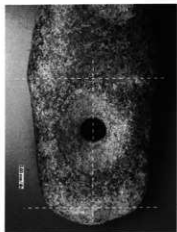


写真33 a

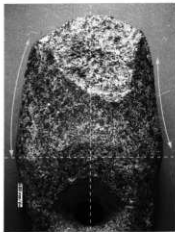


写真33 b

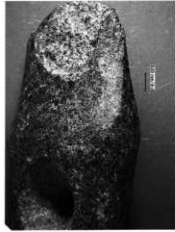


写真33 c

戈の形態をよくとどめている」有孔石剣と指摘する。この資料の石材は岡森岩と報告されている（関沢1991）。

次に、石川氏が提示したマンロー資料の有孔石剣（第118図-2）は茨城県内発見資料と伝えられるものであり、石材は輝緑岩で「くすんだ濃緑色」と報告されている（石川1992）である。この有孔石剣は宮淵本村表採例とは対照的に身部が左右対称形で、鬮は左右にやや張り出した突端部分にしかもはやとどめていない。そして鬮の痕跡に相当する両側辺の突出部と基部下辺はほぼ並行する。このような点から、本例は宮淵本村例から形態変化がより進んだ一例と理解できよう。

次に、未成品の例であるが、第118図-3の榎田遺跡出土例について見てみたい。剥離で全体を整形したのち、基部部分とその両側辺を中心に敲打整形が行われる。茎中央の敲打痕は穿孔準備のための敲打整形である。完成品ではないので鋸の有無は不明であるが、先の宮淵本村表採例と同様、茎下部のラインと鬮の突出部が平行しない点、基部が左右非対称形である点で、宮淵本村表採例と同型式に属する。

では、これら前例と比べ、西一本柳遺跡出土の有孔石剣はどのように位置づけられるのであろうか。結論から言うと西一本柳遺跡出土の有孔石剣は、系統的に、宮淵本村表採例とマンロー資料のちょうど中間位置に相当する資料と考える。石刃の鬮部が側辺の突出部にしか痕跡をとどめていない点、基部下辺と側辺の突出部のラインが並行する点は、マンロー資料と同じである。ただ、一点異なるのは、身部の左右非対称形である。左側辺は敲打で面形成、右側辺は研磨で器体を薄くし研ぎ出す、という明確な加工の違いは左右非対称形につながる行為である。これは第118図-1の宮淵本村表採例の身部の左右非対称形の系譜を直接引く特徴と理解することができる。したがって、冒頭にも言及したように、石刃が変形する過程における宮淵本村表採例とマンロー資料の中間的な位置に置くことの出来る有孔石剣であると考えることができよう。

なお、もう一点、西一本柳遺跡で出土したことで重要な点は、本例が長野県内発掘出土品として確認された有孔石剣の数少ない一例であるという点である。石刃は既に松原遺跡等でも出土が確認されているが、宮淵本村例は表採品であり（関沢1991a）、石川日出志氏が論文の中で触れた長野県内出土の有孔石剣の大半は表採品である（石川1992）。西一本柳遺跡の発掘調査で完成品が出土し、さらに長野市榎田遺跡の石川欄半栗林2式新段階の住居跡から第118図-3の未成品が出土したことからも、中期栗林期の製作はほぼ確実といえよう。

打製石斧（打製石鍬）

X次調査では合計9点の打製石斧が出土し、そのうち板状の輝石安山岩製が7点である。中期後半栗林期と後期箱清水期の住居跡から出土する。

第13図-20の刃部断片からは、刃縁が摩耗していることが確認できる。第77図-6の打製石斧は全体形が「く」の字状に屈曲するデザインをもち、主体となる長方形のデザインをもつ打製石斧とは異なる装着が考えられるため（池谷・馬場2003）、注意が必要である。第109図-42は出土した打製石斧のなかでも大形の部類に入る基部断片で、側辺の敲打整形が明瞭である。推定復原全長は15cm前後になろうか。

これら輝石安山岩製打製石斧は、後家山遺跡のM1号溝から箱清水式をとともに出し、弥生後期段階にまで存続することが佐久平においては確認されている（富沢2004）。なお、輝石安山岩製で20cm近くの大型品の破片が弥生前期後半、氷江式段階の十坑から出土する（森泉2004b・馬場2004b）。栗林期の集落出土例は、確実な共存事例が抑えられないため、不明である。

スクレイパー・使用痕のある剥片・二次加工のある剥片

本稿では、スクレイパーを「一つの辺に、人為的な同一剥離面が連続的に認められ、なおかつ刃部に相当するエッジが形成されている」と定義し、使用痕のある剥片を「人為的な加工により生じた剥離面ではなく、エッジをもつ辺に微細な剥離がうろこ状に重なる」と定義し、二次加工のある剥片を「人為的な剥離が、刃部以外の部分に認められるもの」と定義する。

X次調査では、スクレイパーは5点（第76図-41・第41図-23・第98図-11・試掘8・40）、使用痕のある剥片は1点（第36図-11）、二次加工のある剥片は5点（第26図-54と55・第47図-12・第108-9・Bう6）である。第26図-54と第108図-9は二次加工により折り取られた痕跡を残す。（巻頭図版六を参照）

砥石・石皿

砥石と石皿をここでは一括して説明するが、面の状態を「比較的ざらついた湾曲する面（砥面と定義）をもち、縁状痕を伴うことがある」と、「比較的平坦で、光沢を伴うこともある磨り面（磨面と定義）」で区分すると、X次調査から出土したこれら面をもつ石器は以下のように細分される。

- 1類・大形で、扁平な大河原石を素材とし、一面に平坦な磨面をもつ。アブライト製である。用途は不明だが、顔料のすり潰し等の目的にも使用された石器と推定される。第69図-5、第76図-42の2点が該当する。いわゆる従来の石皿に該当する。
- 2類・全体形は直方体状の形状をもち、なおかつ6面に砥面をもち、縁状痕も部分的に認められる。凝灰岩製である。奈良・平安に見られる典型的な砥石の例で、金属工具の仕上げ砥として利用が推定される。H78・89-8・9、M15、W検、試83出土の6点が該当する。いわゆる従来の砥石に該当する。
- 3類・大形で、素材の形状を留めかつ直方体状の形態をもち、2面あるいは3面に砥面が認められ、縁状痕も部分的に認められる。そして磨面は2類に比べ大きく湾曲する。砂岩製である。弥生時代に一般的に見られる砥石であり、H78・89-10の縁状痕は先の擦切石器の刃部幅にほぼ合致する。刃部のメンテナンス用であろうか。H78・79-10、第41図-22の2点が該当する。
- 4類・小形で、扁平な河原礫を素材とし、部分的に磨面をもつ。砂岩製である。用途は不明である。第12図-34、第27図-12、H41-37、試掘出土の4点が該当する。
- 5類・小形で、表裏側面に砥面が認められるが、縁辺の使用摩耗が最も進展し、断面が菱形となる。砂岩製が主体である。用途は不明であるが、磨製石織用の砥石とならぬ関係があるのではないかと推定する。X次調査では数量的にまとまって出土する。磨製石織製作遺跡との関連性を迫るのが今後の課題である。H2-9、第12図-33、第14図-60、第35図-15、第51図-54、第58図-21、第58図-20、第51図-54、W1-5検出土の7点が該当する。
※図に示してない遺物は図版に写真のみ掲載してある。

2. X次調査出土石器の時期についての検討

①黒曜石製石器の時期について

第73表の黒曜石製石器群の遺構別組成表を参照しながら検討してみたい。今回のX次調査において、栗林期の住居跡はM8清東側の調査区東側に偏る傾向にある。X次調査のM12溝は北東側に行くともVIII次・IX次のM6溝（森泉2003・2004）に繋がっており、南東側に行くともIII・IV次のM8溝（小林1999）に繋がるものと推定される（本報告第101図参照）。V次調査のM5（森泉2001）は、連続的には繋がらないものの、溝の形状の類似点より、前者の溝に連なるであろう。

甘藷にも触れたが、過去の調査を振り返ると栗林期の住居跡はこれら溝の内側に集中して検出する傾向にあるため、この溝はいわゆる「環濠」機能をもつ溝であると考えられる（森泉2003）。

今回のX次調査のM12溝東側の区域が環濠内に相当するが、この区域の栗林期住居跡から多数の黒曜石製剥片・石核・原石が出土する。区域のなかでも多数の黒曜石製石器群を出土したH17～H19・H21～H25の区域は他時期の住居跡との重複がほとんど認められない栗林期住居跡である。

この住居跡区域とこれ以外を比較した場合、第73表からH17～H19・H21～H25の区域が黒曜石製石器群を最も出土する区域であることを確認でき、一方、栗林期住居跡の少ない区域では、黒曜石製石器群の出土が少ないこと、この二点を黒曜石製石器群が栗林期に帰属する遺物である可能性の高低の材料とする。同市後家山遺跡の弥生後期新清水期出土の遺構からの黒曜石製石器群の出土は少なく、やはり中期栗林期の遺構から多く出土することが判明している上に、溝内の層位的な出土状態の裏付けもあることから黒曜石製石器群は中期栗林期に帰属するものとの所見を得ている（富沢2004・馬場2004c）。したがって、現段階の遺物の共存関係等からみて、黒曜石製石器群の大半は、弥生中期栗林期に帰属するものであると判断できる。

②磨製石織の時期

弥生後期の住居跡であるH27・H34・H48・H177の4棟より剥片・製片等合わせ20～80点近くの出上がある（第74表）。H1

48の住居跡床面からは剥片・製片のほかに未成品が多数出土する。弥生後期段階での磨製石鏃製作は疑いようもない。

問題は中期粟林期に製作されているか否かである。弥生中期・後期の複合遺跡以外でこれを確認してみると、佐久市内で既に調査された遺跡で磨製石鏃の製作跡が明瞭であるのは久瀬遺跡の弥生後期住居跡H1・H17・H18で、栗林式が出土しておらず弥生後期単純の遺跡である（上原2002）。後期の住居跡遺構が多く検出した後家山遺跡では、未成品2点、完成品1点が出土する。一方、弥生中期粟林期では、対照的に完成品の出土が確認できるものの、この未成品を作る製作跡となると確認ができない。石川橋年栗林2式新段階相当の佐久市五里田遺跡では、栗林期の住居跡が3棟検出しているのにもかかわらず、完成品の磨製石鏃が1点出土しているのみで、黒曜石製有茎鏃が石鏃の大多数を占める。また同市川原端遺跡も同様に、栗林期の住居跡13棟の検出に対し、磨製石鏃の出土は1点である。

このように栗林期主体の遺跡を点検すると、磨製石鏃の出土は極めて少ない実態が判明する。西一本柳遺跡のX次調査分の弥生中期の住居跡H1から確かに磨製石鏃未成品が出土しているが、H48住居跡のように住居跡床面からは検出されていない。また、H27・H34・H48・H77のように剥片・製片がまとめて出土することもない。

以上、住居跡床面からの出土確認できない点と、そして同市の他遺跡の栗林期集落で磨製石鏃の製作痕跡が認められない実態を考慮すれば、佐久平において栗林期に磨製石鏃が製作されていたという推定は再検討を要する。この問題は事例を増やし検討する課題であるので、現段階では栗林期の製作を否定する材料が多いことだけを言及するに留めておきたい。

3. まとめ

以上の各検討のなかで明らかになったことを以下に記述し、まとめにかえることにする。

1. 本調査および過去の調査で出土した黒曜石の産地分析の結果、有茎鏃が諏訪系ヶ谷群に、凹基鏃・平基鏃が和田鹿山群に結びつく傾向が認められた。これは同市後家山遺跡と同様の傾向である。また、和田鹿山群に有茎鏃が2点初めて認められた。凹基鏃・平基鏃は長野県内において縄文後期以前に顕著である点から、西一本柳遺跡や後家山遺跡等の弥生時代集落出土の凹基鏃・平基鏃は、縄文時代後期以前の所産であると推定する。なお、縄文時代から弥生時代にかけての鹿山産黒曜石および原産地遺跡の利用の姿の復元には、和田鹿山群の分布や時期幅を今後もデータから抑える必要がある。また下呂石製有茎鏃の調査で1点出土していることが確認された。下呂石製石鏃や素材剥片が出土していないため、搬入品であると考えられる。下呂石製有茎鏃は長野県内各地で散在しており、伊勢湾から東美濃・飛騨地域との交流を示す材料となろう。
2. 磨製石鏃の一連の製作工程品が出土した。その製作工程のなかで、第二工程の素材分割技術に擦切単独あるいは擦切と研磨加工が合わさって直接磨製石鏃の素材となる剥片を分割する方法が認められた。そして西一本柳遺跡の磨製石鏃製作には、I～IIIの作業段取りに象徴される磨製石鏃製作技法の構造が存在する一方で、技法を構成する各工程において、剥離加工工程が存在するものもないものがあり、実施される工程内容に変異があることも注目すべきことである。
3. 西一本柳遺跡の磨製石鏃の素材分割には擦切加工が認められ、その擦切具としての擦切石器が出土している。擦切石器は不定形な横長剥片を素材とし、刃部には横方向の線状痕と磨耗痕が認められ、刃部の対辺には対置し加工やノッチ状の剥離がある。この加工は保持や装着のためのものであろう。
4. 黒曜石製石器群の始属時期は弥生中期粟林期、磨製石鏃の始属時期は弥生後期踏清水期であることを、遺構出土状態や磨製石鏃製作跡と近隣の弥生集落の伴同関係をもとに推定した。
5. 太形蛤刃石斧は全て変質輝緑岩製で、「椀型太形蛤刃石斧」の特徴が認められる石斧である。未成品は認められず、全て長野盆地からの搬入品と考えられる。破損品は石鏃に転用されているものが多い。報告書写真に見る限り、佐久平の弥生集落には変質輝緑岩製の太形蛤刃石斧が多数出土しているため、今後型式学的な特徴を追究していく必要がある。
6. 過去の調査で出土した有孔石剣は、松本市宮淵木村表探の石戈の原型をよくとどめた有孔石剣と、マンロー資料のなかの茨城県内出土資料との系統関係において、中間的な位置に置かれる有孔石剣であることが判明した。
7. 西一本柳遺跡は佐久平の中期粟林期弥生集落のなかで、環濠をもつ集落であることを改めて確認した。集落の構造的な復原は今後の課題であるが、集落の性格も踏まえ、今後弥生石器を分析していく必要がある。

(馬場伸一郎)

(注1) 明治大学黒曜石研究センターの山科哲氏によると、この問題に対し次のような予測を立てている。ひとつは早蕨峠一帯の出土土器から想定できる、利用される原産地の時間的な違い。いわば産地推定分析例の少ない時期に和田鷹山群の頻度が高い、という可能性である。もうひとつは、黒曜石の流通ルートや流通するエリアの違いで、産地推定分析例の少ない、ある特定のエリアおよびそのエリアへのルート上の遺跡で、和田鷹山群の出現頻度が高いという可能性である。いずれにしても、産地推定分析例を増やすことが不可欠である。

引用文献（本文引用文献のみに限定した）

- 安森政雄・宮本淳一ほか1999『黒山遺跡群III』長門町教育委員会・黒山遺跡群調査団
池谷勲典・馬場伸一郎2003『弥生時代飯田盆地における打製石礫の用途について』『第6回中部弥生時代研究会発表要旨集』
石川日出志1992『N. G. マンロー資料中の「有孔石剣」と「石盾」』、『考古学雑誌』78, 1, 118-125頁
石川日出志2002『葉林式土器の形成過程』『長野県考古学会誌』99, 100, 54-80頁
市川隆之2002『箕輪遺跡の発掘について』『古蹟考古』No. 169, 長野県考古学会
上原学2002『久保保遺跡』佐久市埋蔵文化財調査報告書第97集, 佐久市教育委員会
小島幸雄・菅澤正史2002『吹上遺跡発掘調査概要報告書』上越市教育委員会
小林首芳1999『西一本柳遺跡III・IV』佐久市埋蔵文化財調査報告書第73集, 佐久市教育委員会
桜井弘人1986『磨製石礫』『包川遺跡群 遺物編』飯田市教育委員会, 81-87頁
佐々木宗和・山下誠一ほか1986『包川遺跡群』飯田市教育委員会
佐々木宗昭ほか1991『西一本柳遺跡I』佐久市埋蔵文化財調査報告書第34集, 佐久市教育委員会
岡沢聡1994『松本平東部における弥生時代の石製武器について』『中部高地の考古学』IV, 201-217頁
坪井清足1960『石器的な石剣』『角の生えた石斧』『図説世界文化史大系第20巻』角川書店, 155頁
富沢一明2004『後家山遺跡・東久保遺跡・宮田遺跡・III』佐久市埋蔵文化財調査報告書第121集, 555-568頁
長野県教育委員会1982『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書一茅野市その5-昭和52・53年度』
長野市教育委員会1988『宮崎遺跡』長野市の埋蔵文化財第28集
竹田明ほか2003『板敷野遺跡』木曾福島町教育委員会
馬場伸一郎2003a『榎田型磨製石斧の再検討』『埼玉考古』38, 埼玉考古学会, 103-117頁
馬場伸一郎2003b『石材・技法・石器の種類からみた長野の弥生時代石器』『第7回中部弥生時代研究会発表要旨集』, 33-42頁
馬場伸一郎2004a『弥生時代長野盆地における榎田型磨製石斧の生産と流通』『歴史学』120, 1-47頁
馬場伸一郎2004b『佐久市東五里山遺跡から出土した弥生前期石器群について』『東五里山遺跡』佐久市教育委員会, 34-40頁
馬場伸一郎2004c『後家山遺跡出土の弥生黒曜石製石器群の検討』『後家山遺跡・東久保遺跡・宮田遺跡I・III』佐久市埋蔵文化財調査報告書第121集, 555-568頁
樋口昇一1967『佐野』長野県考古学研究会報告書3
樋口昇一・小口英一郎・上條信彦ほか2003『熊久保遺跡第10次調査発掘報告書』朝日村教育委員会
広田和穂ほか2003『小島遺跡』三岳村教育委員会
町田勝則1999『第V章 第2節石器・土類・新銅器』『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書12 榎田遺跡第二分冊』長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書37
百瀬忠孝2002『下包遺跡』大桑村教育委員会・木曾広域連合
森泉かよ子2001『西一本柳V・VI・中長坂塚I・II・松の木I・II』佐久市埋蔵文化財調査報告書第91集
森泉かよ子2003『第V章総括』『西一本柳遺跡VIII』佐久市埋蔵文化財調査報告書第109集, 252-253頁, 佐久市教育委員会
森泉かよ子2004a『西一本柳遺跡IX』佐久市埋蔵文化財調査報告書第113集, 佐久市教育委員会
森泉かよ子ほか2004b『東五里山遺跡』佐久市埋蔵文化財調査報告書第117集, 佐久市教育委員会
山科哲ほか2003『黒山遺跡群VI』長門町教育委員会・黒山遺跡群調査団

第74表 震災石版の遺構別出土状況

品名	遺構番号	第1工程	地中埋設 第1工程	基礎第1工程	躯体第1工程	躯体分室工程 (部材敷付)	躯体分室工程 (埋設)	組立・組付	躯体分室工程 (埋設・プランク)	備 考
古礎埋設	H1							1		
扉瓦	H5		9					2		
礎瓦	H6							2		
高床中継	H8		1			1		2		
石版中継	H11							1		
高床中継	H12	1						2		
古礎中継	H13			1	1			1	1	
古礎中継	H14							1		
古礎埋設	H15		3							
石版中継	H17		4							
石版中継	H18		1				1	3	1	
石版中継	H19		1			1		2		開口部埋め塞材付。
古礎中継	H21			1	1			1		
石版中継	H24		1							
古礎中継	H25								1	
古礎埋設?	H26									
石版埋設	H27		6	4	1	1	1	6		
石版中継	H28		2	1				1		
古礎埋設	H30								1	
高床中継	H31		1	1						
平床	H32		2					3		
養生埋設	H34			1			1	24	1	
養生埋設?	H35									
平床	H37	1						3	1	
礎瓦	H38		3	1				1		
養生埋設	H39								1	
養生埋設	H40							1		
平床	H41		1					2		
石版中継	H44			1						
石版中継	H47					1				
養生埋設	H48	1		1	2	3		27	4	
扉瓦	H53				1			2		
礎瓦	H54							2		
養生埋設	H57					2		1		
古礎埋設	H58							1		
扉瓦	H63			1						
養生中継	H65			1						開口部埋設。
古礎埋設	H67			1				1		
礎瓦	H68			1						
石版中継	H69			1						
石版中継	H71							1		
平床	H72							1		
扉瓦	H74									
古礎埋設?	H75								1	
養生埋設	H77	1		1	4	14		41	1	
養生中継	H79			1						
養生埋設	H80							1		
礎瓦	H78	1								
養生埋設	H83					1		1		
礎瓦?	H85							1		
養生中継	H86			1				4	1	
石版埋設	H88					1		2		
石版中継	H90					2		1		
高床中継	H91							1		
古礎埋設	H95				2			3		
平床	H100								1	
扉瓦	H102								1	
扉瓦平床	H103			1						異型工あり。
平床	H103			1		1		1		
養生埋設	H106								1	
養生中継	3・4位			1						
礎瓦	5位			1						
養生埋設	13 有柱					1				
扉瓦平床	H2							2		
H2	H2								1	
古礎中継	H3		1							
平床	M10					1				
古礎埋設	F4							1		
PT26	PT26			1						
H22	H22				1					
H24	H24								1	
PT27上	PT27上			1	1	1		1	1	
礎瓦	礎瓦			1				1		
基礎	基礎			2			1	2	3	
合計		4	4	44	26	32	4	217	24	

単位:個

佐久市西一本柳遺跡 出土黒曜石産地推定結果

沼津工業高等専門学校 望月 明彦

分析法	エネルギー分散蛍光X線分析法(FDX)		
分析装置	セイコーインスツルメンツ桌上型蛍光X線分析計 SEA-2110L		
分析条件	管電圧	50kV	管電流 自動設定
	測定時間	240sec	雰囲気 真空
	照射径	10mm	
	検出器	Si(Li)	半導体検出器
測定元素	Al(アルミニウム)、Si(ケイ素)、K(カリウム)、Ca(カルシウム)、Ti(チタン)、Mn(マンガン)、Fe(鉄)、Rb(ルビジウム)、Sr(ストロンチウム)、Y(イットリウム)、Zr(ジルコニウム)		
分析法の特徴	長所	非破壊分析 多元素同時分析 前処理不要 → 洗浄は必要 迅速分析 操作が簡単 微量分析は不得意	
	短所	表面分析 → 試料を破壊せずに測定するため、分析結果は表面を測定したことになる。 → そのため、汚れた試料、酸化した試料は汚れ、風化を測定したことになり、正確でない、類似した組成の標準試料が必要	
試料の洗浄	5分間（汚れがひどい場合は15分間）超音波洗浄器で洗浄、さらに汚れを拭き取ってから測定。 試料は破壊せずに分析できますが、以下のような試料は分析できません。		

測定不可能な試料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風化した試料 → 測ることが可能ならば、できます。 ・ 汚れがとれない試料 → 測ることが可能ならば、できます。 ・ 厚さが1mm以下の試料 ・ 大きさが5mm以下の試料 ・ 遺物番号などの書き込みで測定できる面がない試料
----------	---

産地推定可能な石材	<p>上記の条件をクリアしていれば、以下の分析ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は黒曜石（日本全国）と下呂石 ・ ガラス質安山岩は分類可能。 <p>ただし、原石データが不足しているため、産地推定は不可能。現在、原石データを収集中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の石材（特に増積岩）は分類不可能。
-----------	--

産地推定法	<p>得られた蛍光X線スペクトル強度を元素記号で表すとする。 二つの方法とも以下の指標を用いる。</p>
-------	--

指標	$\text{Sum} = \text{Rb} + \text{Sr} + \text{Y} + \text{Zr}$ $\text{Rb分率} = \text{Rb} / \text{Sum}$ $\text{Sr分率} = \text{Sr} / \text{Sum}$ $\text{Zr分率} = \text{Zr} / \text{Sum}$ $\text{Mn} * 100 / \text{Fe}$ $\log(\text{Fe} / \text{K})$
----	---

産地のシートに上げた黒曜石産地から、産地原石を採集し、測定する。測定結果から上記の指標を算出する。以上から、産地原石に関するデータベースを作成する。下記の二つの方法で産地推定を行う。

①判別図法（判別図のシート参照）

用いる指標	図1 横軸：Rb分率、縦軸：Mn/Fe
時長	図2 横軸：Sr分率、縦軸：log(Fe/K)
推定方法	<p>簡単な計算であり、産地でも作成可能 推定に確認でき、分かりやすい。 遺跡出土試料を蛍光X線分析し、指標を計算。 指標を図にプロットする。 重なった原石産地を推定結果とする。</p>

②判別分析（推定結果表参照）

用いる指標	算出された指標全て
時長	各産地との類似度を距離で算出
推定方法	<p>既知の産地のどれに類似しているかを判別する方法である。 → 未知の産地の判別はできない。 判別図法では遺跡出土試料と重なっている産地を推定結果とする。 この産地は試料と2次元に最も距離が近い。 判別分析ではこの距離を数学的にn次元で計算する。 試料と最も距離（マハラノビス距離）に近い産地を推定結果とする。 この距離から、各産地に属する確率を計算する。</p>

推定結果表の見方

推定結果

下記の右の表に判別図法の結果と判別分析の結果を挙げてあります。
左の表は二つの方法から導いた推定結果をまとめたものです。

分類番号	漢語名	羅馬字名	漢語読み	漢字読み	漢字読み	漢字読み	判別分析											
							第1正定域						第2正定域					誤差
							判別	多量	確信	判別	誤差	判別	誤差					
INP 1	IN P X - H 11	鎌倉	大鎌倉	大鎌倉	大鎌倉	大鎌倉	WDY	WDY	5	999	WDY	19.17	0.00					
INP 2	IN P X - H 11	鎌倉	二宮工のある場所	大鎌倉	大鎌倉	大鎌倉	WDY	WDY	21.5	1	WDY	126.83	0					
INP 3	IN P X - H 2	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.98	1	WDY	131.58	0					
INP 4	IN P X - H 2	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.24	1	WDY	87.73	0					
INP 5	IN P X - H 7	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.97	1	WDY	32.96	0					
INP 6	IN P X - H 3	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.8	1	WDY	47.43	0					
INP 7	IN P X - H 10	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.26	1	WDY	109.09	0					
INP 8	IN P X - H 15	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	9.93	1	WDY	45.96	0					
INP 9	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	6.43	1	WDY	124.33	0					
INP 10	IN P X - H 7	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	6.97	9999	WDY	9.71	0.004					
INP 11	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	3.6	1	WDY	39.42	0					
INP 12	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.89	1	WDY	57.36	0					
INP 13	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	6.47	1	WDY	81.93	0					
INP 14	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.94	1	WDY	95.29	0					
INP 15	IN P X - H 18	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	13.15	1	WDY	85.63	0					
INP 16	IN P X - H 19	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.71	1	WDY	70.52	0					
INP 17	IN P X - H 20	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	9.92	1	WDY	131.22	0					
INP 18	IN P X - H 20	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	10.03	1	WDY	85.02	0					
INP 19	IN P X - H 21	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.4	9997	WDY	24	0.0033					
INP 20	IN P X - H 25	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	6.38	1	WDY	50.45	0					
INP 21	IN P X - H 29	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.89	1	WDY	91.5	0					
INP 22	IN P X - H 29	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.7	1	WDY	81.5	0					
INP 23	IN P X - H 30	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	8.13	1	WDY	81.29	0					
INP 24	IN P X - H 30	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	9.3	1	WDY	85.6	0					
INP 25	IN P X - H 34	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.94	1	WDY	86.3	0					
INP 26	IN P X - H 34	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	10.57	1	WDY	115.2	0					
INP 27	IN P X - H 38	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.8	1	WDY	95.73	0					
INP 28	IN P X - H 38	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.12	1	WDY	67.22	0					
INP 29	IN P X - H 40	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	10.3	1	WDY	81.33	0					
INP 30	IN P X - H 41	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	7.7	1	WDY	104.48	0					
INP 31	IN P X - H 41	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.69	1	WDY	85.7	0					
INP 32	IN P X - H 45	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.65	1	WDY	115.96	0					
INP 33	IN P X - H 45	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.28	1	WDY	101.94	0					
INP 34	IN P X - H 46	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	10.28	1	WDY	111.38	0					
INP 35	IN P X - H 46	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.08	1	WDY	108.79	0					
INP 36	IN P X - H 40	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.73	1	WDY	30.6	0					
INP 37	IN P X - H 18	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.01	1	WDY	95.57	0					
INP 38	IN P X - H 56	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	13.27	1	WDY	103.81	0					
INP 39	IN P X - H 57	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.2	1	WDY	97.51	0					
INP 40	IN P X - H 59	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	20.34	1	WDY	94.80	0					
INP 41	IN P X - H 59	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	8.02	1	WDY	25.9	0					
INP 42	IN P X - H 66	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	9.71	1	WDY	102.27	0					
INP 43	IN P X - H 66	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.44	1	WDY	91.1	0					
INP 44	IN P X - H 67	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.26	1	WDY	98.47	0					
INP 45	IN P X - H 68	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	3.75	1	WDY	105.27	0					
INP 46	IN P X - H 58	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.89	1	WDY	94.43	0					
INP 47	IN P X - H 70	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	14.89	1	WDY	55.8	0					
INP 48	IN P X - H 71	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11.26	1	WDY	136.42	0					
INP 49	IN P X - H 65	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.5	0.967	WDY	1.36	0.013					
INP 50	IN P X - H 74	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	9.22	1	WDY	61.96	0					
INP 51	IN P X - H 74	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	18.74	1	WDY	53.37	0					
INP 52	IN P X - H 74	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	26.78	1	WDY	41.23	0					
INP 53	IN P X - H 77	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	17.19	1	WDY	56.1	0					
INP 54	IN P X - H 77	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	5.56	1	WDY	59.71	0					
INP 55	IN P X - H 11	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	15.2	0.9999	WDY	1801	0.0001					
INP 56	IN P X - H 17	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1.97	1	WDY	63.99	0					
INP 57	IN P X - H 80	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	14.72	1	WDY	96.1	0					
INP 58	IN P X - H 81	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	22.26	1	WDY	147.53	0					
INP 59	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	8.69	1	WDY	111.29	0					
INP 60	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.26	1	WDY	37.28	0					
INP 61	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	7.73	1	WDY	46.6	0					
INP 62	IN P X - H 86	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	1	1	WDY	1	0					
INP 63	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	2.98	1	WDY	140.8	0					
INP 64	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	15.28	1	WDY	130.4	0					
INP 65	IN P X - H 88	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	27.09	1	WDY	113.8	0.001					
INP 66	IN P X - 2値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	13.34	1	WDY	119.02	0					
INP 67	IN P X - 10値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	4.78	1	WDY	101.25	0					
INP 68	IN P X - 12値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	14.61	1	WDY	69.49	0					
INP 69	IN P X - 12値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	11	1	WDY	30.22	0					
INP 70	IN P X - 18値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	13.05	1	WDY	114.34	0					
INP 71	IN P X - 18値	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	鎌倉	WDY	WDY	3.51	0.9987	WDY	74.34	0.0013					

推定結果表の見方

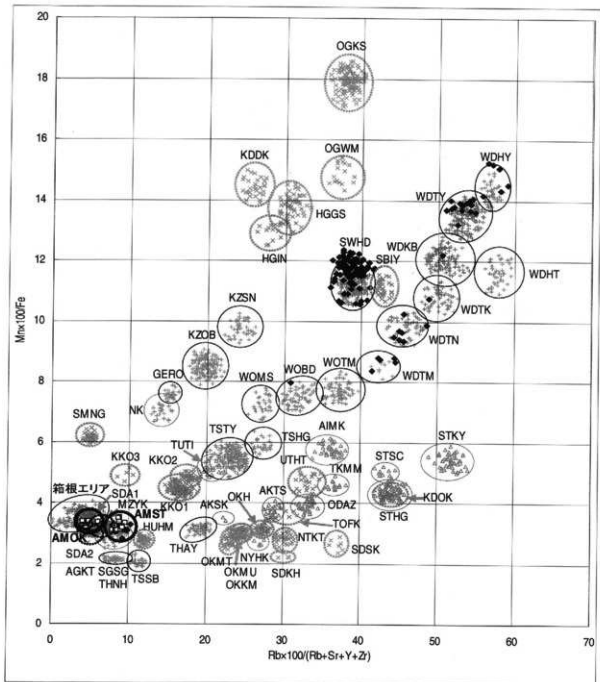
推定結果

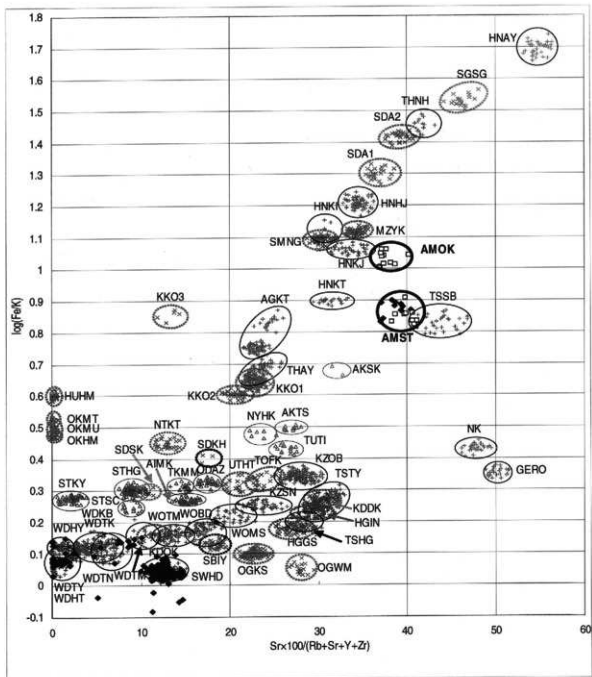
下記の右の表に判別図法の結果と判別分析の結果を挙げてあります。
左の表は二つの方法から導いた推定結果をまとめたものです。

判別図法	判別分析	推定結果	判別図法	判別分析	推定結果
18P 77	18P 77	石巻	SW4D	SW4D	8294
18P 73	18P 73	石巻	W02D	W02D	7177
18P 74	18P 74	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	80126
18P 75	18P 75	二ヶ浜二のふるあな洞	WD7Y	WD7Y	795
18P 76	18P 76	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	182.77
18P 77	18P 77	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4H	SW4C	106.16
18P 78	18P 78	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	105.45
18P 79	18P 79	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4C	SW4D	74.37
18P 80	18P 80	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4C	197.28
18P 81	18P 81	二ヶ浜二のふるあな洞	WD7Y	WD7Y	21.11
18P 82	18P 82	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	71.5
18P 83	18P 83	二ヶ浜二のふるあな洞	WD7Y	WD7Y	8.45
18P 84	18P 84	二ヶ浜二のふるあな洞	WD7Y	WD7Y	289.1
18P 85	18P 85	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 86	18P 86	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 87	18P 87	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 88	18P 88	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 89	18P 89	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 90	18P 90	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 91	18P 91	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 92	18P 92	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 93	18P 93	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 94	18P 94	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 95	18P 95	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 96	18P 96	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 97	18P 97	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 98	18P 98	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 99	18P 99	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 100	18P 100	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 101	18P 101	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 102	18P 102	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 103	18P 103	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 104	18P 104	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 105	18P 105	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 106	18P 106	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 107	18P 107	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 108	18P 108	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 109	18P 109	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 110	18P 110	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 111	18P 111	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 112	18P 112	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 113	18P 113	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 114	18P 114	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 115	18P 115	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 116	18P 116	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 117	18P 117	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 118	18P 118	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 119	18P 119	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 120	18P 120	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 121	18P 121	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 122	18P 122	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 123	18P 123	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 124	18P 124	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 125	18P 125	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 126	18P 126	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 127	18P 127	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 128	18P 128	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 129	18P 129	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 130	18P 130	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 131	18P 131	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 132	18P 132	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 133	18P 133	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 134	18P 134	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 135	18P 135	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 136	18P 136	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 137	18P 137	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 138	18P 138	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 139	18P 139	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 140	18P 140	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 141	18P 141	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 142	18P 142	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 143	18P 143	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 144	18P 144	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 145	18P 145	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 146	18P 146	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 147	18P 147	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 148	18P 148	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 149	18P 149	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94
18P 150	18P 150	二ヶ浜二のふるあな洞	SW4D	SW4D	107.94

右側の表

判別図判別群：判別図法によって推定された産地（判別分析と結果が異なるときは“*”をつけて示す）
 判別分析：判別分析により推定された産地の第1候補
 第2候補産地…判別分析により推定された産地の第2候補
 判別群 候補産地記号→判別図法による産地と通常は一致する。
 距離 試料から候補産地までのマハラノビス距離→値が小さいほど候補産地と類似性が高い。
 確率試料が候補産地に属する確率→1に近いほど類似性が高い。





産地原石別群 (SEIKO SEA 2110L 蛍光 X 線分析装置による)

産地名称	地図 No.	エリア	新刊別群	旧刊別群	番記号	田記号	原石採取地 (分析数)
北海道	1	空知	八月沢群		STEG		赤石山山頂 (19), 八月沢高嶺 (31), 八月沢 (79), 黒沢の沢 (6), 尾瀬峠 (1)
	2	上川	二道群		SKFY		十二ノ沢 (16)
	3	釧路	安住群		ODAZ		安住 (25), 湯本ノ沢 (9)
	4	釧路	高津会群		ACTS		
	5	釧路	野尻台群		AKSR		高野台 (9), 山崎台 (5), 赤光台 (5)
	6	名寄	池田群		NYDK		池田 (16)
	7	十勝	朝川群		TSFO		朝川 (6)
	8	十勝	曲川群		AMKJ		曲川 (25), 上木川 (15)
青森	9	津軽	豊島群		TITI		豊島 (16)
	10	津軽	山本山群		KDOK		山本山頂 (3)
秋田	11	男鹿	八雲山群		MUHM		八雲山山頂 (8), 八雲沢 (8), 地蔵沢 (40)
	11	男鹿	赤ヶ崎群		OGKS		赤ヶ崎高嶺 (37), 駒本高嶺 (9)
山形	12	男鹿	駒本群		OGWM		駒本高嶺 (16)
	12	男鹿	月山群		HGGS		月山頂 (30), 鳴門町田代 (18), 鳴門町中沢 (18)
岩手	13	花巻	今泉山群		HGZN		今泉山 (9), 大淵川 (3)
	13	花巻	金津群		NTRC		金津 (9)
秋田	14	新見田	松山群		SDY		松山山頂 (40)
	15	高森	井高沢群	高森山 1 群	THAY	TKH1	井高沢 (5), 飯沢 (20)
長野	16	信田 (W1)	七ヶ沢群	高森山 2 群	TIEN1	TKH2	七ヶ沢 (9), 自然の家 (9)
			嵐山群	和国峠 1 群	WOTY	WDT1	
			小深沢群	和国峠 2 群	WOKD	WDT2	
			土屋崎光群	和国峠 3 群	WDTK	WDT3	
			土屋崎内群	和国峠 4 群	WOTN	WDT4	
			土屋崎外群	和国峠 5 群	WOTM	WDT5	
	17	和山 (W2)	高沢群	和国峠 6 群	WOMY	WDT6	
			高沢群	高沢山 1 群	WORB	OMG1	ブドウ沢 (36), ブドウ沢上 (14), 高沢上 (43), 高沢下 (30), 高沢沢 (40)
			高沢群	高沢山 2 群	WOMS	OMG2	
			高沢群	高沢山 3 群	WOTM	OMG3	
	18	岩村	冷山群	岩村系	TSY	TYS	冷山 (33), 志野 (36), 栗野峠 (33), 岩ノ尾 (29), 志野 (4), 八ヶ岳 7 (17), 八ヶ岳 9 (18), 沢下池 (34)
			茂子山群		TSYG		茂子池 (26)
	19	南信	折戸山群		TSSB		折戸山 (31), 池田池 (6)
			折戸山群	折戸山 1 群	TINAY	ASY	折戸山 (34)
	20	南信	折戸山群	折戸山 2 群	HNEP	ITV	折戸 (71)
			折戸山群	折戸山 3 群	HNRJ	JRNKA	折戸 (71)
21	南信	折戸山群	折戸山 4 群	HNRJ	KJY	折戸 (71)	
		折戸山群	折戸山 5 群	HNRK	KMT	折戸 (71)	
22	南信	折戸山群	折戸山 6 群	AGTJ	KSW	折戸 (71)	
		折戸山群	折戸山 7 群	KZOB	KOZ1	折戸 (71)	
23	南信	折戸山群	折戸山 8 群	KZSN	KOZ2	折戸 (71)	
		折戸山群	折戸山 9 群	OKHM		折戸 (71)	
24	南信	折戸山群	折戸山 10 群	OKME		折戸 (71)	
		折戸山群	折戸山 11 群	OKMT		折戸 (71)	
25	南信	折戸山群	折戸山 12 群	NK		折戸 (71)	

佐々木繁壽氏提供試料(まだ地図には入れていない)

青森	小泊	折戸内群	KDOK	小泊市折戸内 (8)
岩手	北上川	北上折戸 1 群	KKO1	水沢市折戸 (36), 花巻日形田ノ沢 (36), 雫石小赤沢 (22)
		北上折戸 2 群	KKO2	水沢市折戸 (23), 花巻日形田ノ沢 (8), 雫石小赤沢 (2)
		北上折戸 3 群	KKO3	水沢市折戸 (5)
宮城	宮崎	湯ノ倉群	MZYK	宮崎町湯ノ倉 (54)
		色麻根岸群	SMNG	色麻町根岸 (48)
仙台	秋保 1 群	秋保 1 群	SDA1	仙台市秋保土蔵 (17)
		秋保 2 群	SDA2	仙台市秋保土蔵 (35)
塩竈	塩竈群	SGSC	塩竈市塩竈漁港 (22)	

佐久市西一本郡遺跡出土黒曜石産地組成

エリア	産別群	記号	産別数	%
駒田 (W0)	ブドウ沢	W00D	1	0.73
	惣ヶ沢	W00S	0	0
	高松沢	W0TM	0	0
駒田 (W2)	美登ノイト	W0HY	9	4.38
	鹿山	W0TY	16	11.66
	小深沢	W0GS	1	0.73
	二子塚北	W0TK	1	0.73
	二子塚西	W0TN	7	5.11
	土塚南東	W0TM	5	3.65
	古村	W0HT	0	0
赤松	坂ヶ台	S0HD	90	65.68
豊村	冷山	T0TY	0	0
	赤子山	T0HG	0	0
	櫻山	T0SS	0	0
天城	越峰 1	AGKT	0	0
隈部	隈部	H0FU	0	0
	隈部西	H0FU	0	0
	高岩橋	H0HI	0	0
	上多賀	H0KI	0	0
	芦ノ湯	H0AY	0	0
津島	高松島	K2DB	0	0
	砂礫崎	K2SN	0	0
高野山	甘藷沢	THAV	0	0
	七舟沢	THNH	0	0
浅間山	大生沢	AMUK	0	0
	千ヶ沢	AMGT	10	7.3
新津	金平	NTKT	0	0
新発田	坂上	SBY	0	0
高津	八雲山	HJHJ	0	0
本庄	出草島	HDXK	0	0
河原	金ヶ崎	ODKS	0	0
	船木	ODWM	0	0
羽黒	丹山	HGGS	0	0
	今野川	HGN	0	0

エリア	産別群	記号	産別数	%
北上郡	新渡 1群	KKO1	0	0
	新渡 2群	KKO2	0	0
	新渡 3群	KKO3	0	0
	高崎	MZK	0	0
	飯沼 1群	SMA1	0	0
	飯沼 2群	SMA2	0	0
	色原	SMNG	0	0
	塩原遺跡	SGSO	0	0
	小沼	TKOK	0	0
	藤月 1群	LTH1	0	0
	高野	TOPK	0	0
	伴成	SDSK	0	0
	赤井二子塚	SKPH	0	0
	久見	OHM	0	0
	御地区	OHMT	0	0
	真清	OHMU	0	0
	石渡	SHIC	0	0
	黒塚の沢	STRY	0	0
	赤石山	STSC	0	0
	赤井川	AMAK	0	0
	菅原	TLJI	0	0
	菅戸	ODAZ	0	0
	十勝	THSM	0	0
	赤川	NVIA	0	0
	埴川	AKTS	0	0
	菅沢台	AKSK	0	0
本郷地区 1	NK	NK	0	0
下野西	GERO	GERO	0	0
合計			137	100
不明な点			?	
総計			138	



佐久市西一本柳遺跡X出土試料の自然科学分析

株式会社古環境研究所

I. 西一本柳遺跡Xにおける種実同定

1. はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物中に残存する。堆積物から種実を検出しその群集の構成や組成を調べ、過去の植生や群落の構成要素を明らかにし古環境の推定を行うことが可能である。また出土した単体試料等を同定し、栽培植物や固有の植生環境を調べることができる。

2. 試料

試料は、古墳時代後期の床より採取された試料No.8 (E, H46床) と弥生時代後期の炉跡より採取された試料No.9 (W, H23炉) の2点である。

3. 方法

試料を肉眼及び双眼顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

4. 結果

試料No.8 (E, H46床) および試料No.9 (W, H23炉) はいずれもモモ核であった。以下に学名および特徴を記し、写真を添付する。

モモ *Prunus persica* Batsch 核 バラ科

やや炭化し黄褐色?黒褐色で楕円形を呈し、側面に縫合線が発達する。表面にはモモ特有の隆起がある。試料No.8は堅果類の殻の殻蓋があり、試料No.9は破片となる。

5. 所見

モモは食用となる栽培植物であり、稲作とともに伝来する。西日本を中心に多くの遺跡から出土し、弥生時代から古墳時代にかけて多くなる。試料No.8は比較的丸いタイプであるが、いずれの試料も遺存が悪く詳細な観察は困難であった。

参考文献

- 南木睦彦 (1992) 低湿地遺跡の種実, 月刊考古学ジャーナル No.356, ニューサイエンス社, p.18?22.
 南木睦彦 (1993) 葉・果実・種子, 日本第四紀学会編, 第四紀試料分析法, 東京大学出版会, p.276?283.
 金原正明 (1996) 古代モモの形態と品種, 月刊考古学ジャーナル No.409, ニューサイエンス社, p.15?19.

II. 西一本柳遺跡Xにおける樹種同定

1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

2. 試料

試料は、西一本柳遺跡Xより出土した弥生時代中期、弥生時代後期、古墳時代中期および古墳時代後期の遺構より出土した炭化材10点である。

3. 方法

試料を剖折して、炭化材の新鮮な横断面 (木口と同義)、放射断面 (経目と同義)、接線断面 (板目と同義) の基本三断面の切片を作製し、落射顕微鏡によって50~1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4. 結果

結果を表1示し、顕微鏡写真を図版に示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版1・2・3

横断面: 年輪のはじめに大型の道管が、1~数列配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が、火炎状に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面: 道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面: 放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ15m、径60cmくらいに達する。材は強靱で弾力に富み、建築材などに用いられる。

5. 所見

同定の結果、西一本柳遺跡Xで出土した炭化材は10点はいずれもコナラ属コナラ節であった。コナラ属コナラ節はH当たりの良い山野に生育する落葉高木で、温帯を中心に広く分布する。ミズナラなどは冷温帯落葉広葉樹林の主要構成要素である。当時、遺跡周辺からもたらすことができる樹種であったと考えられる。

参考文献

佐伯浩・原田浩 (1985) 広葉樹材の細胞、木材の構造。文永堂出版、p.49-100.

表1 西一本柳遺跡Xにおける樹種同定結果

No.	品番名	目録名	学名	結果 (年代/年代)
1	1115	KH15No8	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
2	1012	KH15No8	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
3	1119	E1119	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
4	1215	E1215	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
5	1012	E1012	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
6	1210	E1210	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
7	1015	KH15No3	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
10	1103	W1103No3	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
11	1106	W1106No3	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節
13	1008	W1008No3	<i>Quercus acc. Pinus</i>	コナラ属コナラ節

表2 西一本柳遺跡Xにおける動物遺存体同定結果

No.	品番名	目録名	小分類	学名	種別	部位	年代	所見
1	1115	20132 骨片 (歯牙)	不明					不明年代
2	1116	KH15 No. 12	不明					不明時代後期
3	1017	W1017 No. 12	不明					不明時代後期
4	1017	W1017 No. 12	イヌ	<i>Canis familiaris</i>	哺乳類	肋骨		不明時代後期
5	1117	W1117 No. 40	不明					不明時代後期
6	M10	W1017 No. 12	ウシ	<i>Bos taurus</i>	哺乳類	肋骨 (7枚)		不明時代

III. 西一本柳遺跡Xにおける動物遺存体同定

1. はじめに

一般に日本の国十は、火山灰性の酸性土壌に広く覆われ、動物遺存体の保存状態には恵まれていない。そのため、遺跡で動物遺存体が出土するのは、貝塚、石灰岩地帯の洞穴や岩陰が代表的で、近年では湿地環境の遺跡や遺構からも多くの動物遺存体が報告されつつある。しかし、乾燥した沖積平野上の遺跡ではほとんどの動物遺存体が、長い年月の間に腐食して上に還ってしまっている。その中で、動物の歯、特にエナメル質は、動物骨格の中でも腐食に強く、特に大きく堅固なウシやウマの臼歯のエナメル質が、乾燥環境から出土する例は珍しくない。また繊細な魚骨の歯のエナメル質は、発掘中肉眼で採集することは不可能で、遺構の埋土を1ミリ以上のフルイの面上で洗うことが必要である。そうした哺乳類の歯のエナメル質、灰化して無機質化した繊細な魚骨や動物骨からそれぞれの種類を同定することで、その生態的情報を援用して当時の環境を復元したり、過去の人々の生業や食生活を知ることができる。

2. 試料

試料は、弥生時代後期の加跡、古墳時代後期のカマド跡および平安時代のカマド跡などから出土した動物骨6点である。試料はいずれも水洗選別されていた。

3. 方法

試料を肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。

4. 所見

分析の結果、哺乳類2分類群が同定された。学名、和名および部位を表2、試料の写真を図版に示す。

試料 No.1: 骨片が小さいため同定には至らなかった。

試料 No.2: 骨片が小さいため同定には至らなかった。

試料 No.3: 骨片が小さいため同定には至らなかった。

試料 No.4: イヌ [哺乳類] *Canis familiaris* 肋骨 (熱を受け変形している?)

試料 No.5: 骨片が小さいため同定には至らなかった。

試料 No.6: ウシ [哺乳類] *Bos taurus* 左脛骨部分

参考文献

- 松井章 (1987) 「岡山城本丸中の段出土の動物遺存体」, 『史跡岡山城跡本丸中の段発掘調査報告』, 岡山市教育委員会, p.323-331.
- 松井章 (2000) 「恒武西宮・西浦遺跡発掘調査報告書」, (財) 静岡県埋蔵文化財研究所, p.156-161.
- 松井章・宮路淳子 (2000) 「坪井・大福遺跡から出土した動物遺存体」 『坪井・大福遺跡』奈良国立歴史考古学研究所, p.194-205.

IV. 西一本柳遺跡Xにおける蛍光X線分析

1. 試料

試料は、古墳時代中期とされるH15(No.1), 古墳時代後期とされるH17(No.2) および弥生時代中期とされるH27(No.3) から採取された計3点の赤色顔料である。ここでは、赤色顔料の構成元素から顔料の種類を同定する目的で蛍光X線分析を行った。

2. 分析方法

エネルギー分散型蛍光X線分析システム(日本電子製, JSX3201)を用いて、元素の同定およびファンダメンタルパラメータ法(FP法)による定量分析を行った。以下に分析の手順を示す。

- 1) 試料を絶乾(105℃・2時間)
- 2) 試料を塩化ビニール製リング枠に入れ、圧力15t/?でプレスして錠剤試料を作成
- 3) 測定時間300秒、照射径20mm、電圧30keV、試料室内真空の条件で測定

なお、X線発生部の管球はロジウム(Rh)ターゲット、ベリリウム(Be)窓、X線検出器はSi(Li)半導体検出器である。

3. 分析結果

各元素の定量分析結果(wt%)を表3および図1に示す。

4. 考察

赤色顔料としては、一般的に水銀朱(硫化水銀: HgS)、ベンガラ(酸化第二鉄: Fe_2O_3)、鉛丹(酸化鉛: Pb_3O_4)が知られている(市毛, 1998, 本田, 1995)。

蛍光X線分析の結果、No.1, No.2, No.3の各試料とも鉄(Fe)の明確なピークが認められ、水銀(Hg)や鉛(Pb)は検出されなかった。鉄(Fe_2O_3)の含量は、No.1では20.8%、No.2では15.5%、No.3では10.9%であり、No.1が最も高くなっている。

これらのことから、古墳時代中期とされるH15(No.1), 古墳時代後期とされるH17(No.2) および弥生時代中期とされるH27(No.3) から採取された赤色顔料は、いずれもベンガラと考えられる。

文献

- 市毛 熊 (1998) 新版朱の考古学, 考古学叢書, 雄山閣出版
- 本田光子 (1995) 古墳時代の赤色顔料, 考古学と自然科学, 31・32, p.63-79.

表3 西一本柳遺跡Xにおける蛍光X線分析結果 Wt% (wt%)

E# No.	E#-ZEP 化学式	Wt%		
		1 H15	2 H17	3 H27
11	Na2O	1.115	0.973	1.218
11	MgO	1.383	0.987	1.661
13	Al2O3	29.386	24.920	27.614
14	SiO2	47.298	56.863	51.313
15	P2O5	1.633	1.908	1.892
16	SO3	0.331	0.375	1.168
19	K2O	0.605	0.673	0.769
20	CaO	4.514	3.343	2.883
22	TiO2	1.851	0.335	0.511
23	V2O5	0.018	0.039	0.683
25	MnO	0.126	0.338	0.289
26	Fe2O3	20.803	15.496	10.855
32	B2O3	0.008	0.004	0.000
38	SrO	0.042	0.018	0.041

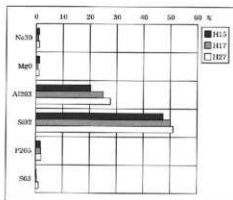
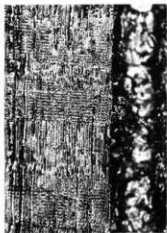


図1 西一本柳遺跡Xにおける蛍光X線分析結果

西一本柳遺跡Xの炭化材



横断面 : 0.4mm



放射断面 : 0.4mm



接線断面 : 0.4mm

1. No.1 コナラ属コナラ節



横断面 : 0.4mm

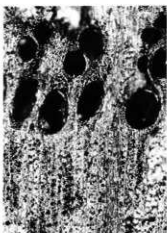


放射断面 : 0.2mm



接線断面 : 0.4mm

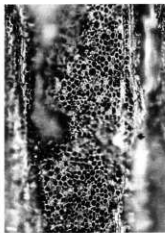
2. No.2 コナラ属コナラ節



横断面 : 0.4mm



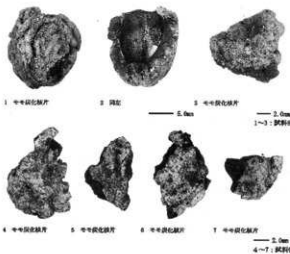
放射断面 : 0.4mm



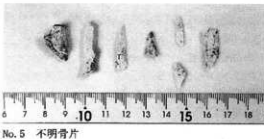
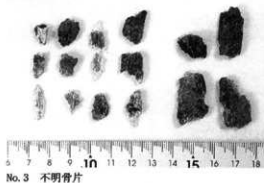
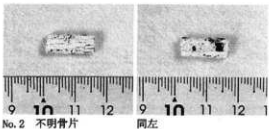
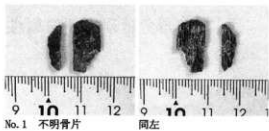
接線断面 : 0.2mm

3. No.4 コナラ属コナラ節

西一本柳遺跡Xの種実



西一本柳遺跡Xの動物遺存体



加速器分析研究所放射性炭素年代測定結果報告書

2004年 8月 20日

佐久市教育委員会 様

2004年7月26日受領致しました試料についての年代測定の結果を下記の通り御報告致します。

表示したBP年代は、1950年から何年前かの年数で、 ^{14}C の半減期としてLIBBYの半減期5570年を使用しています。また付記した誤差はβ線の計数値の標準偏差 σ にもとづいて算出した年数で、標準偏差(ONE SIGMA)に相当する年代です。また試料のβ線計数率と自然計数率の差が 2σ 以下のときは、 3σ に相当する年代を下限の年代値(記号 >)として表示してあります。また試料のβ線計数率と現在の標準炭素についての計数率との差が 2σ 以下のときには、Modernと表示してあります。

表示した同位体比は標準値からのずれをパーミルで表した値です。 $\delta^{14}\text{C}$ の値は、放射線の測定で求めた試料炭素中の ^{14}C 濃度Aと現在の炭素の標準濃度A(std)を用いて、

$\delta^{14}\text{C} = \left[\frac{A - A(\text{std})}{A(\text{std})} \right] \times 1000$ によって算出された値です。 $\delta^{13}\text{C}$ の値は、試料炭素の $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 原子比を質量分析器で測定し、標準にPDBを用いて同様に算出した値です。

$\Delta^{14}\text{C}$ は試料炭素が $^{13}\text{C} = -25.0$ パーミルであったときの ^{14}C 濃度を計算した値です。この濃度を用いて、(貝殻など海洋起源の試料を除き)表記のBP年代値が算出されています。したがって、表記の年代値は同位体効果による測定誤差を補正した年代値となっています。

記

Code No.	試料	BP年代と炭素の同位体比
IAA-520	木炭 from 西一本柳 X (INPX) H17 No.1	2240 ± 70
		$\delta^{14}\text{C} = -243.8 \pm 6.3$
		$\delta^{13}\text{C} = -24.8$
		$\Delta^{14}\text{C} = -244.1 \pm 6.3$
IAA-521	木炭 from 西一本柳 X (INPX) H86 No.2	2320 ± 70
		$\delta^{14}\text{C} = -252.2 \pm 6.7$
		$\delta^{13}\text{C} = -25.6$
		$\Delta^{14}\text{C} = -251.3 \pm 6.7$

以上


(株)加速器分析研究所 白河分析センター

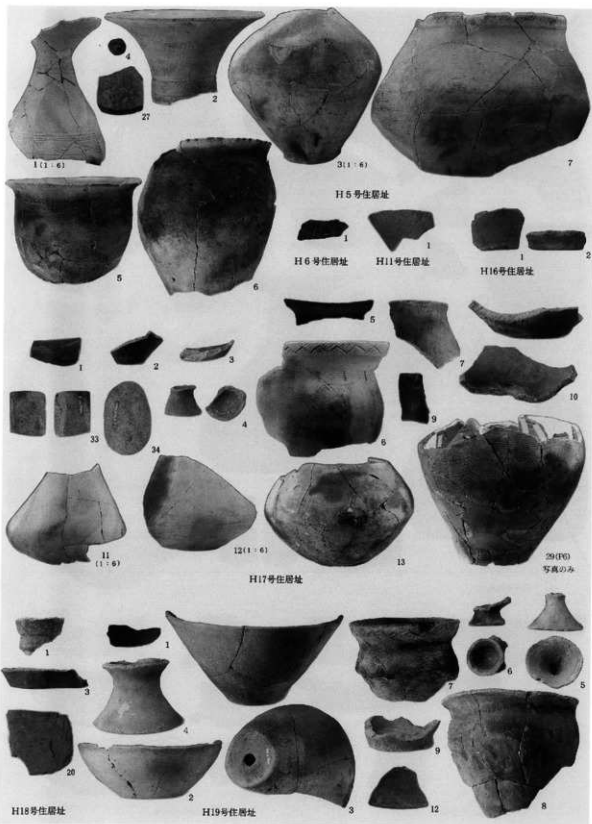
〒961-0835

福島県白河市白坂字一里段 6-270

TEL 0248-21-1055(代)

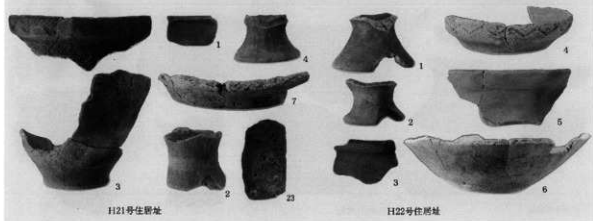
FAX 0248-21-1057

木越邦彦 



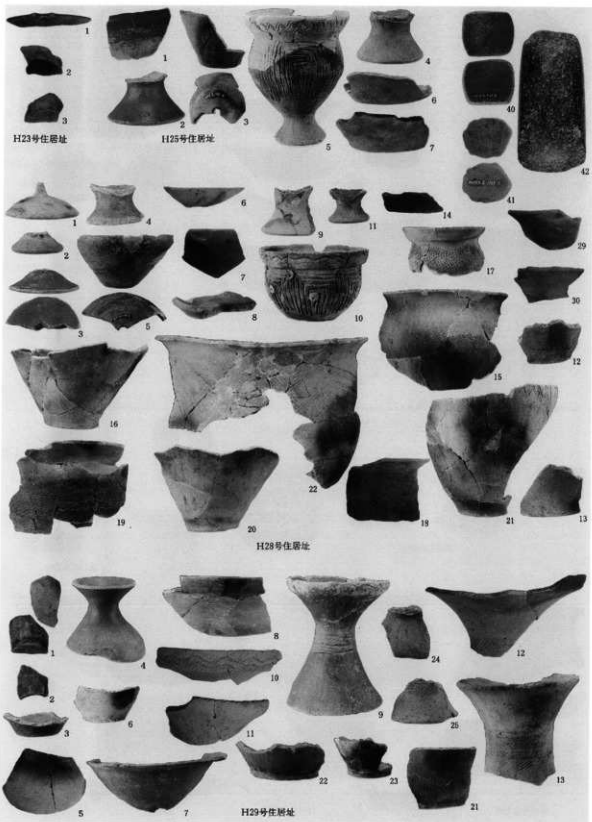


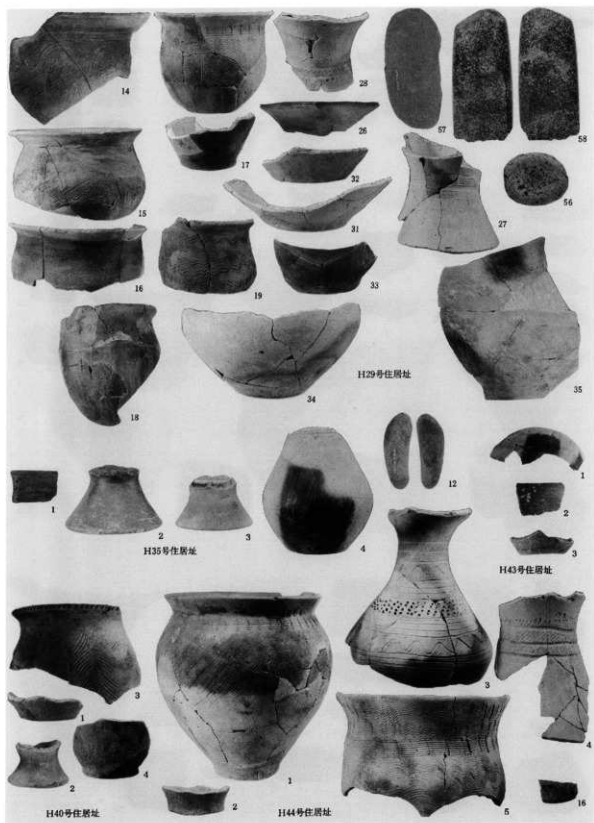
H19号住居址

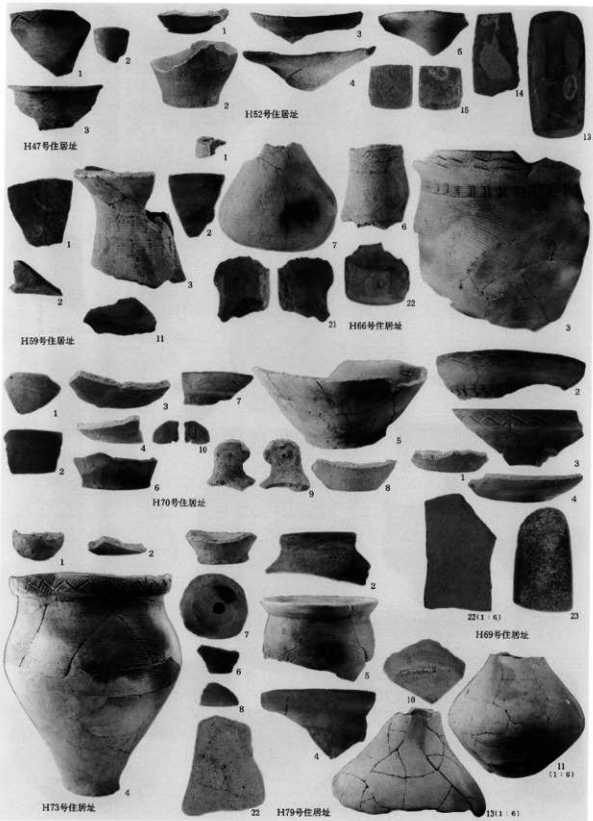


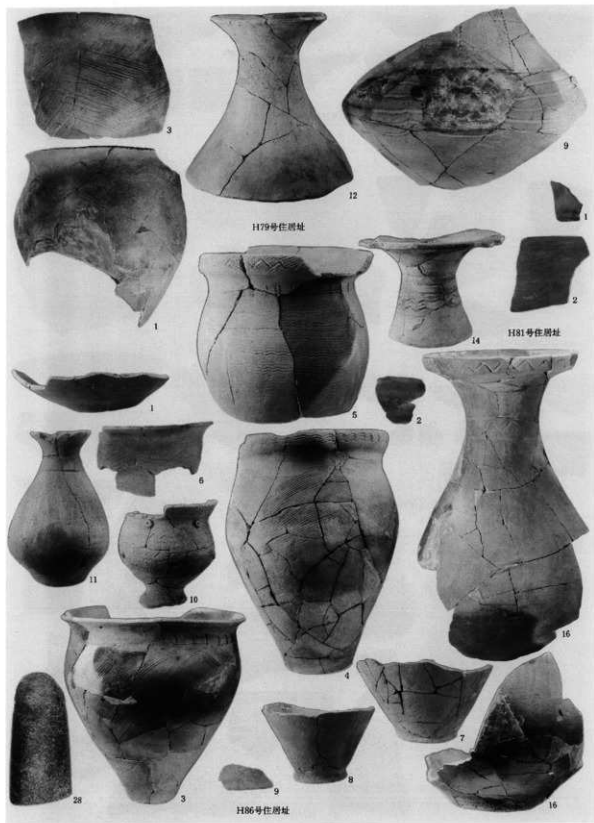
H21号住居址

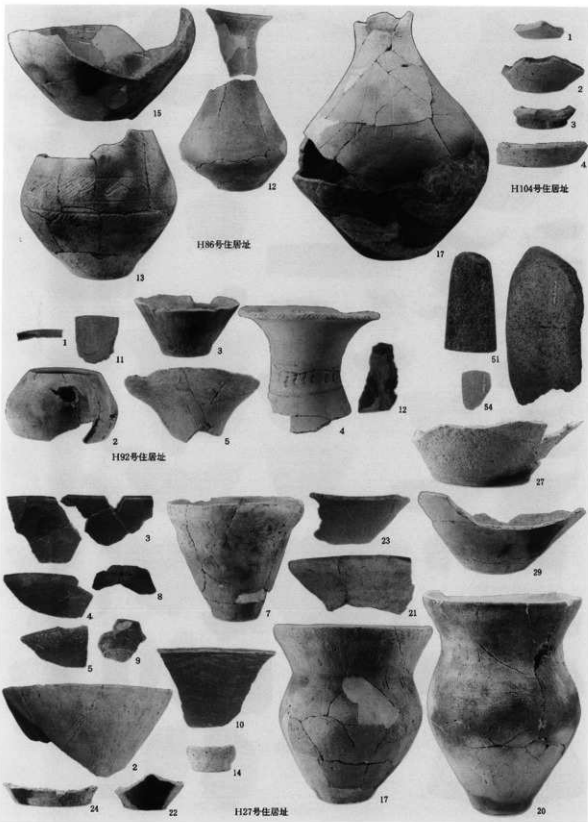
H22号住居址

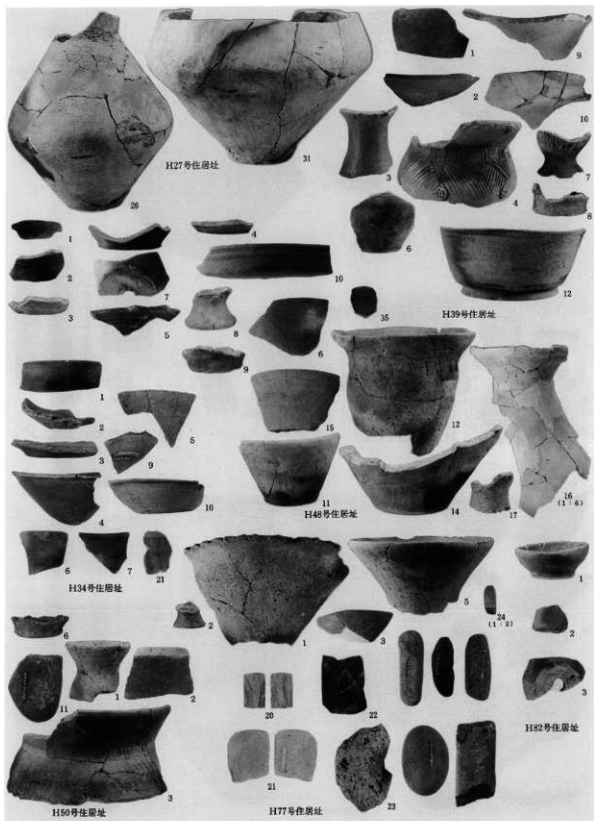


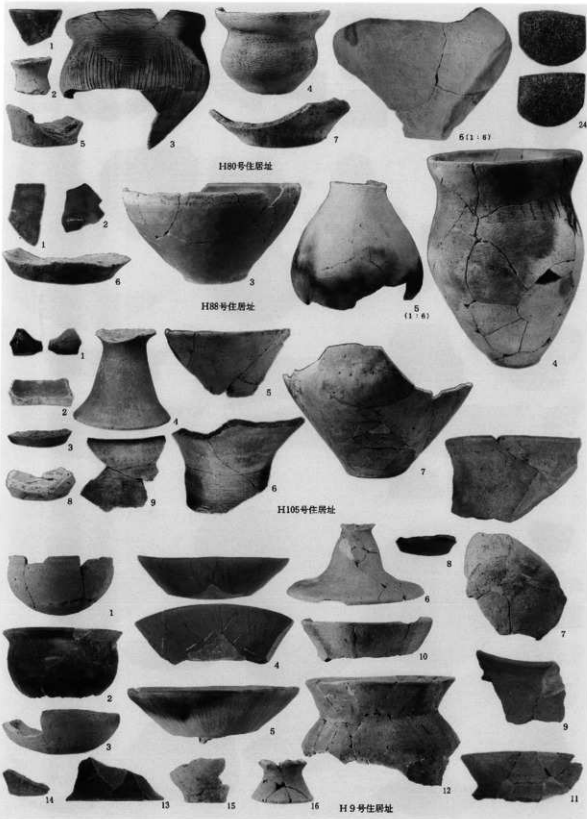


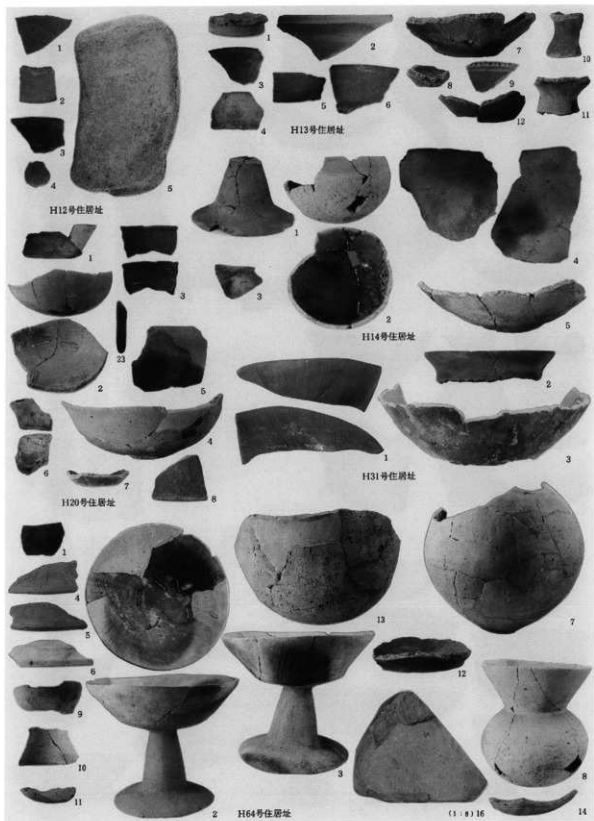


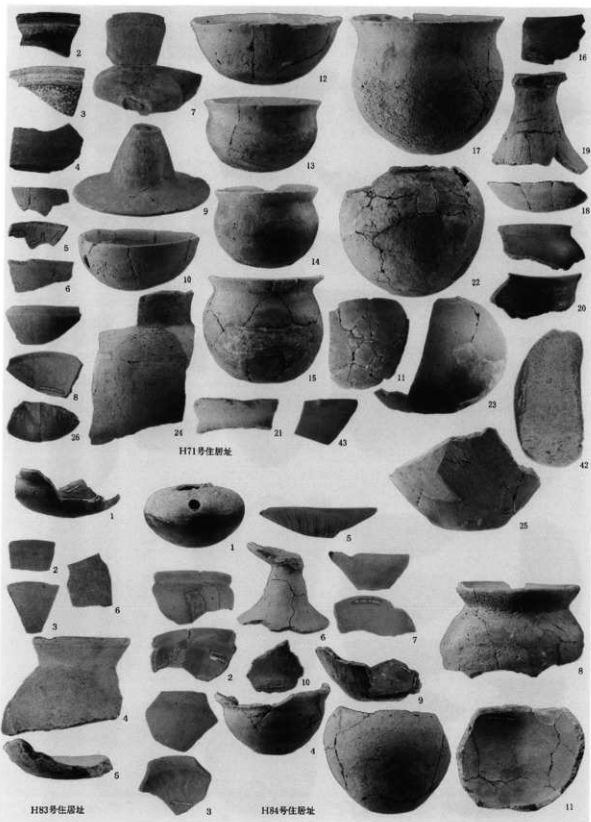


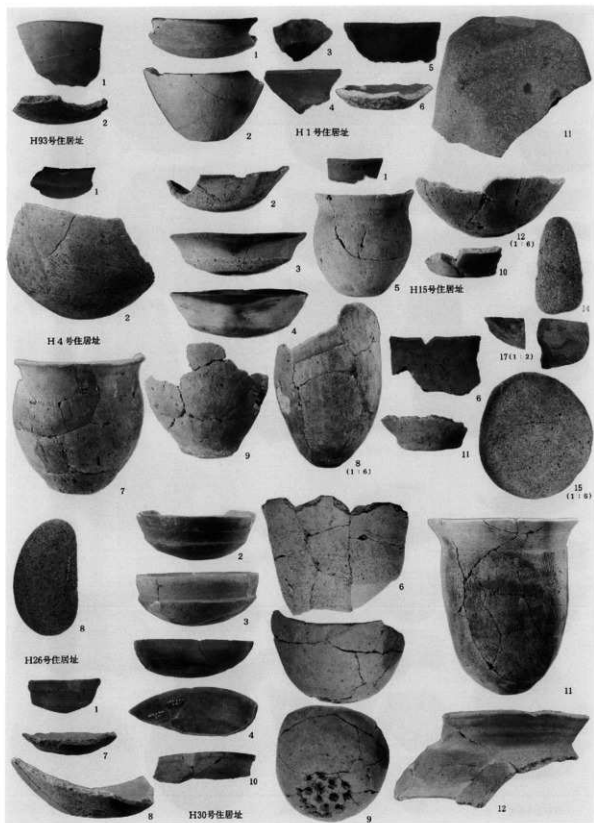


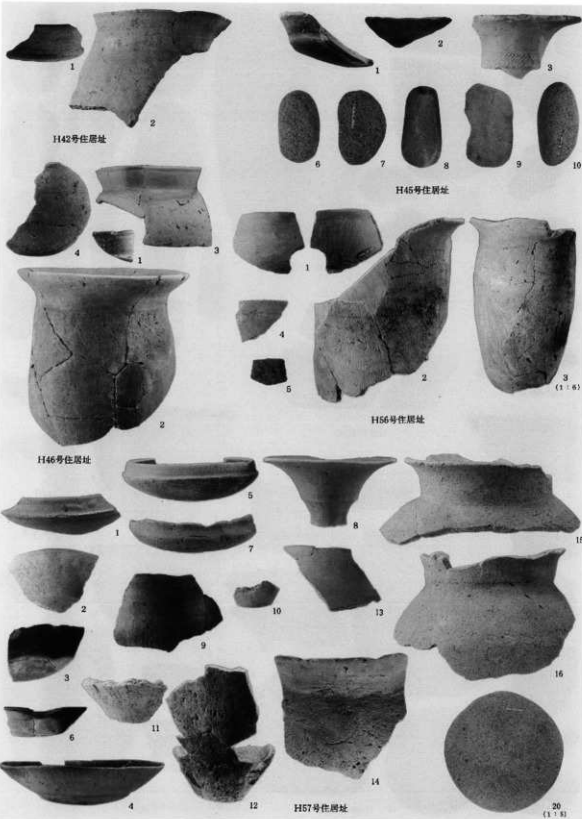


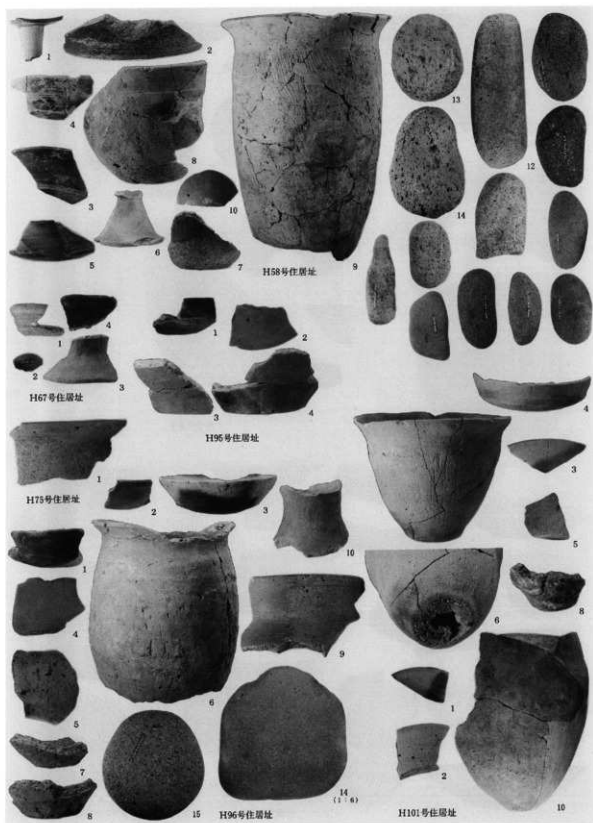


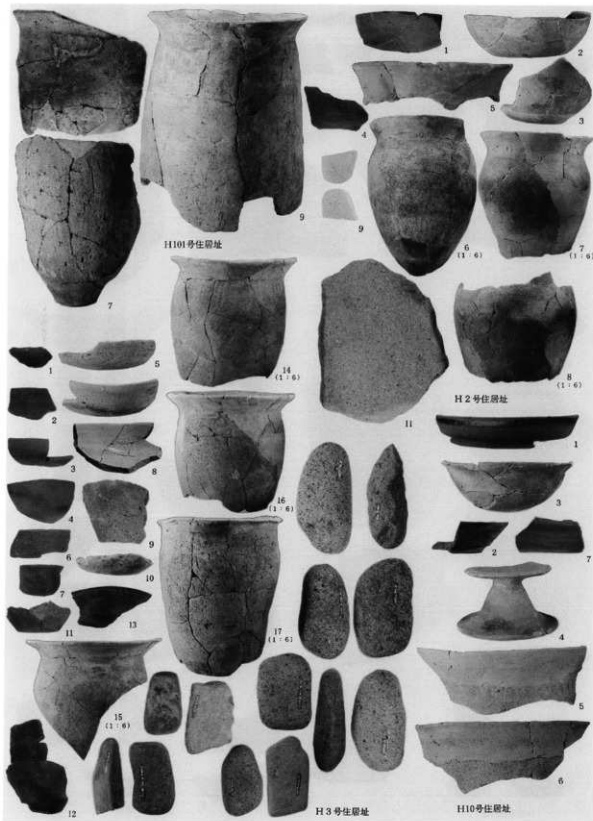


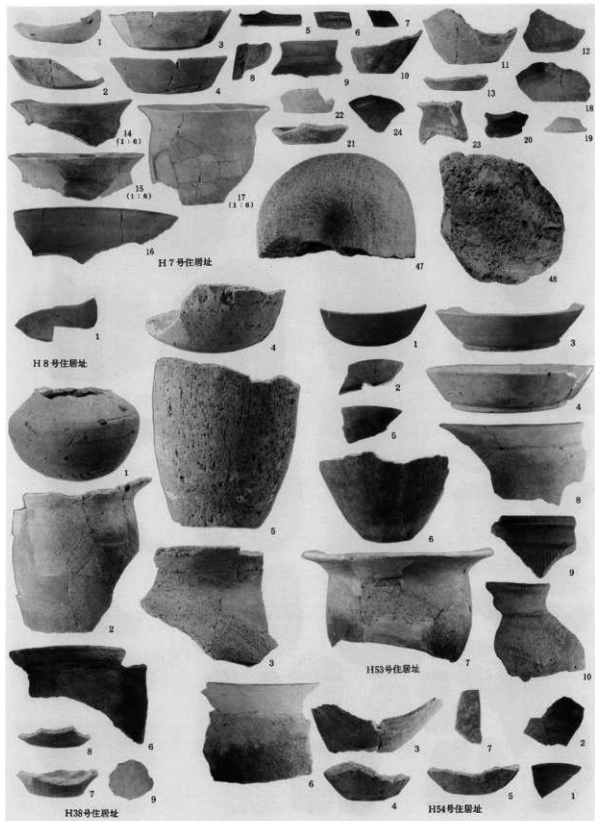


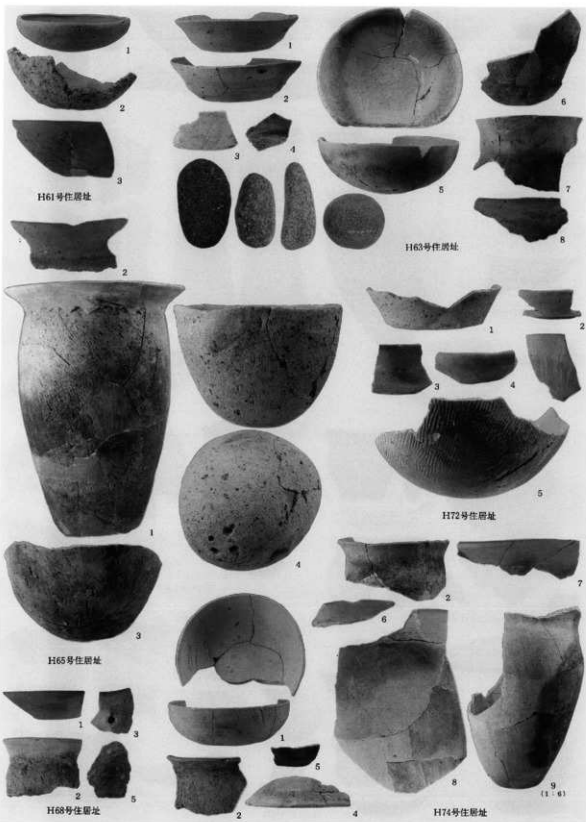


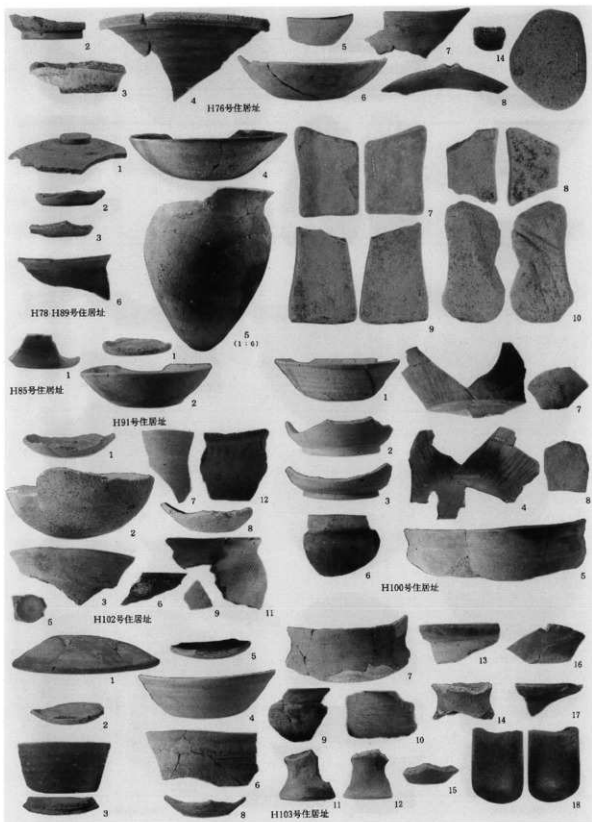


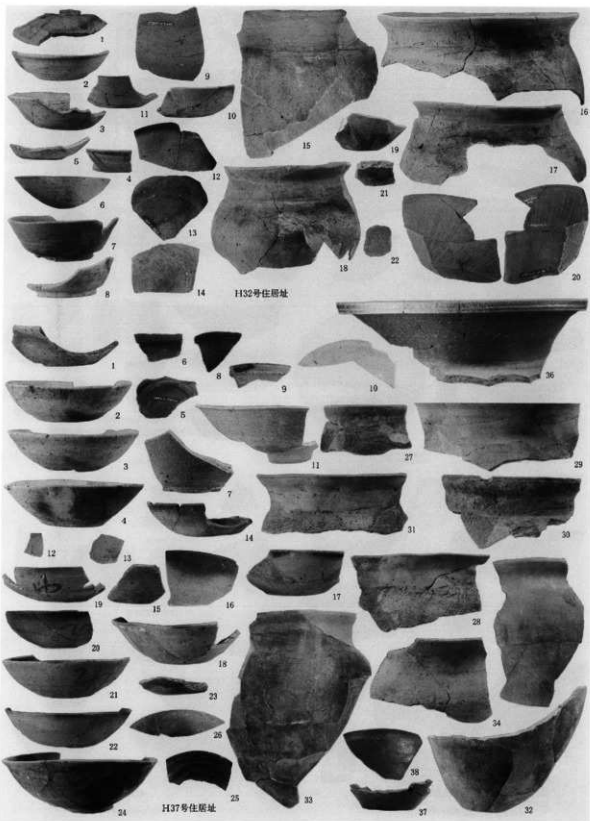


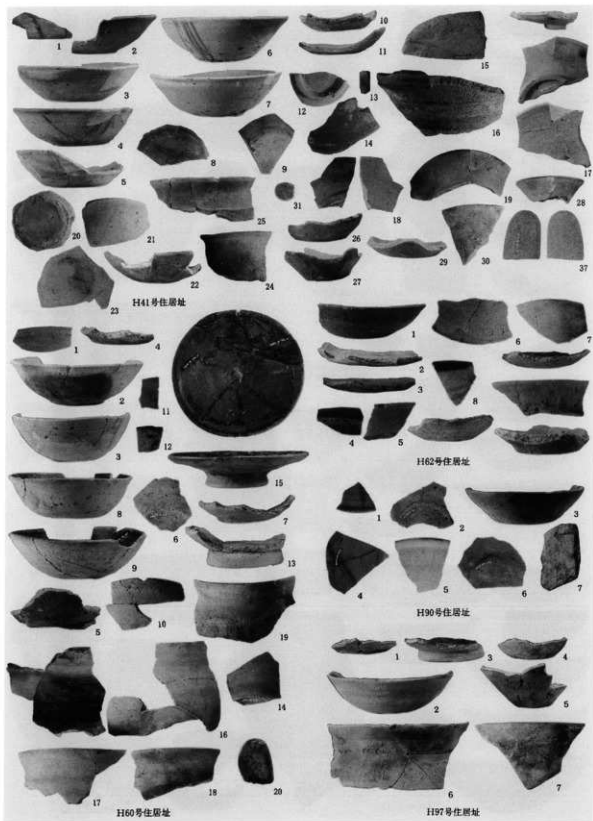


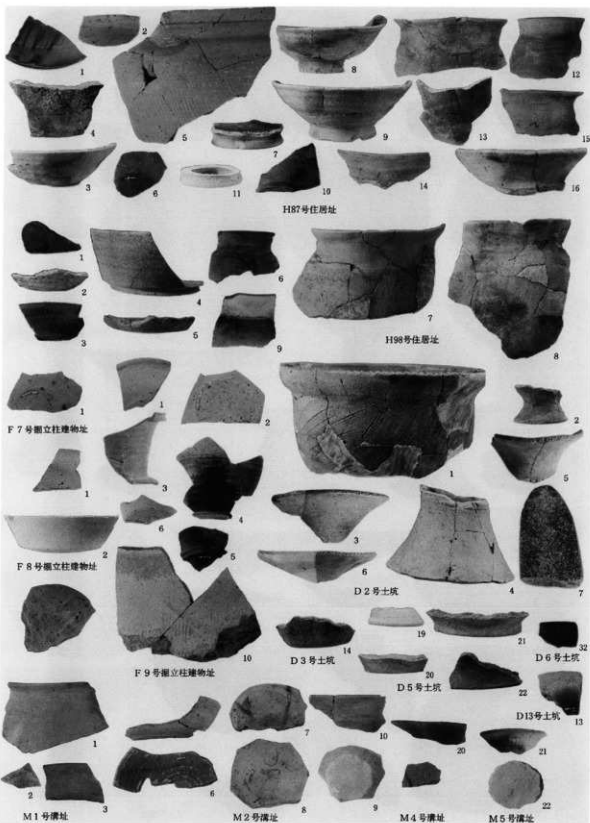


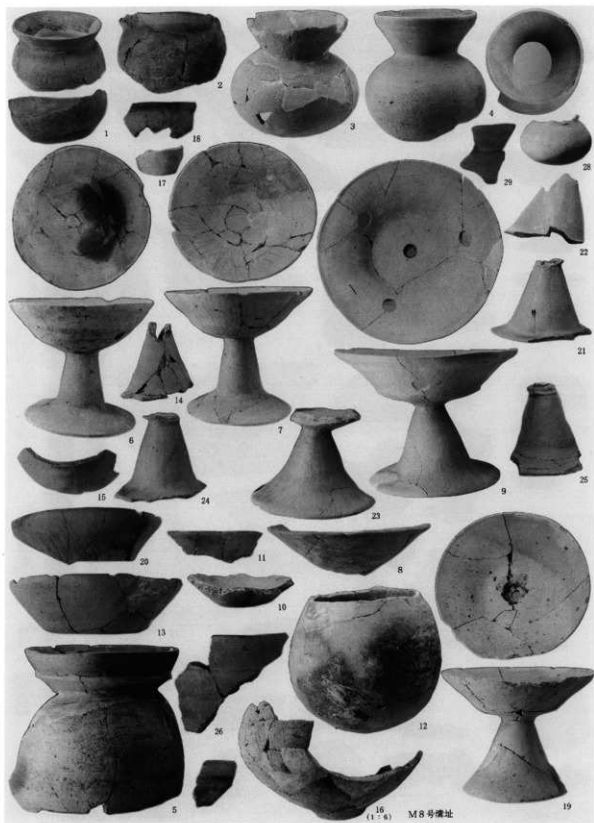


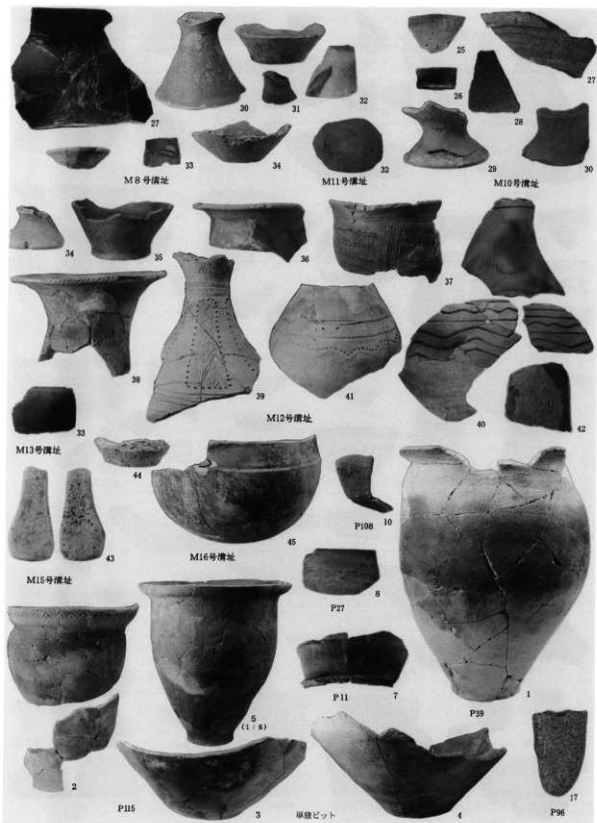


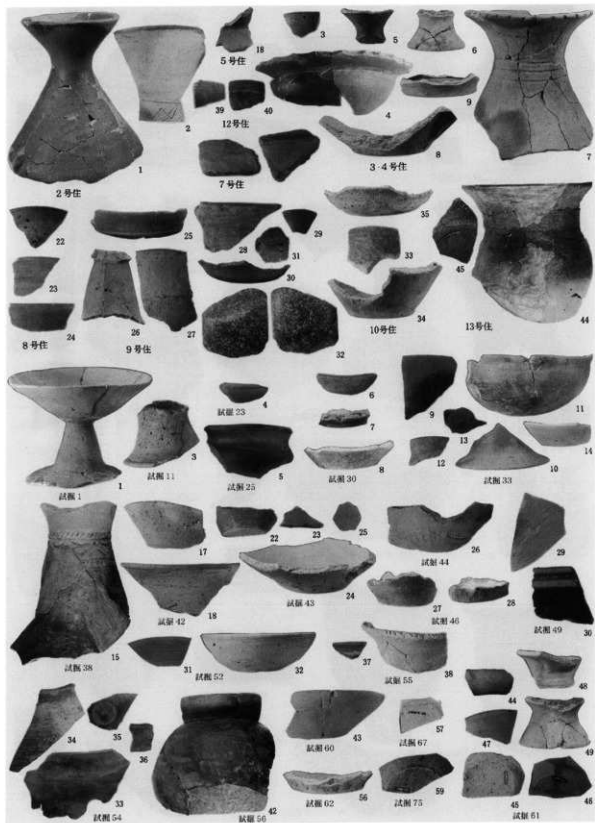


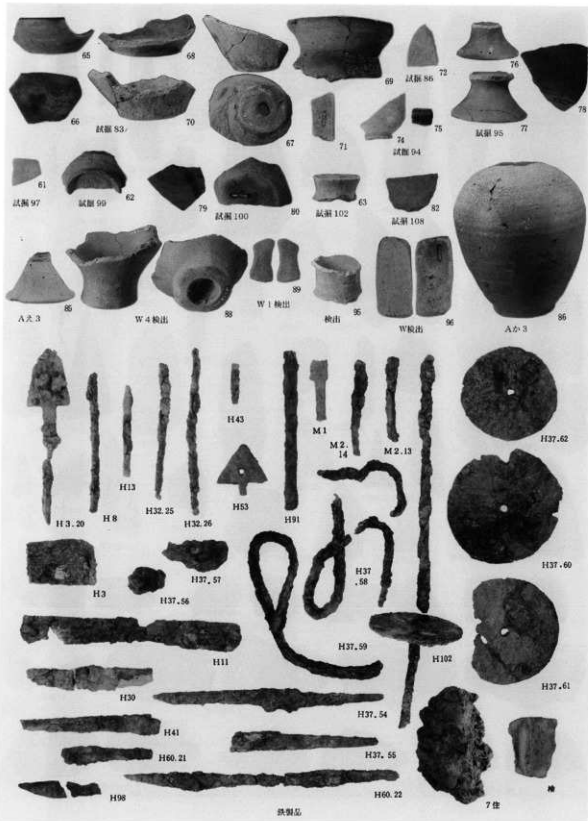


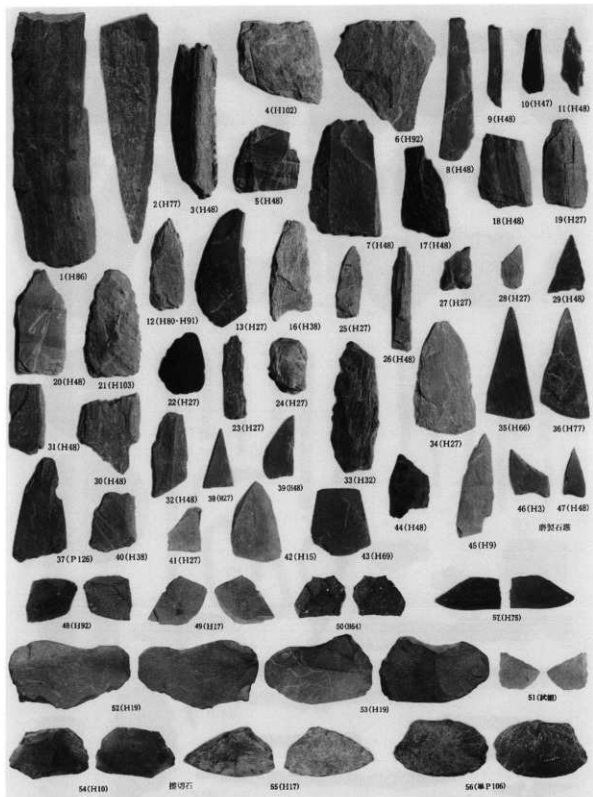












佐久市埋蔵文化財調査報告書

- 第1集 『金井城跡』
 第2集 『市内遺跡発掘調査報告書1990』
 第3集 『石附築地群Ⅱ』
 第4集 『大ふけ』
 第5集 『立科ド遺跡』
 第6集 『上宮根遺跡』
 第7集 『二貫畑遺跡』
 第8集 『瀧の下遺跡』
 第9集 『町道141号線関係遺跡』
 第10集 『野原遺跡Ⅱ』
 第11集 『赤坂外久遺跡』
 第12集 『芝宮遺跡Ⅱ』
 第13集 『上高山遺跡Ⅱ』
 第14集 『粟坂遺跡』
 第15集 『野馬久保遺跡』
 第16集 『石並城跡』
 第17集 『市内遺跡発掘調査報告書1991』(1月～3月)
 第18集 『西宮根遺跡』
 第19集 『上芝宮遺跡』
 第20集 『下聖蹟遺跡Ⅱ』
 第21集 『金井城跡Ⅱ』
 第22集 『市内遺跡発掘調査報告書1991』
 第23集 『南上中原・南上中原遺跡』
 第24集 『上聖蹟遺跡』
 第25集 『上久保田Ⅳ』
 第26集 『藤塚古畑群・藤塚Ⅱ』
 第27集 『上久保田Ⅲ』
 第28集 『菅根新城Ⅱ』
 第29集 『筒村遺跡Ⅱ 山法師遺跡Ⅱ』
 第30集 『市内遺跡発掘調査報告書1992』
 第31集 『山法師遺跡A 筒村遺跡A』
 第32集 『東ノ新』
 第33集 『龍原遺跡Ⅱ 下菅根遺跡Ⅰ』
 第34集 『西一本柳遺跡Ⅰ』
 第35集 『市内遺跡発掘調査報告書1993』
 第36集 『蛇塚Ⅱ遺跡Ⅱ』
 第37集 『西一本柳遺跡Ⅱ 中西ノ久保遺跡Ⅰ』
 第38集 『南上中原遺跡Ⅱ』
 第39集 『中原遺跡』
 第40集 『寺沼遺跡』
 第41集 『菅根新城遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
 上久保田遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
 西宮根遺跡Ⅱ・Ⅲ』
 第42集 『奇山』
 第43集 『龍塚平遺跡 池端遺跡』
 第44集 『寺沼遺跡Ⅱ』
 第45集 『市内遺跡発掘調査報告書1994』
 第46集 『湯ノ遺跡』
 第47集 『上芝宮遺跡Ⅴ』
 第48集 『池端城跡』
 第49集 『根々井芝宮遺跡』
 第50集 『藤塚遺跡Ⅲ』
 第51集 『寺中遺跡 中原敷遺跡Ⅱ』
 第52集 『坪の内遺跡』
 第53集 『内平坊遺跡Ⅱ』
 第54集 『市内遺跡発掘調査報告書1995』
 第55集 『希屋前遺跡Ⅰ・Ⅱ』
 第56集 『龍原遺跡Ⅲ』
 第57集 『高師町遺跡Ⅱ』
 第58集 『下穴出遺跡Ⅰ』
 第59集 『市内遺跡発掘調査報告書1996』
 第60集 『岩根城遺跡Ⅱ』
 第61集 『利地遺跡』
 第62集 『野馬久保遺跡Ⅱ』
 第63集 『西大久保遺跡Ⅱ』
 第64集 『梨の木遺跡Ⅳ』
 第65集 『中宿遺跡』
 第66集 『中西ノ久保遺跡Ⅱ 仲田遺跡 寺畑遺跡Ⅱ』
 第67集 『秩基塚遺跡』
 第68集 『前藤部遺跡』
 第69集 『高山遺跡Ⅰ・Ⅱ』
 第70集 『観音堂遺跡』
 第71集 『市内遺跡発掘調査報告書1997』
 第72集 『市道遺跡Ⅱ』
 第73集 『西一本柳遺跡Ⅲ・Ⅳ』
 第74集 『瓦里田遺跡』
 第75集 『八風山 五斗代』
 第76集 『南近津』
 第77集 『善屋前遺跡』
 第78集 『蛇塚遺跡 蛇塚古墳』
 第79集 『四ツ塚遺跡Ⅰ』
 第80集 『西ツ塚遺跡Ⅱ』
 第81集 『龍師寺遺跡』
 第82集 『市内遺跡発掘調査報告書1998』
 第83集 『下聖蹟遺跡Ⅳ』
 第84集 『鎌名平遺跡』
 第85集 『柳草遺跡』
 第86集 『市内遺跡発掘調査報告書1999』
 第87集 『宮添遺跡』
 第88集 『下宮根遺跡』
 第89集 『川原遺跡Ⅱ』
 第90集 『梨の木遺跡Ⅲ』
 第91集 『西一本柳遺跡Ⅳ 中長塚Ⅰ・Ⅱ 松の木遺跡Ⅰ・Ⅱ』
 第92集 『辻の前遺跡Ⅱ 中仲田遺跡Ⅱ』
 第93集 『入高山遺跡』
 第94集 『聖石遺跡』
 第95集 『市内遺跡発掘調査報告書2000』
 第96集 『土木戸遺跡』
 第97集 『久福遺跡Ⅱ』
 第98集 『塚ⅡⅡ・Ⅲ・Ⅴ』
 第99集 『中遺跡』
 第100集 『野沢館跡Ⅱ』
 第101集 『深塚遺跡Ⅳ』
 第102集 『門止坊遺跡Ⅳ』
 第103集 『聖原 一第1分冊一』
 第104集 『聖石遺跡Ⅲ』
 第105集 『菅根城遺跡Ⅲ』
 第106集 『藤村遺跡Ⅲ』
 第107集 『聖原 一第2分冊一』
 第108集 『市内遺跡発掘調査報告書2001』
 第109集 『西一本柳Ⅱ』
 第110集 『佐久駅河辺上地区調査整理事業
 埋蔵文化財発掘調査報告書』
 第111集 『上ノ城遺跡』
 第112集 『西赤米』
 第113集 『西一本柳遺跡Ⅳ』
 第114集 『供養塚遺跡Ⅱ』
 第115集 『龍原 一第3分冊一』
 第116集 『東久保遺跡Ⅱ』
 第117集 『東五山出遺跡』
 第118集 『東近津遺跡』
 第119集 『野沢館跡Ⅲ』
 第120集 『市内遺跡発掘調査報告書2002』
 第121集 『鎌倉山』
 第122集 『甲原 一第4分冊一』
 第123集 『西村中遺跡』
 第124集 『西村中遺跡』
 第125集 『西一本柳ⅢⅡ』
 第126集 『聖原 一第5分冊一』

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第127集

西一本柳遺跡X

佐久市岩村山西 本柳遺跡X発掘調査報告書

2005年2月

編集・発行 佐久市教育委員会
 〒385 8501 長野県佐久市大字中込3006
 文化財課
 〒385 0006 長野県佐久市大字筑前5953
 TEL 0267-68-7321

印刷所 株式会社COX